福岡市地下鉄

事　業　概　要

平　成　３０　年　度

福　岡　市　交　通　局

安全方針

１．安全を全てに優先する。

１．安全に関する規程を遵守する。

１．誠実、厳正に職務を遂行する。

安全行動規範

1．一致協力して輸送の安全の確保に努めます。

2．輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

3．常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。

4．車両、線路、保安設備等を常に安全な状態に保持するよう努めます。

5．職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。

6．事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。

7．情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。

8．常に問題意識を持ち、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

福岡市交通局安全管理規程　第２条第１項～第２項

目　　次

福岡市地下鉄路線図

第１　交通局の概要

１．営業路線の概要 …… 1
２．開業の経緯 …… 2
３．七隈線延伸事業の概要 …… 2
４．設備・規格等 …… 3
(1) 空港線・箱崎線 …… 3
(2) 七隈線 …… 3
５．組織及び職員 …… 4
(1) 組織図 …… 4
(2) 組織の変更概要 …… 5
(3) 管区駅の概要 …… 5
(4) 種類別、費目別職員数 …… 5

第２　安全対策

１．安全管理体制 …… 6
２．安全重点施策 …… 7
３．安全に関する設備投資 …… 7
４．鉄道運転事故・インシデント・輸送障害 …… 7

第３　経理

１．総事業費と財源 …… 8
２．企業債現在高 …… 8
３．国及び一般会計からの補助金、出資金等 …… 9
４．収益的収支の推移 …… 10
５．平成30年度　高速鉄道事業会計予算 …… 11
６．平成30年度　主な建設改良事業 …… 12
７．重要施策 …… 12

第４　環境への取組

１．環境にやさしい地下鉄 …… 14
２．地下鉄の利用促進 …… 14
３．環境負荷低減の取組 …… 15

第５　営業

１．乗車料金制度 …… 16
(1) 料金改定の推移 …… 16
(2) 料金制度の概要 …… 16
(3) 料金区界表 …… 18
２．料金表等 …… 19
(1) 料金の種別及び金額 …… 19
(2) 割引乗車券の種別及び金額 …… 19
(3) 企画乗車券の種別及び金額 …… 20
３．連絡運輸制度 …… 20
４．ＩＣカード乗車券「はやかけん」 …… 21
５．運輸実績 …… 22
(1) 総括表 …… 22
(2) 輸送人員（１日平均）と定期率の推移 …… 23
(3) 運輸収入（１日平均）と１人平均支払運賃の推移 …… 23
(4) 乗車券別輸送人員 …… 24
(5) 乗車券別運輸収入 …… 25
(6) 駅別乗車人員の推移（年度別１日平均） …… 26
(7) 駅別乗車人員の推移（平成29年度，月別１日平均） …… 27
(8) 広告取扱額の推移 …… 28
(9) 構内営業にかかる土地建物使用料（収入）の推移 …… 28

第６　運転

１．運転本数 …… 29
(1) 空港線・箱崎線 …… 29
(2) 七隈線 …… 29
２．運転時隔 …… 29
３．始終発時刻 …… 29

４．標準運転時分 …… 30
（1） 空港線・箱崎線 …… 30
（2） 七隈線 …… 30
５．主要駅までの平均所要時分 …… 31
６．乗車効率、混雑率等 …… 31

第７　駅設備等

１．駅設備 …… 32
（1） 空港線・箱崎線 …… 32
（2） 七隈線 …… 34
２．バリアフリー対応設備 …… 36
（1） 空港線・箱崎線 …… 36
（2） 七隈線 …… 38
３．駐輪場及び駐車場設備 …… 40
（1） 空港線・箱崎線 …… 40
（2） 七隈線 …… 41
（3） 全線 …… 41

第８　線路設備及び土木構造物

１．線路設備 …… 42
２．土木構造物 …… 42

第９　車両及び車両基地

１．車両 …… 43
（1） 車両諸元 …… 43
（2） 列車編成図 …… 46
２．車両基地 …… 46
３．検修作業の概要 …… 46

第10　電気設備

１．電力設備一覧表 …… 47
２．信号設備一覧表 …… 49
３．通信設備一覧表 …… 49

４．トータルシステム図 ･･･ 50
(1) 空港線・箱崎線 ･･･ 50
(2) 七隈線 ･･･ 51

第11　お客様の声 ･･･ 52
１．収受方法別実績 ･･･ 52
２．内容別実績 ･･･ 52
３．お客様の声を反映した主な取組 ･･････････････････････････････ 52

第12　経緯 ･･ 53

第13　交通対策特別委員会調査報告の概要 ･･････････････････････ 63

参考資料

１．福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画について
（昭和46年3月11日　都市交通審議会答申第12号） ･････････････････ 66
２．福岡県における公共交通機関の維持整備に関する計画について（抜粋）
（平成元年10月16日　九州地方交通審議会答申第４号） ･･････････････ 69
３．福岡都市高速鉄道路線等について
（昭和47年2月22日　都市交通対策特別委員会決定） ･･････････････････ 72
４．福岡都市高速鉄道の建設に伴う経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき路線等について
（昭和48年2月21日　都市交通対策特別委員会決定） ･･････････････････ 73
５．高速鉄道の整備計画
（昭和49年2月20日　福岡都市圏交通対策協議会決定） ･･････････････ 74

第１　交　通　局　の　概　要

１．営業路線の概要

本市地下鉄は、昭和56年７月に室見～天神間5.8kmを開業して以来、順次、延伸・開業を重ね、平成５年３月に博多～福岡空港間を開業したことにより、空港線（１号線、姪浜～福岡空港、13.1km）、箱崎線（２号線、中洲川端～貝塚、4.7km）の全区間が開業した。

その後、市西南部における慢性的な交通渋滞を緩和し、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立を図るとともに、均衡あるまちづくりを推進するため、七隈線（３号線、橋本～天神南、12.0km）の建設を進め、平成17年２月に開業を迎えた。この七隈線の開業に伴い、現在では、３路線全線で計29.8km、１日に43万人以上のお客さまを輸送する公共交通機関として、市民生活、都市活動に不可欠な都市基盤施設となっている。

また、空港線が姪浜駅でＪＲ筑肥線と相互直通運転を行っているほか、天神駅では西鉄天神大牟田線と、博多駅では新幹線やＪＲ鹿児島本線と接続、箱崎線が貝塚駅で西鉄貝塚線と接続しており、七隈線も薬院駅で西鉄天神大牟田線と、天神南駅で空港線、及び、西鉄天神大牟田線と接続しており、福岡都市圏の基幹交通網の要としての役割を担っている。

さらに、空港線は、地下鉄として全国で初めて空港乗入れを実現し、空港から博多駅まで５分、都心の天神まで11分の利便性を確保しており、地下鉄路線を軸として、ＪＲ、西鉄の各路線と航空路線を結ぶ広域交通ネットワークを形成している。

項目＼路線名		空港線（1号線）	箱崎線（2号線）	小計	七隈線（3号線）	計
線区概要	区間（起・終点）	姪浜～福岡空港	中洲川端～貝塚	－	橋本～天神南	－
	建設キロ	14.9km	5.2km	20.1km	12.7km	32.8km
	営業キロ	13.1km	4.7km	17.8km	12.0km	29.8km
	駅数	13 駅	7 駅（含中洲川端）	19 駅	16 駅	35 駅
	平均駅間距離	1.09km	0.78km	0.99km	0.80km	0.90km
	相互直通運転	筑肥線　筑前深江～姪浜 20.1km 地下鉄線　姪浜～福岡空港 13.1km			－	－
建設費		4,113億円（205億円／km）			2,811億円（221億円／km）	－
工法		開削工法、山岳トンネル工法、シールド工法、ケーソン工法				
事業期間		昭和49年度～平成5年度			平成7年度～平成18年度	－

２．開業の経緯

開業年月日	空港線		箱崎線		七隈線		累計
	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	
昭和56. 7.26	室 見 ～ 天 神	km 5.8		km		km	km 5.8
57. 4.20	天神～中洲川端	0.8	中洲川端～呉服町	0.5			7.1
58. 3.22	姪 浜 ～ 室 見	1.5					10.0
	中洲川端～博多(仮)	1.4					
59. 4.27			呉服町～馬出九大病院前	1.6			11.6
60. 3. 3	博多(仮)～博多	0.3					11.9
61. 1.31			馬出九大病院前～箱崎九大前	1.6			13.5
61.11.12			箱崎九大前～貝塚	1.0			14.5
平成 5. 3. 3	博多～福岡空港	3.3					17.8
17. 2. 3					橋 本 ～ 天 神 南	12.0	29.8

※　開業キロは、開業した区間の長さ（キロ）を表す。

３．七隈線延伸事業の概要

七隈線は、市西南部地域の慢性的な交通渋滞の緩和、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立、均衡あるまちづくりの推進を目的として計画され、平成17年２月に橋本～天神南間（12.0km）を開業した。

しかしながら、都心部区間が未整備で残され、鉄道ネットワークが不十分であることから、現在、天神南～博多間（建設キロ:約1.4km）の七隈線延伸事業を進めている。

（１）　延 伸 区 間　天神南～博多
（２）　延　　長　建設キロ：約1.4km　営業キロ：約1.6km
（３）　建　設　費　約587億円
（４）　工　　法　全線地下式（開削工法、シールド工法、ナトム工法、アンダーピニング工法）
（５）　乗 車 人 員　約8.2万人（需要定着後）　うち、新規利用者数※は約2.3万人
　　※　マイカーなどから地下鉄に移動手段を替えることで、新たに地下鉄を利用する人数
（６）　開 業 予 定　2022年度（平成34年度）

4．設備・規格等

（1）空港線･箱崎線

項目		内容
車両基地		福岡市西区下山門四丁目1番1号、 敷地面積 71,500㎡
変電所		５カ所 （姪浜、今川橋、中洲、榎田、箱崎）
軌間・電気	軌間	1,067㎜
	電気方式	DC 1,500V
	集電方式	架空線方式
車両	保有車両	144両 （1編成6両、 24編成……全車冷暖房）
	車両寸法	長さ 約20.0m、 幅 約2.8m、 高さ 約4.1m
	定員（1編成）	854人（先頭車135人、 中間車146人）
保安設備		列車間の間隔を確保する装置による方法（ＡＴＣ保安方式）、列車無線、 ＡＴＣ（自動列車制御装置）、ＡＴＯ（自動列車運転装置）、 ＣＴＣ（列車集中制御装置）
駅構内	駅舎	エスカレーター （全駅） エレベーター （全駅） 駅冷房（全館） （５駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港） 駅冷房（局所） （14駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港を除く駅）
	駅務機器	券売機・精算機・改札機（全駅）、定期券発行機（５駅）

※定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

（2）七隈線

項目		内容
車両基地		福岡市西区橋本二丁目34番1号、 敷地面積 約79,000㎡
変電所		３カ所 （賀茂、茶山、薬院）
軌間・電気	軌間	1,435㎜
	電気方式	DC 1,500V
	集電方式	架空線方式
車両	保有車両	68両 （1編成4両、 17編成……全車冷暖房）
	車両寸法	長さ 約16.5m、 幅 約2.5m、 高さ 約3.1m
	定員（1編成）	378人（先頭車89人、 中間車100人）
保安設備		列車間の間隔を確保する装置による方法（ＡＴＣ保安方式）、列車無線、 ＡＴＣ（自動列車制御装置）、ＡＴＯ（自動列車運転装置）、 ＣＴＣ（列車集中制御装置）
駅構内	駅舎	エスカレーター （全駅） エレベーター （全駅） 駅冷房（全館） （４駅……橋本、別府、薬院、天神南） 駅冷房（局所） （12駅……橋本、別府、薬院、天神南を除く駅）
	駅務機器	券売機・精算機・改札機（全駅） 定期券発行機（１駅）、自動定期券発売機（５駅）

※定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

５．組織及び職員

（平成30年4月1日　現在）

（１）　組織図

電話番号　０９２－〇〇〇－〇〇〇〇

- 交通事業管理者　阿部　亨　732-4100
  - 交通局　山本恭久　732-4102
    - 理事　582
      - 総務部長　73　柴田淳司　732-4103
        - 総務課長　35　宮川文明　732-4104
          - 総務係長　添田　晃　732-4105
          - 職員係長　住吉　隆宏　732-4109
          - 労務係長　山口眞一　732-4204
          - 教習所長　毛利勝則　882-3851
          - 主査（乗務員養成）　大神紹載　882-3851
        - 課長（給与）【総務企画局人事課長が兼務】
        - 経営企画課長　6　堤　晃司　732-4149
          - 経営計画係長　安川浩平　732-4107
          - 企画調整係長　金丸宗継　732-4258
        - 経理課長　15　谷口善洋　732-4112
          - 財務係長　藤村俊郎　732-4113
          - 会計係長　岡本和真　732-4115
          - 契約管財係長　上村佳也　732-4117
          - 主査（公有財産有効活用）　松尾　徹　732-4117
        - 営業課長　16　新川智子　732-4120
          - 管理係長　佐藤佳代子　732-4121
          - 営業第１係長　松吉泰直　732-4124
          - 営業第２係長　中村誠　732-4177
          - 制度・ＩＣカード係長　古長洋平　732-4139
          - 情報システム係長　桑山雅行　732-4202
          - ＩＣカードシステム係長　田川欽也　732-4147
            【電気課駅務システム係長が兼務】
      - 運輸部長　323　岩下博文　732-4119
        - 乗客サービス課長　154　内田正彦　732-4126
          - 乗客係長　山口智佳子　732-4127
          - 業務管理係長　原　準一郎　732-4273
          - 課長（駅務）　(146)　辻　聖二　732-4179
            - 駅務指導係長　半田　浩　732-4129
            - 姪浜管区駅長　江利稔　881-7800
              - 副駅長　宮一　誠史
            - 天神管区駅長　高橋徹　741-7800
              - 副駅長　徳本　健一
            - 博多管区駅長　中村淳二　451-7800
              - 副駅長　村田和久
            - 貝塚管区駅長　藤井昌一　651-7800
              - 副駅長　中尾義幸
            - 橋本管区駅長　岡村修一　894-7800
              - 副駅長　野地敬之
            - 天神南管区駅長　長田高広　715-7800
              - 副駅長　大場栄一
        - 運転課長　32　土生　勲　732-4131
          - 運転計画係長　福井新之助　732-4132
          - 安全推進係長　小野　章　732-4303
          - 運輸指令長　(25)　森枝　健　732-4399
            - 運輸副指令長　田中和弘　732-4169
            - 運輸副指令長　吉川寿弘　732-4169
            - 運輸副指令長　藤岡　潔　732-4169
            - 運輸副指令長　石飛博章　732-4169
        - 姪浜乗務事務所長　114　安谷幸司　882-3131
          - 教育指導係長　吉田健二　891-9765
          - 乗務係長　日名子敏夫　882-0721
            - 乗務長　森野康幸　882-0721
            - 乗務長　伊藤雅弘　882-0721
        - 橋本乗務事務所長　22　魚住久信　811-7263
          - 教育指導係長　前山　浩　811-7263
          - 乗務係長　重松克也　811-7294
      - 施設部長　143　荒木誠吾　732-4134
        - 施設課長　18　横谷英範　732-4135
          - 建築係長　田崎潤二　732-4142
          - 建築保全係長　杉野賢志　732-4166
          - 機械設備係長　古賀正仁　732-4140
          - 電気設備・検査係長　古賀健夫　732-4136
        - 電気課長　26　大庭保直　732-4144
          - 電力係長　伊藤寛隆　732-4145
          - 信号通信係長　浦江英孝　732-4146
          - 駅務システム係長　田川欽也　732-4147
          - 電力指令長　田中英樹　732-4170
          - 主査（電力指令教育）　永野雅延　732-4246
          - 主査（信通設備更新）　堺　英徳　732-4167
        - 施設設計課長　12　濱田靖之　732-4241
          - 建築設計係長　井上寛志　732-4268
          - 設備設計係長　松瀬博　732-4271
          - 電力設計係長　山口雅人　732-4267
          - 信通設計係長　迫　秀一　732-4245
        - 軌道課長　4　本山智也　732-4364
          - 軌道設計係長　佐藤公彦　732-4188
          - 主査（軌道更新）　木下公文　732-4366
          - 姪浜保線係長　井手英夫　891-5355
            【姪浜保守事務所保線係長が兼務】
          - 橋本保線係長　平岡　覚　811-7912
            【橋本保守事務所保線係長が兼務】
        - 姪浜保守事務所長　23　末崎悦章　891-5355
          - 保線係長　井手英夫　891-5355
          - 電力保安係長　北村雅彦　891-5255
          - 信通保安係長　田中孝典　891-5255
          - 主査（保守事業調整）　大町昌俊　891-5355
        - 橋本保守事務所長　18　小池勝也　811-7900
          - 保線係長　平岡　覚　811-7912
          - 電力保安係長　福山昌則　811-7902
          - 信通保安係長　古賀稔　811-7902
          - 主査（保守事業調整）　山本孔二　811-7902
        - 車両課長　7　吉浦秀満　732-4223
          - 計画係長　村田　理　732-4358
          - 車両係長　坂口嘉宏　732-4224
        - 姪浜車両工場長　19　彌永高則　881-4118
          - 施設係長　大池　博　881-3370
          - 修車係長　濵地浩二　881-3371
          - 検車係長　井上修二　881-3389
          - 主査（車両運用）　坂井広樹　881-3389
          - 主査（施設等更新）　廣瀬和久　881-3370
        - 橋本車両工場長　15　森永幸二　811-7401
          - 施設係長　松隈　章　811-7234
          - 修車係長　赤崎茂幸　811-7234
          - 検車係長　平島　稔　811-7234
      - 建設部長　42　柳内寅寿　732-4156
        - 技術課長　13　瀬戸邦博　732-4157
          - 技術管理係長　塩塚　透　732-4155
          - 工務係長　大角匡一　732-4161
          - 主査（延伸事業調整）　西山亮　732-4159
          - 主査（土木設計）　水本和秀　732-4160
        - 計画課長　7　室屋勝朗　732-4137
          - 計画第１係長　受島啓介　732-4150
          - 計画第２係長　小野裕介　732-4154
          - 調整係長　柴田真宜　732-4158
        - 建設課長　10　成尾直之　732-4200
          - 建設推進係長　日高洋平　732-4205
          - 設計係長　稲田剛　732-4226
          - 調査係長　中原直之　732-4207
        - 工事事務所長　11　牧本豊治　409-5470
          - 工事第１係長　花本年雄　409-5830
          - 工事第２係長　髙田篤史　409-5870
          - 沿線調整係長　牟田英樹　409-7326
          - 課長（沿線調整）　(1)　前野正和　409-7325

(2) 組織の変更概要

施行日	組織数				職員数	備　　考
	局	部	課	係		
30.4.1	1	4	24	90	582	・部長(事故損害補償)、課長(事故損害補償)、主査(事故損害補償)2名を廃止 ・経理課主査(公有財産有効活用)を設置 ・営業課営業係、主査(業務改善)、ICカード係、主査(情報システム等)を営業第1係、営業第2係、制度・ICカード係、情報システム係に名称変更 ・施設課主査(施設計画)を建築保全係に名称変更 ・姪浜車両工場主査(施設等更新)を設置

(注１) 交通事業管理者を除く。
(注２) 組織数のうち、局は理事をいう。
(注３) 課長(給与)(※総務企画局人事課長が兼務)は、課数に含めない。
(注４) 営業課ＩＣカードシステム係（電気課駅務システム係長が兼務)、軌道課姪浜保線係（姪浜保守事務所保線係長が兼務）及び軌道課橋本保線係（橋本保守事務所保線係長が兼務）は、係数に含めない。
(注５) 職員数は条例定数

(3) 管区駅の概要

路　線	管　区　駅	駅　　名	駅務業務
空港線	姪浜管区駅	姪浜、室見、藤崎、西新	直　営
	天神管区駅	唐人町、大濠公園、赤坂	委　託
		天神	直　営
	博多管区駅	博多	直　営
		祇園、東比恵、福岡空港	委　託
箱崎線	貝塚管区駅	中洲川端、呉服町、千代県庁口、馬出九大病院前、箱崎宮前、箱崎九大前、貝塚	委　託
七隈線	橋本管区駅	橋本、次郎丸、賀茂、野芥、梅林、福大前、七隈、金山	委　託
	天神南管区駅	茶山、別府、六本松、桜坂、薬院大通、薬院、渡辺通、天神南	委　託

(4) 種類別、費目別職員数（平成 30 年4月1日現在）　(単位:人)

種　類　別		費　目　別				合　計
		営業勘定		建設勘定		
運輸	駅　務	201	155	－	－	201
	指　令		25		－	
	営　業		14		－	
	そ の 他		7		－	
運　転		136		－		136
土　木		42		30		72
電　気		46		18		64
車　両		38		2		40
一般管理		58		9		67
合　計		521		59		580

(注) 交通事業管理者及び短時間再任用４名は除く。

第２　安 全 対 策

１．安全管理体制

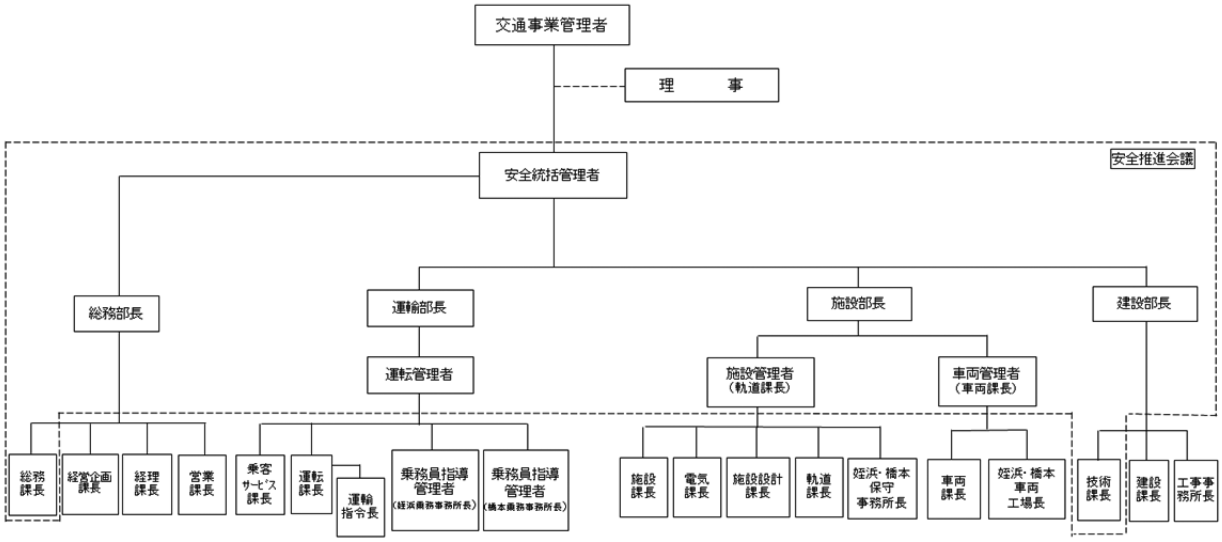
福岡市地下鉄では、開業時より運転保安装置であるATC（自動列車制御装置）、ATO（自動列車運転装置）を導入し安全には最善を尽くしている。

さらに、平成17年度には全駅にホームドアを設置完了するなど、車両や施設面の充実を図り、これまで列車の衝突・脱線等の事故は発生していない。

福知山線脱線事故を契機として平成18年に鉄道事業法が改正され、これに基づき同年10月に「福岡市交通局安全管理規程」を新たに制定した。この安全管理規程は、福岡市高速鉄道事業における輸送の安全確保のための基本的方針並びに事業の実施及び管理の体制及び方法を定めたもので、これにより新たな安全管理体制を確立している。

(1) 組織体制

安全の確保に関する体制表



(2) 安全に関する会議

会 議 名	構成メンバー	実 施 内 容
経営会議	交通事業管理者、理事、各部長	地下鉄経営に関し、基本方針や安全性向上などの重要施策の審議、決定
安全推進会議	安全統括管理者 各部長、運転管理者、施設管理者、車両管理者、各設計管理者	・運輸安全マネジメントの推進 ・事故・災害等の情報分析及び事故防止対策の策定 ・内部監査の実施 ・各責任者による現場巡視

※運輸安全マネジメントとは、ISO9001等を参考に作られた「安全に関して組織を指揮し、管理する取組」を取り入れた新たな安全管理手法である。

２．安全重点施策

輸送の安全を確保するための基本的な方針に基づき、「安全目標」を定め，これを達成するために様々な取組を「安全重点施策」として策定し、進捗状況を管理している。

平成30年度における安全重点施策は次のとおり定めている。

安全目標	目標達成のための取組み	内 容
安全運行の実現	運転事故・輸送障害・インシデントのゼロ	「鉄道事故等報告規則」における運転事故、輸送障害及びインシデントのゼロ（交通局に責任のあるものに限る）。
	安全性向上のための人材の育成・管理	①乗務員、駅務員等の教育訓練及び安全に関する評価を定期的に実施。 ②乗務員及び駅務員等の資質管理の徹底。 ③乗務員のアルコールに関する自己管理の徹底及び乗務前のアルコール測定の実施。（管理値：0.10mg/Ｌ） ④職員の技術の維持・継承
	車両、構造物、駅施設及び設備の計画的改良	①安全性・信頼性の向上を図るため、運転保安設備の要である、ＡＴＣ設備の改良を行う。（空港・箱崎線） ②安全性・信頼性の向上を図るため、車両、構造物、駅施設、軌道設備及び電気設備の計画的改良を行う。
安全最優先の組織風土を確立	安全マネジメントの推進	①関係法令遵守と安全最優先意識の徹底。 ②不具合、ヒヤリハット情報の収集・分析と対策の確実な実施。 ③他事業者の事故等に関する情報の活用。 ④内部監査の充実。
万一の事故・災害等に備えて	大規模自然災害等の対応	①大規模自然災害発生時における危機管理体制の確保。 ②電力供給不足時における危機管理体制の確保。
	大規模事故発生時の対応	大規模事故発生時の情報収集発信体制の整備
	関係機関と連係した各種訓練の実施など	①事故復旧体制の教育訓練の実施。 ②事故復旧訓練の実施。 ③災害対応訓練の実施。
安心してご利用いただくために	駅係員全員の普通救命講習受講	駅係員が救急・救命の応急処置を行う。
	各駅のＡＥＤの適切な管理	
	新型インフルエンザ等対策	新型インフルエンザ等に関する情報収集及び状況に応じた対応。
	お客様への適切な情報提供	放送やサイン等により、お客様にわかりやすく適切な情報を提供する。

３．安全に関する設備投資

安全設備の主なものとして、ATC（自動列車制御装置）、ATO(自動列車運転装置)、ホームドア、地震監視装置、風速・雨量警報装置、運転シミュレータ装置等を設置、維持管理し、安全を確保している。平成29年度においては、総設備投資額約35億円のうち安全に関する設備投資額は約19億円である。

４．鉄道運転事故・インシデント・輸送障害

	鉄道運転事故	インシデント	輸送障害	計
平成25年度	0	0	0	0
平成26年度	1	0	0	1
平成27年度	0	0	0	0
平成28年度	0	0	3	3
平成29年度	0	0	0	0

第３　経　　理

１．総事業費と財源

（単位：百万円）

区分		空港線 姪浜～福岡空港 箱崎線 中洲川端～貝塚 (昭和49年度 ～平成5年度)	構成比	七隈線 橋本～天神南 (平成7年度～ 平成18年度)	構成比	全線合計	構成比
総事業費		411,254	% 100.0	281,050	% 100.0	692,304	% 100.0
内訳	用地	33,684	8.2	26,481	9.4	60,165	8.7
	土木	200,834	48.8	152,066	54.1	352,900	51.0
	軌道	8,019	1.9	7,981	2.8	16,000	2.3
	建築	37,802	9.2	38,583	13.7	76,385	11.0
	電気	37,888	9.2	20,348	7.3	58,236	8.4
	車両	17,195	4.2	12,002	4.3	29,197	4.2
	その他	75,832	18.5	23,589	8.4	99,421	14.4
財源内訳	企業債	338,526	82.3	165,280	58.8	503,806	72.8
	一般会計出資金	42,062	10.2	54,653	19.5	96,715	14.0
	補助金	28,172	6.9	58,273	20.7	86,445	12.5
	その他	2,494	0.6	2,844	1.0	5,338	0.7

２．企業債現在高

（単位：百万円）

区分		建設改良債	特例債	緩和債	平準化債	計
２８年度末企業債残高		154,105	7,999	32,952	67,751	262,807
29年度(見込み)	企業債発行（借入）額	4,164	599	0	5,076	9,839
	企業債償還金	10,165	2,470	749	6,237	19,621
	年度末企業債残高	148,104	6,128	32,203	66,590	253,025
30年度(見込み)	企業債発行（借入）額	7,415	528	856	7,081	15,880
	企業債償還金	11,165	1,860	2,044	8,382	23,451
	年度末企業債残高	144,354	4,796	31,015	65,289	245,454

（注）企業債発行（借入）額は繰越分を含む。
　　建設改良債には出資債を含む。

３．国及び一般会計からの補助金、出資金等

（単位：百万円）

区分			28年度まで	29年度（見込み）	30年度（繰越含む）	合計
国庫	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	143,484	982	2,659	147,125
		特例債利子補助金	8,099	－	－	8,099
		社会資本整備総合交付金	656	11	26	693
		国際競争拠点都市整備事業補助金	74	－	－	74
		エコレールラインプロジェクト補助金	95	26	－	121
		計	152,408	1,019	2,685	156,112
市一般会計	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	146,224	1,090	2,955	150,269
		緊急整備事業特別債元利償還助成金	46,540	3,802	3,802	54,144
		補正予算債元利償還助成金	598	46	46	690
		特例債元利償還助成金	96,753	2,530	1,894	101,177
		基礎年金拠出金	2,105	163	169	2,437
		福祉対策助成金	1,570	1	2	1,573
		祇園博多間連絡通路整備等助成金	917	40	40	997
		九大病院前地下通路整備助成金	57	－	－	57
		児童手当等に係る助成金	378	39	39	456
		調査費補助金（延伸、相互直通）	221	－	－	221
		最新エネルギー技術導入等による新たな駅の検討事業補助金	2	－	－	2
		地下鉄駅券売機の4カ国語化事業補助金	8	－	－	8
		地方公営企業会計制度改正に係る補助金	41	－	－	41
		黒田官兵衛プロジェクト関連事業補助金	7	－	－	7
		福岡空港駅改造事業費補助金	154	6	18	178
		その他補助金	318	－	－	318
		小計	295,893	7,717	8,965	312,575
	出資金	建設改良事業出資金	113,771	1,554	3,074	118,399
		追加出資金	9,117	－	－	9,117
		小計	122,888	1,554	3,074	127,516
	合計		418,781	9,271	12,039	440,091
総合計			571,189	10,290	14,724	596,203

※高速鉄道整備事業費補助金には、空港線、箱崎線の耐震補強・大規模改良･浸水対策の補助金を含む。

市一般会計	短期借入金（無利子）	年度内償還	9,500	5,000	年度内償還

主な制度の概要

(1) 高速鉄道整備事業費補助金（国、市）

平成３年度以降新規補助採択分

建設当年度一括交付

国･･･(総建設費－車両費－総係費－建設利息)×1.02×0.8（有償資金比率）×0.9(１割圧縮)×35%（補助率）

市･･･(総建設費－車両費－総係費－建設利息)×1.02×0.8（有償資金比率）×35%（補助率）

(2) 緊急整備事業特別債元利償還助成金（市）

地方単独整備区間に係る企業債（特別債）について元利償還金の２／３相当額を助成。

(3) 特例債元利償還助成金

① 特例債利子助成金（市）

平成５年度から平成14年度まで（10年間）発行の新々特例債（昭和52～57年度間に発行された建設債から生じる利息相当額）及び平成15年度から平成24年度まで（10年間）発行の続特例債（昭和58年～平成２年度間に発行された建設債から生じる利息相当額）に係る利子のうち、年利1.2%を上限として助成。

② 特例債元金償還助成金（市）

上記特例債の元金償還相当額を助成。

４．収益的収支の推移

（単位：千円）

種別		年度	25	26	27	28	29（見込み）	30（予算）
収益的収入	営業収益	旅客運輸収益	24,952,251	26,648,700	28,162,294	29,120,938	30,238,069	30,635,243
		運輸雑収益	2,101,486	2,103,483	2,092,664	2,184,817	2,249,695	2,232,216
		（A）小計	27,053,737	28,752,183	30,254,958	31,305,755	32,487,764	32,867,459
	営業外収益	補助金	2,118,117	1,816,811	3,281,156	3,193,814	3,575,306	2,885,480
		その他収益	5,405	3,166	2,593	10,742	7,519	1,100
		長期前受金戻入	－	4,031,260	3,965,029	3,878,730	3,784,677	3,566,441
		小計	2,123,522	5,851,237	7,248,778	7,083,286	7,367,502	6,453,021
	（B）経常収益計		29,177,259	34,603,420	37,503,736	38,389,041	39,855,266	39,320,480
	特別利益		－	－	851,674	－	－	100
	（C）収益的収入計		29,177,259	34,603,420	38,355,410	38,389,041	39,855,266	39,320,580
収益的支出	営業費用	給与費	4,914,103	5,193,200	5,206,143	5,223,006	5,093,980	4,884,125
		経費（うち修繕費）	7,280,097 (3,194,284)	7,772,419 (3,360,378)	8,001,266 (3,606,665)	8,275,226 (3,804,846)	8,971,534 (4,191,891)	10,276,680 (4,988,032)
		減価償却費等	9,340,869	13,341,630	13,365,001	13,135,666	12,731,946	12,282,618
		（D）小計	21,535,069	26,307,249	26,572,410	26,633,898	26,797,460	27,443,423
	営業外費用	支払利息	5,146,760	4,890,639	4,534,426	4,224,049	3,928,973	3,617,962
		消費税	882,114	1,444,438	1,539,283	1,588,890	1,568,045	1,425,797
		雑支出	1,035	80	321	601	354	1,000
		小計	6,029,909	6,335,157	6,074,030	5,813,540	5,497,372	5,044,759
	（E）経常費用計		27,564,978	32,642,406	32,646,440	32,447,438	32,294,832	32,488,182
	特別損失		65,103	8,263,136	1,456	477,677	96,916	30,426
	（F）予備費		－	－	－	－	－	10,000
	（G）収益的支出計		27,630,081	40,905,542	32,647,896	32,925,115	32,391,748	32,528,608
収支差引	営業収支（A－D）		5,518,668	2,444,934	3,682,548	4,671,857	5,690,304	5,424,036
	経常収支（B－E－F）		1,612,281	1,961,014	4,857,296	5,941,603	7,560,434	6,822,298
	単年度収支（C－G）		1,547,178	△6,302,122	5,707,514	5,463,926	7,463,518	6,791,972

（注）１．消費税込みの額である。

２．「減価償却費等」は、減価償却費及び固定資産除却費（撤去費を除く）をいう。

３．「支払利息」は、支払利息及び企業債取扱諸費をいう。

5.　平成30年度　高速鉄道事業会計予算

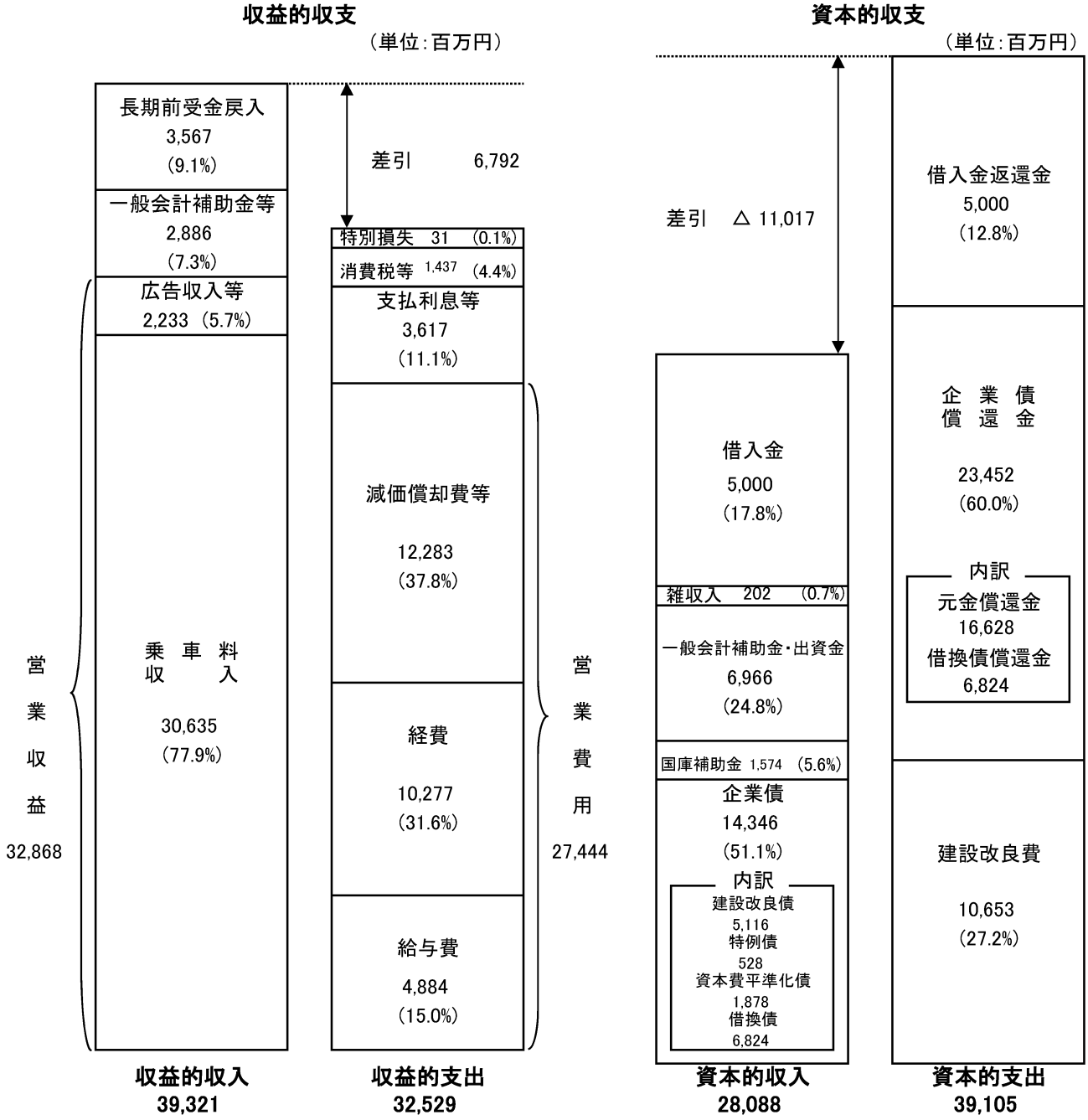
収益的収支	金　　額
収　　入	39,321 百万円
支　　出	32,529 百万円
差　　引	6,792 百万円
単年度損益（消費税要素除く）	6,498 百万円

平成29年度末累積損益　△ 125,253 百万円
平成30年度損益　6,498 百万円
平成30年度末累積損益　△ 118,755 百万円

資本的収支	金　　額
収　　入	28,088 百万円
支　　出	39,105 百万円
差　　引（※）	△ 11,017 百万円

※減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん

平成30年度末累積資金不足額　△ 7,991 百万円



６．平成30年度　主な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	6,603,000千円
営業線改良事業	事業費	4,028,000千円

７．重要施策

（１）七隈線延伸事業　6,603,000千円

安全対策に万全を期しながら、土木本体工事を着実に推進するとともに、駅レイアウトの検討を進め、線路や駅舎等に関する工事に順次着手し、安全を最優先に早期開業を目指す。あわせて、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かり易く発信する。

＜平成30年度の主な事業内容＞

・土木本体工事（ナトム区間地盤改良等を含む）

・中間駅（仮称）地中熱熱交換器設置工事

・土木関連電気設備工事　等

（２）空港線主要駅の駅リニューアル

（ア）天神駅東口リニューアル事業　42,000千円

天神駅において、天神ビッグバンに伴う天神明治通り地区のまちづくりにあわせて、東側コンコースのレイアウト変更を行い、駅の利便性や回遊性及び収益の向上を図るとともに、更なるバリアフリー経路の充実を図る。

（イ）博多駅筑紫口昇降機設置事業　13,000千円

博多駅筑紫口において、お客様の利便性向上を図るため、地下鉄コンコースから地上へのエスカレーター設置に係る実施設計を行うとともに、更なるバリアフリー経路の充実について検討する。

（ウ）姪浜駅リニューアル　39,000千円

姪浜駅において、お客様の利便性向上を図るため、コンコース地上１階からコンコース中２階間に上りエスカレーターを設置する。

（３）安全・安心の向上

（ア）自動列車制御装置（ＡＴＣ）等改良工事　342,000千円

経年劣化した自動列車制御装置（ＡＴＣ）等を年次計画により改良する。（福岡空港駅）

（イ）土木構造物改良工事　138,000千円

土木構造物（トンネル等）の改良工事を実施し、安全性の向上を図る。

（ウ）安全・安心を支える人材の育成　27,900千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を計画的に育成し

ていくため、研修の改善に取り組むとともに、委託駅従事員についても、地下鉄事業に従事する職員としての資質向上を図る。

（４）ユニバーサルデザインに配慮した整備推進

昇降機の充実　69,234千円

超高齢化社会への対応など社会情勢の変化に対応するため、バリアフリー経路の充実に向けて、エスカレーターの設置を行うとともに、昇降機の充実について検討を行う。

（５）お客様サービスの向上

（ア）駅案内サイン等の改良　56,000千円

空港・箱崎線の駅案内サイン等について、ピクトグラムの積極的な採用など、よりわかりやすいものに改良する。

（イ）インバウンド対策の拡充　7,260千円

博多駅において、多言語対応可能な専門のスタッフを配置し、地下鉄に関する案内及び観光情報等を提供するサービスを試行する。

（ウ）乗車マナーの向上　9,554千円

エスカレーターの安全利用、歩きスマホ防止、リュックの持ち方、乗降時のマナーなどの乗車マナー向上に関する取組みの強化を行う。

（エ）地下鉄駅の魅力づくり　11,322千円

お客様に親しまれ満足いただける地下鉄を目指し、駅の個性化・活性化を図る空間づくりに加え、副駅名の導入や列車接近メロディの導入の取組みを行う。

（６）駅施設の省エネルギー化

駅照明等のＬＥＤ化改良工事　140,000千円

ホーム、コンコース等の照明のＬＥＤ化を推進する。（千代県庁口駅、馬出九大病院前駅）

（７）経営健全化の推進

（ア）経営戦略の策定　3,481千円

経営の健全化を図りながら、将来に渡って安全で快適な輸送サービスを提供していくため、経営全般に関する中長期的な経営計画となる「経営戦略」を策定する。

（イ）営業データの分析・マーケティング調査　19,221千円

戦略的な営業施策を推進するため、地下鉄営業データの分析を行うための保存サーバの構築や、構内営業における顧客ニーズを把握するためのマーケティング調査を行う。

第４　環境への取組

１．環境にやさしい地下鉄

地下鉄は、他の交通機関に比べ、二酸化炭素の排出量が自家用車の約 1/7、バスの約 1/3 と非常に少なくてすむ環境にやさしい乗り物である。

また、福岡市に地下鉄があることで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量やヒートアイランドの抑制などの環境面での効果も発揮している。

○　1人を1km 運ぶのに必要な二酸化炭素排出量

	二酸化炭素排出量（平成 28 年度実績）
鉄　　道	20gCO_2／人・km
バ　　ス	67gCO_2／人・km
自家用車	141gCO_2／人・km

「国土交通省ホームページ」 より

○　福岡市に地下鉄があることによる環境面での効果

項　目	概　要
二酸化炭素排出量の抑制	福岡市に地下鉄があることで、マイカーやバスなど他の交通機関からの二酸化炭素排出量が1年あたり約5万2千トンも抑制されており、この総抑制量を森林による二酸化炭素吸収に委ねようとすると、博多区・中央区・南区を合わせた面積に匹敵する約8千 ha もの森林が必要となる。
ヒートアイランドの抑制	地下鉄は、走行時の排熱が極めて小さく、都心部のヒートアイランド現象の抑制にも大きく貢献している。もし、地下鉄がなかったら、その分マイカー等の利用者が増え、都心部において約5千世帯がお風呂を沸かす程度の熱量（＝約 1,926 万kcal／日）が日々増加してしまう。

２．地下鉄の利用促進

福岡市交通局では、環境にやさしい地下鉄の利用促進を図ることが、地球温暖化などの環境問題への対応として重要と考えており、「駅まで歩く、駅から歩く」をスローガンとした「SUBWAY DIET」などを展開している。

○　環境関連プロジェクト

概　要	開始時期
公共交通の利用促進 ・西鉄と連携して、野芥駅および六本松駅構内にバスナビを設置し、また両駅を通過する地下鉄・バスの車内モニターに相互に乗換案内を表示している。 ・民間商業施設と連携し，橋本駅でパーク＆ライドを実施。	平成 23 年～
SUBWAY　DIET（サブウェイ　ダイエット） ・「地下鉄を含むライフスタイル」を提案する新たなプロモーション活動として、「環境・健康」を切り口に、市関係局や民間企業との連携をおこなっている。	平成 20 年～

３．環境負荷低減の取組

環境負荷低減の取組として、軽量タイプの車両の採用、ブレーキをかけた時のエネルギーを電力に変える回生ブレーキの導入など、開業当初より様々な取組を行っている。

近年では駅照明のLED化や駅務室系統の空調のビルマルチ方式への変更、橋本車両工場や天神駅での省エネ診断事業を行っている。今後も、より一層の環境負荷低減に向けて、省エネやリサイクルなどの取組を行っていく。

○　主な環境負荷低減の取組

項目	主な取り組み	開始時期
電気使用量削減の取組	軽量タイプの車両の導入	開業当初～
	回生ブレーキの採用及び省エネ型の主回路（VVVF）導入による回生率の向上	開業当初～
	エスカレーターの自動作動・停止	開業当初～
	照明の見直し（構内減灯、照明器具変更）・自然採光の多用	昭和 59 年～
	車両空調の効率化	平成 15 年～
	太陽光発電装置の導入	平成 16 年～
	自然換気システムの導入	平成 16 年～
	駅照明のLED化	平成 24 年～
	駅務室系統の空調をビルマルチ方式へ変更	平成 25 年～
水使用量削減の取組	再生水の利用	昭和 57 年～
	雨水循環システムの導入	平成 16 年～
省資源・リサイクルなど	きっぷのリサイクル	平成8年～
	繰り返し利用できる IC カード「はやかけん」の導入	平成 20 年～
民間事業者と連携した取組	省エネ診断事業	平成 25 年～
	屋根貸し太陽光発電事業	平成 27 年～
	宅配取次ボックスの設置	平成 30 年～

環 境 方 針

～「低炭素社会」の実現に向けて、福岡市交通局が取り組むこと～

環境問題、特に地球温暖化は、世界的に深刻な問題となっており、このまま進行すれば気候変動がさらに激しくなり、人類をはじめとする生物に大きな影響を及ぼすことが予想されています。この地球温暖化を抑止するため、環境への負荷が少なく、持続的な発展ができる「低炭素社会」の実現が求められています。

福岡市交通局でも、公共交通事業者の社会的な責任として、地球温暖化をはじめとする環境問題に対し、真剣に取り組んでいく必要があると認識しています。そのためには、二酸化炭素排出量が少なく、環境にやさしい乗り物である鉄道をはじめとする公共交通の利用を促進するとともに、事業活動によって生じる環境負荷のさらなる低減に努めていかなければなりません。

そこで、私たちは、次のとおり環境に関する基本方針を定め、「低炭素社会」の実現に向けて、取り組んでいきます。

１．安全で快適な、質の高い輸送サービスを提供し、環境にやさしい交通機関である地下鉄を、より多くの方に利用していただけるよう努めます。

２．地下鉄運営によって生じる環境負荷をよりいっそう削減するため、エネルギー使用の効率化や資源の有効活用を進めます。

３．職員一人ひとりが常に環境を意識した行動ができるよう、職員の意識の向上を図ります。

平成２１年６月　　福岡市交通局

第５　営　　業

１．乗車料金制度

（1）料金改定の推移

当初制定年月日	昭和56年７月26日	（初乗り	120円）	
改定年月日	昭和60年６月１日	（　〃	140円）……平均改定率	13.7％
	平成元年６月１日	（　〃	160円）……　〃	15.8％
	平成４年12月１日	（　〃	180円）……　〃	11.7％
	平成９年６月１日	（　〃	200円）……　〃	12.4％
	平成26年４月１日	（　〃	200円）……　〃	2.8％

（2）料金制度の概要

①　普通料金（対キロ区間制）

	区　　間	料金	
		大人	小児
１区	～ 3キロまで	200円	100円
２区	3キロを超え 7キロまで	260円	130円
３区	7キロを超え11キロまで	300円	150円
４区	11キロを超え15キロまで	330円	170円
５区	15キロを超え19キロまで	350円	180円
６区	19キロを超え20キロまで	370円	190円

②　定期料金（通勤、通学（大人・小児・割引））

ア　定期料金（対キロ区間制）

		通勤	通学
1月定期	1区	8,020円	4,940円
	2区	10,030円	6,170円
	3区	11,630円	7,160円
	4区	12,840円	7,900円
	5区	13,640円	8,390円
	6区	14,440円	8,890円
3月定期		１月定期の３倍の５％引き	
6月定期		〃　の６倍の10％引き	

イ　共通定期料金（地下鉄・自転車駐車場）

地下鉄・自転車駐車場双方の定期料金の合計額から割引した額

割引額	1月定期	通勤900円、通学600円
	3月定期	１月定期の３倍
	6月定期	〃　の６倍

③　１日乗車料金

大人　620円　　小児・割引　310円

④　団体料金

25人以上の団体に適用

割引率	学生団体 20％
	普通団体 10％

⑤　乗継割引料金

ア　ＪＲ九州筑肥線

対象区間　　筑肥線（周船寺～下山門）と地下鉄線（室見～赤坂）を乗り継ぐ場合。

対象券種　　普通券……大人20円（地下鉄、ＪＲ九州双方10円の割引）

定期券……下記の地下鉄料金にＪＲ九州の料金を加えた額

通勤大人（１月）１区 7,620円，２区 9,630円

通学大人（１月）１区 4,690円，２区 5,920円

イ　西鉄貝塚線

対象区間　　貝塚線３区（～三苫）と地下鉄線３区（～藤崎・福岡空港・茶山）を乗り継ぐ場合。

対象券種　　普通券 …… 双方２区以内：大人60円（地下鉄、西鉄双方30円の割引）

片側又は双方３区：大人20円（地下鉄、西鉄双方10円の割引）

定期券(通勤)……下記の地下鉄料金に西鉄の料金を加えた額

双方２区以内：大人（１月）１区　7,220円，２区9,030円

片側又は双方３区：大人（１月）１区　7,620円，２区9,530円

３区 11,050円

⑥　割引料金……身体障がい者等

大人は大人料金の半額、小児は小児料金の半額（普通券のみ）

⑦　手 数 料……払戻し及び再発行

・払戻し　　普通券（200円）、定期券・通学割引回数券・１日券・団体券・ICカード（220円）

・再発行　　ICカード（510円）

⑧　そ の 他……企画乗車券

地下鉄全線乗り放題定期券（ちかパス）

高齢者地下鉄全線定期乗車券（ちかパス65）

地下鉄全線家族１日乗車券（ファミちかきっぷ）

訪日外国人専用２日乗車券（2Day Pass）

伊都・キャンパス回数券、伊都・シーサイド回数券等

※料金の区分　　大人……12歳以上

小児……６歳以上12歳未満

(3) 料金区界表

営業キロ（km）

姪浜	1.5	2.3	3.4	4.6	5.4	6.5	7.3	8.1	9.1	9.8	11.0	13.1	8.6	9.3	10.2	11.0	11.8	12.8	—	8.0	8.5	9.1	10.1	11.0	11.8	12.8	13.6	14.4	15.0	15.9	16.7	17.6	18.3	19.3
	室見	0.8	1.9	3.1	3.9	5.0	5.8	6.6	7.6	8.3	9.5	11.6	7.1	7.8	8.7	9.5	10.3	11.3	—	6.5	7.0	7.6	8.6	9.5	10.3	11.3	12.1	12.9	13.5	14.4	15.2	16.1	16.8	17.8
		藤崎	1.1	2.3	3.1	4.2	5.0	5.8	6.8	7.5	8.7	10.8	6.3	7.0	7.9	8.7	9.5	10.5	—	5.7	6.2	6.8	7.8	8.7	9.5	10.5	11.3	12.1	12.7	13.6	14.4	15.3	16.0	17.0
			西新	1.2	2.0	3.1	3.9	4.7	5.7	6.4	7.6	9.7	5.2	5.9	6.8	7.6	8.4	9.4	—	4.6	5.1	5.7	6.7	7.6	8.4	9.4	10.2	11.0	11.6	12.5	13.3	14.2	14.9	15.9
				唐人町	0.8	1.9	2.7	3.5	4.5	5.2	6.4	8.5	4.0	4.7	5.6	6.4	7.2	8.2	—	3.4	3.9	4.5	5.5	6.4	7.2	8.2	9.0	9.8	10.4	11.3	12.1	13.0	13.7	14.7
					大濠公園	1.1	1.9	2.7	3.7	4.4	5.6	7.7	3.2	3.9	4.8	5.6	6.4	7.4	—	2.6	3.1	3.7	4.7	5.6	6.4	7.4	8.2	9.0	9.6	10.5	11.3	12.2	12.9	13.9
		2区			1区	赤坂	0.8	1.6	2.6	3.3	4.5	6.6	2.1	2.8	3.7	4.5	5.3	6.3	—	1.5	2.0	2.6	3.6	4.5	5.3	6.3	7.1	7.9	8.5	9.4	10.2	11.1	11.8	12.8
		260 (130)			200 (100)		天神	0.8	1.8	2.5	3.7	5.8	1.3	2.0	2.9	3.7	4.5	5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
								中洲川端	1.0	1.7	2.9	5.0	0.5	1.2	2.1	2.9	3.7	4.7	—	1.5	2.0	2.6	3.6	4.5	5.3	6.3	7.1	7.9	8.5	9.4	10.2	11.1	11.8	12.8
	3区								祇園	0.7	1.9	4.0	1.5	2.2	3.1	3.9	4.7	5.7	—	2.5	3.0	3.6	4.6	5.5	6.3	7.3	8.1	8.9	9.5	10.4	11.2	12.1	12.8	13.8
	300 (150)									博多	1.2	3.3	2.2	2.9	3.8	4.6	5.4	6.4	—	3.2	3.7	4.3	5.3	6.2	7.0	8.0	8.8	9.6	10.2	11.1	11.9	12.8	13.5	14.5
											東比恵	2.1	3.4	4.1	5.0	5.8	6.6	7.6	—	4.4	4.9	5.5	6.5	7.4	8.2	9.2	10.0	10.8	11.4	12.3	13.1	14.0	14.7	15.7
4区	330 (170)										1区	福岡空港	5.5	6.2	7.1	7.9	8.7	9.7	—	6.5	7.0	7.6	8.6	9.5	10.3	11.3	12.1	12.9	13.5	14.4	15.2	16.1	16.8	17.8
													呉服町	0.7	1.6	2.4	3.2	4.2	—	2.0	2.5	3.1	4.1	5.0	5.8	6.8	7.6	8.4	9.0	9.9	10.7	11.6	12.3	13.3
				2区				1区						千代県庁口	0.9	1.7	2.5	3.5	—	2.7	3.2	3.8	4.8	5.7	6.5	7.5	8.3	9.1	9.7	10.6	11.4	12.3	13.0	14.0
				260 (130)				200 (100)							馬出九大病院前	0.8	1.6	2.6	—	3.6	4.1	4.7	5.7	6.6	7.4	8.4	9.2	10.0	10.6	11.5	12.3	13.2	13.9	14.9
		3区										3区			1区	箱崎宮前	0.8	1.8	—	4.4	4.9	5.5	6.5	7.4	8.2	9.2	10.0	10.8	11.4	12.3	13.1	14.0	14.7	15.7
4区		300 (150)										300 (150)	2区		200 (100)		箱崎九大前	1.0	—	5.2	5.7	6.3	7.3	8.2	9.0	10.0	10.8	11.6	12.2	13.1	13.9	14.8	15.5	16.5
330 (160)													260 (130)					貝塚	—	6.2	6.7	7.3	8.3	9.2	10.0	11.0	11.8	12.6	13.2	14.1	14.9	15.8	16.5	17.5
—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	天神南	0.7	1.2	1.8	2.8	3.7	4.5	5.5	6.3	7.1	7.7	8.6	9.4	10.3	11.0	12.0
						1区	—	1区					1区							渡辺通	0.5	1.1	2.1	3.0	3.8	4.8	5.6	6.4	7.0	7.9	8.7	9.6	10.3	11.3
						200 (100)	—	200 (100)					200 (100)								薬院	0.6	1.6	2.5	3.3	4.3	5.1	5.9	6.5	7.4	8.2	9.1	9.8	10.8
				2区			—			2区					2区							薬院大通	1.0	1.9	2.7	3.7	4.5	5.3	5.9	6.8	7.6	8.5	9.2	10.2
				260 (130)			—			260 (130)					260 (130)								桜坂	0.9	1.7	2.7	3.5	4.3	4.9	5.8	6.6	7.5	8.2	9.2
							—																	六本松	0.8	1.8	2.6	3.4	4.0	4.9	5.7	6.6	7.3	8.3
							—																		別府	1.0	1.8	2.6	3.2	4.1	4.9	5.8	6.5	7.5
				3区			—			3区																茶山	0.8	1.6	2.2	3.1	3.9	4.8	5.5	6.5
				300 (150)			—			300 (150)					3区												金山	0.8	1.4	2.3	3.1	4.0	4.7	5.7
							—								300 (150)											1区		七隈	0.6	1.5	2.3	3.2	3.9	4.9
							—																2区			200 (100)			福大前	0.9	1.7	2.6	3.3	4.3
							—																260 (130)							梅林	0.8	1.7	2.4	3.4
				4区			—			4区					4区																野芥	0.9	1.6	2.6
	5区			330 (160)			—			330 (160)		5区			330 (160)						3区											賀茂	0.7	1.7
	350 (180)						—					350 (180)					5区				300 (150)												次郎丸	1.0
6区 370 (190)							—										350 (180)		4区	330 (160)														橋本

普通料金（円）

２．料金表等

（1）料金の種別及び金額

（単位：円）

種別				金額 1区	2区	3区	4区	5区	6区	備考
普通料金		大人		200	260	300	330	350	370	
普通料金		小児		100	130	150	170	180	190	12歳未満の者
定期料金	通勤定期料金	大人	1月	8,020	10,030	11,630	12,840	13,640	14,440	
定期料金	通勤定期料金	大人	3月	22,860	28,590	33,150	36,600	38,880	41,160	
定期料金	通勤定期料金	大人	6月	43,310	54,170	62,810	69,340	73,660	77,980	
定期料金	通勤定期料金	小児	1月	4,010	5,020	5,820	6,420	6,820	7,220	
定期料金	通勤定期料金	小児	3月	11,430	14,300	16,580	18,300	19,440	20,580	
定期料金	通勤定期料金	小児	6月	21,660	27,090	31,410	34,670	36,830	38,990	
定期料金	通学定期料金	大人	1月	4,940	6,170	7,160	7,900	8,390	8,890	
定期料金	通学定期料金	大人	3月	14,080	17,590	20,410	22,520	23,920	25,340	
定期料金	通学定期料金	大人	6月	26,680	33,320	38,670	42,660	45,310	48,010	
定期料金	通学定期料金	小児	1月	2,470	3,090	3,580	3,950	4,200	4,450	
定期料金	通学定期料金	小児	3月	7,040	8,800	10,210	11,260	11,960	12,670	
定期料金	通学定期料金	小児	6月	13,340	16,660	19,340	21,330	22,660	24,010	
1日乗車料金		大人		620						
1日乗車料金		小児		310						
団体料金	学生団体	大人		普通料金の2割引						25人以上の団体
団体料金	学生団体	小児		普通料金の2割引						25人以上の団体
団体料金	普通団体	大人		普通料金の1割引						25人以上の団体
団体料金	普通団体	小児		普通料金の1割引						25人以上の団体

（2）割引乗車券の種別及び金額

（単位：円）

種別		金額 1区	2区	3区	4区	5区	6区	備考
割引普通料金		100	130	150	170	180	190	
割引小児普通料金		50	70	80	90	90	100	
割引通勤定期料金	1月	4,010	5,020	5,820	6,420	6,820	7,220	
割引通勤定期料金	3月	11,430	14,300	16,580	18,300	19,440	20,580	
割引通勤定期料金	6月	21,660	27,090	31,410	34,670	36,830	38,990	
割引通学定期料金	1月	2,470	3,090	3,580	3,950	4,200	4,450	
割引通学定期料金	3月	7,040	8,800	10,210	11,260	11,960	12,670	
割引通学定期料金	6月	13,340	16,660	19,340	21,330	22,660	24,010	
通学割引回数料金		1,000	1,300	1,500	1,700	1,800	1,900	通信制高校・放送大学、11枚綴り
割引1日乗車料金		310						

（3）企画乗車券の種別及び金額

（単位：円）

種別				金額	備考
地下鉄全線乗り放題定期券「ちかパス」	一般	大人	1月	12,340	
			3月	35,170	
			6月	66,640	
		小児割引	1月	6,170	
			3月	17,590	
			6月	33,320	
	学生	大人	1月	7,200	
			3月	20,520	
			6月	38,880	
		小児割引	1月	3,600	
			3月	10,260	
			6月	19,440	
高齢者地下鉄全線定期乗車券「ちかパス65」	65歳以上		1月	6,000	
			3月	16, 000	
			6月	30, 000	
伊都・キャンパス回数券	大人			5,100	10枚綴り
伊都・シーサイド回数券	大人	昭和バス西の浦まで		7,240	10枚綴り
		昭和バス畑中まで		6,730	
		昭和バス大原橋まで		5,700	
地下鉄全線家族1日乗車券「ファミちかきっぷ」	家族（大人2人まで、小児・幼児無制限）			1,000	・「家族」とは，2親等以内の親族 ・大人または小児・幼児だけでの利用は不可 ・家族で同一行程を利用
訪日外国人専用2日乗車券「2Day Pass」	大人			720円	（利用対象者） 日本国籍を有しない，短期滞在の外国人旅行者 ※購入時にパスポートの確認
	小児			360円	

3．連絡運輸制度

区分		連絡運輸対象区域	対象券種	実施日
JR九州	相互連絡	筑肥線 西唐津～下山門 ←→ 地下鉄全線（全駅）	普通 定期 団体	昭和58. 3.22
		地下鉄全線（全駅） ←→ 鹿児島本線門司港～大牟田 篠栗線・香椎線全駅 筑豊本線全駅 長崎本線鳥栖～佐賀	定期	平成17. 7. 1
	通過連絡	筑肥線各駅 唐津線 西唐津～小城 ←→ 地下鉄 姪浜～博多 ←→ JR九州各駅 JR西日本各駅 JR四国各駅 JR東海各駅	普通 定期 団体	昭和58. 3.22
西鉄	相互連絡	地下鉄全線（全駅） ←→ 西鉄貝塚線（全駅）	普通 定期	昭和61.11.12
		地下鉄全線（全駅） ←→ 西鉄天神大牟田線（全駅）	定期	平成14. 4. 1

（注）西唐津はＪＲ九州唐津線の駅。

４．ＩＣカード乗車券「はやかけん」

地下鉄利用者の利便性向上と公共交通機関の利用促進を図るため、平成21年3月7日にICカード乗車券「はやかけん」を導入した。

（1）特　徴

①全国相互利用サービス（平成25年3月23日開始）　②電子マネーサービス（「PiTaPa」を除く。）

③定期券の搭載　④地下鉄乗車時のポイント付与　⑤紛失時の再発行（無記名式を除く）

（2）デポジット（預かり金）　500円

（3）チャージ　1,000円単位で最大20,000円まで可能

（4）ポイント

※1ポイント＝1円で「はやかけん」にチャージ（入金）可能。

①乗車料金額に応じたポイント

1か月間（毎月1日～末日）の乗車料金額に応じて翌月の10日に基本ポイント及びボーナスポイントを付与。

【付与ポイント数】1か月間の地下鉄乗車料金額 × ポイント付与率（2%） ＋ ボーナスポイント

1か月乗車料金額	ボーナスポイント
1,000円以上 3,000円未満	＋ 50ポイント
3,000円以上 5,000円未満	＋200ポイント
5,000円以上 8,000円未満	＋350ポイント
8,000円以上10,000円未満	＋600ポイント
10,000円以上	＋800ポイント

②地下鉄線⇔JR筑肥線　乗継ぎポイント

「はやかけん」のカード入金額で姪浜駅をまたがってJR筑肥線（西唐津～下山門間各駅）⇔地下鉄線各駅を利用すると、上記ポイントに加えて1乗車につき10ポイントを翌月10日に付与。

③ひと駅ポイント（平成28年10月開始）

「はやかけん」のカード入金額で地下鉄の1駅区間を利用すると，1乗車につき100ポイントを付与。

※1か月間（毎月1日～末日）の付与上限回数は10回。

※定期区間の1駅前又は1駅超えた利用も対象。

（5）「はやかけん」を活用したお客様サービス等

①「はやかけん」を利用したメール配信サービス「みまもりタッチ」モニター開始（平成21年4月）

本格実施（平成23年4月1日有料化）

②ANAとの提携によりマイレージクラブ会員を対象とした「ANAはやかけん」を発行（平成21年12月）

（「ANAマイル」を「はやかけんポイント」へ交換できるサービスの提供（平成22年3月～））

③駅周辺駐車場を利用した場合に駐車場料金が割引となるパーク＆ライドサービス開始　（平成22年1月）

④対象駅周辺で利用可能なカーシェアリング車両の利用料金が割引となるレール＆カーシェアサービス開始

（平成27年5月）

⑤福岡市施設（区役所窓口や美術館・博物館・体育館など）において、「はやかけん」（相互利用カードも含む）による電子マネー決済を開始（平成22年5月）

（平成30年3月末現在、132箇所で同決済サービスを提供）

⑥運転免許を返納し、ちかパス65を購入した人にポイントを付与する運転免許返納割サービスを開始

（平成29年5月）

5. 運輸実績

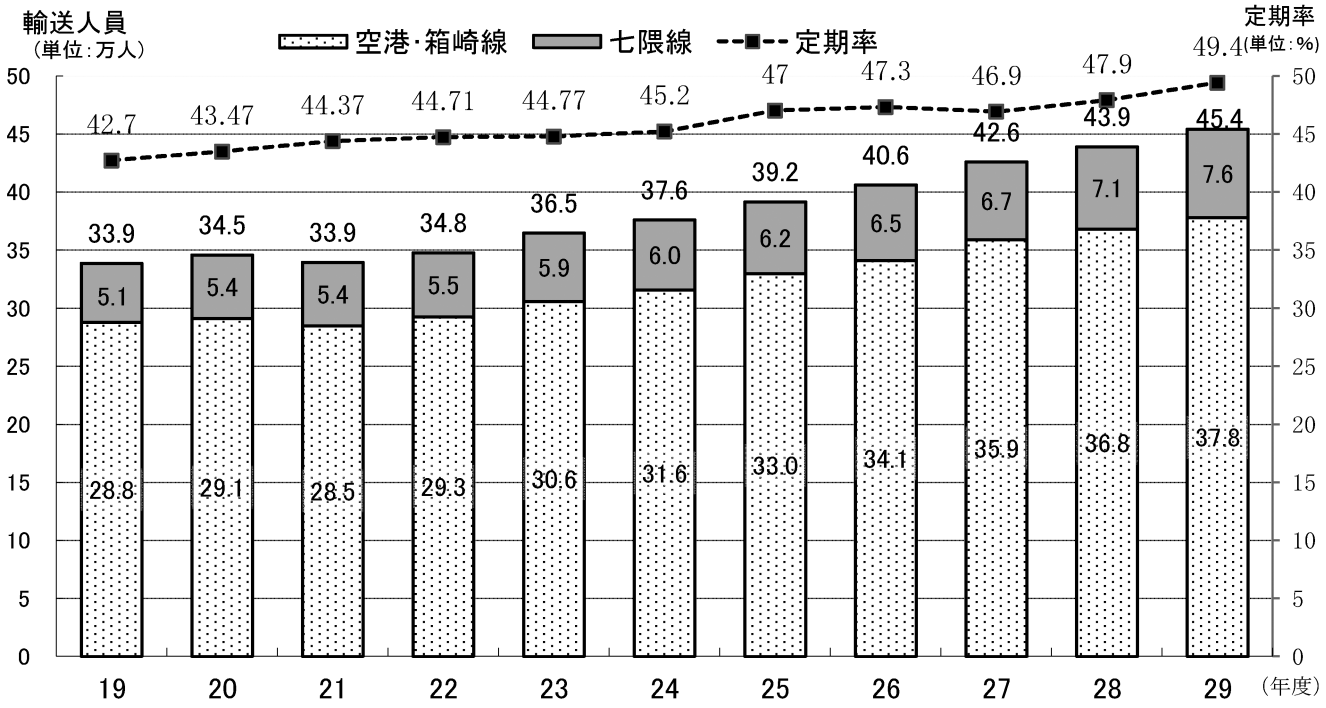
（1） 総括表

項目 ＼ 年度	単位	25年度	26年度	27年度	28年度	空港線 箱崎線	七隈線	29年度	空港線 箱崎線	七隈線
営業日数	日	365	365	366	365	365	365	365	365	365
期末営業キロ	km	29.8	29.8	29.8	29.8	17.8	12.0	29.8	17.8	12.0
期中営業キロ	km	29.8	29.8	29.8	29.8	17.8	12.0	29.8	17.8	12.0
列車走行キロ	千km	3,537	3,540	3,548	3,545	2,246	1,299	3,555	2,256	1,299
車両走行キロ	千km	18,638	18,659	18,696	18,676	13,481	5,195	18,731	13,534	5,197
1日平均	km	51,064	51,121	51,083	51,168	36,935	14,233	51,319	37,080	14,239
使用電力量	千kwh	91,817	89,096	87,149	87,994	57,239	30,755	88,807	57,786	31,021
輸送人員	千人	143,152	148,203	156,081	160,390	134,240	26,150	165,786	138,165	27,621
定期	千人	67,265	70,169	73,149	76,888	63,319	13,569	81,927	67,011	14,916
定期外	千人	75,887	78,034	82,932	83,502	70,921	12,581	83,859	71,154	12,705
定期率	%	47.0%	47.3%	46.9%	47.9%	47.2%	51.9%	49.4%	48.5%	54.0%
1日平均	人	392,198	406,035	426,451	439,424	367,781 (377,772)	71,643 (82,386)	454,207	378,534 (389,048)	75,673 (87,015)
1日1キロ当り	人／km	13,161	13,625	14,310	14,746	20,662	5,970	15,242	21,266	6,306
輸送人キロ	千人キロ	765,216	789,415	822,349	844,618	663,790	180,828	871,560	683,116	188,444
輸送密度	人	70,352	72,577	75,398	77,652	102,169	41,285	80,129	105,143	43,024
乗車効率	%	33.1	34.1	35.5	36.5	36.5	36.4	37.5	37.4	38
運賃収入	百万円	24,952	26,649	28,162	29,121	24,199	4,922	30,238	25,068	5,170
1日平均	千円	68,362	73,010	76,946	79,783	66,299	13,484	82,844	68,679	14,165
1人平均乗車キロ	km	5.35	5.33	5.27	5.27	4.94	6.92	5.26	4.94	6.82
定期	km	5.94	5.97	5.92	5.88	5.54	7.49	5.82	5.48	7.36
定期外	km	4.82	4.75	4.70	4.70	4.42	6.30	4.71	4.44	6.19
1人平均支払運賃	円	174.31	179.81	180.43	181.56	180.27	188.22	182.39	181.43	187.19
定期	円	133.43	136.36	137.33	136.58	134.75	145.08	135.29	134.08	140.72
定期外	円	210.53	218.89	218.45	222.99	220.90	234.74	228.41	226.03	241.74

（注1） 「5.運輸実績」の金額には、消費税を含む。

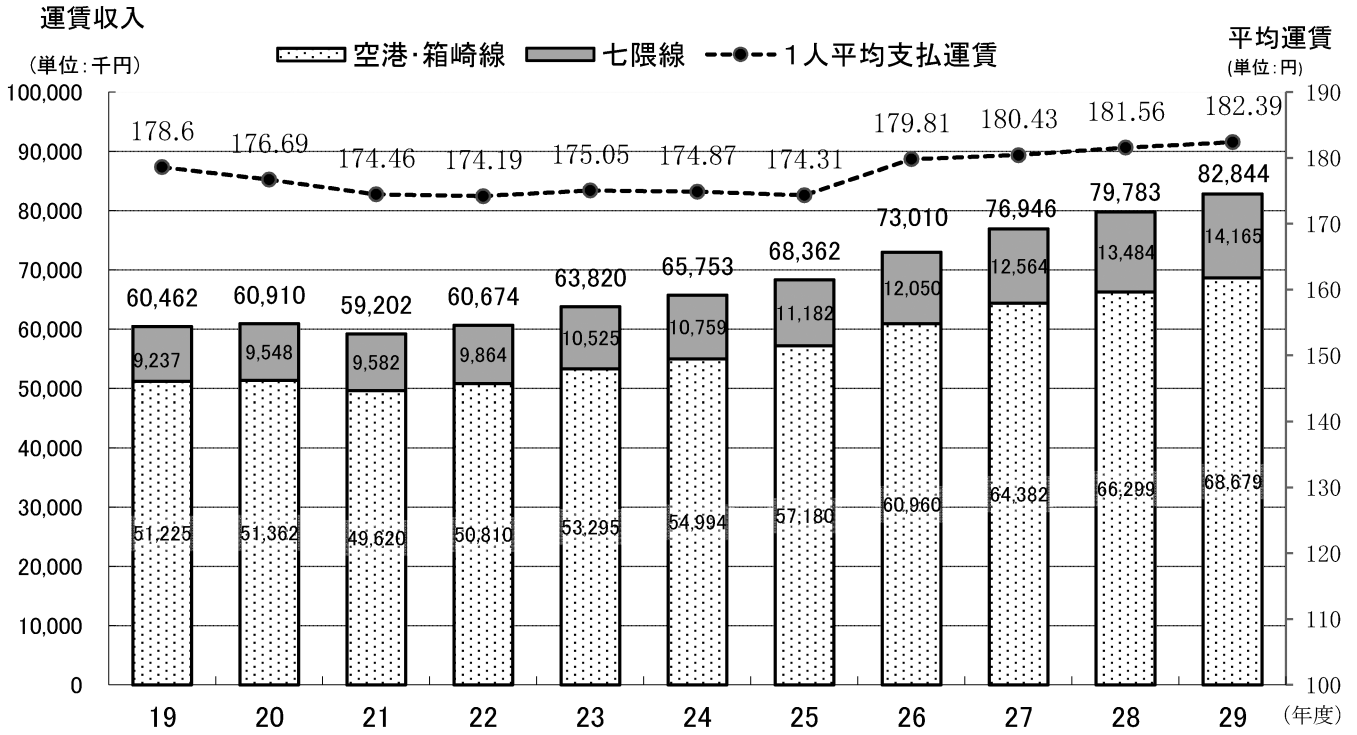
（注2） 輸送人員の1日平均（ ）書きは、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を含む。

（2） 輸送人員(1日平均)と定期率の推移



※空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員は含まない。

（3） 運輸収入(1日平均)と1人平均支払運賃の推移



※26年度実績には，消費税増税に伴う運賃改定分の増加が含まれる。

（4） 乗車券別輸送人員(平成29年度)

（単位：人、%）

区分			全線		空港線・箱崎線		七隈線	
			輸送人員	構成比	輸送人員	構成比	輸送人員	構成比
定期	通勤	1月	22,897,050	13.8	50,991,038	36.9	9,422,122	34.1
		3月	7,458,705	4.5				
		6月	30,057,405	18.1				
	計		60,413,160	36.4				
	通学	1月	8,070,360	4.9	16,020,115	11.6	5,493,950	19.9
		3月	7,051,410	4.2				
		6月	6,392,295	3.9				
	計		21,514,065	13.0				
計			81,927,225	49.4	67,011,153	48.5	14,916,072	54.0
定期外	普通		20,410,970	12.3	17,705,517	12.8	2,705,453	9.8
	ICカード		54,774,481	33.1	46,695,227	33.8	8,079,254	29.3
	回数		8,503	0.0	6,385	0.0	2,118	0.0
	1日		7,023,154	4.2	5,426,888	3.9	1,596,266	5.8
	特別企画		693,762	0.4	658,178	0.5	35,584	0.1
	団体		78,024	0.1	52,584	0.0	25,440	0.1
	敬老・福祉割引		869,540	0.5	609,224	0.5	260,316	0.9
	その他		0	0.0	0	0.0	0	0.0
計			83,858,434	50.6	71,154,003	51.5	12,704,431	46.0
合計			165,785,659	100.0	138,165,156	100.0	27,620,503	100.0

区分		全線		空港線・箱崎線		七隈線	
		輸送人員	構成比	輸送人員	構成比	輸送人員	構成比
定期	1区	11,333,880	6.8	67,011,153	48.5	14,916,072	54.0
	2区	26,712,420	16.1				
	3区	19,678,560	11.9				
	4区	179,580	0.1				
	5区	5,160	0.0				
	6区	0	0.0				
	全線	24,017,625	14.5				
計		81,927,225	49.4				
定期外	1区	29,323,951	17.7	71,154,003	51.5	12,704,431	46.0
	2区	36,843,184	22.2				
	3区	15,260,665	9.2				
	4区	2,316,068	1.4				
	5区	108,864	0.1				
	6区	5,702	0.0				
計		83,858,434	50.6				
合計	1区	40,657,831	24.5	138,165,156	100.0	27,620,503	100.0
	2区	63,555,604	38.3				
	3区	34,939,225	21.1				
	4区	2,495,648	1.5				
	5区	114,024	0.1				
	6区	5,702	0.0				
	全線	24,017,625	14.5				
計		165,785,659	100.0				

（5） 乗車券別運輸収入（平成29年度）

（単位：円、％）

区分			全線		空港線・箱崎線		七隈線	
			運輸収入	構成比	運輸収入	構成比	運輸収入	構成比
定期	通勤	1月	3,557,667,240	11.8	7,560,751,700	30.1	1,536,223,880	29.7
		3月	1,154,353,310	3.8				
		6月	4,384,955,030	14.5				
	計		9,096,975,580	30.1				
	通学	1月	787,064,860	2.6	1,423,871,790	5.7	562,810,600	10.9
		3月	650,091,220	2.1				
		6月	549,526,310	1.9				
	計		1,986,682,390	6.6				
計			11,083,657,970	36.7	8,984,623,490	35.8	2,099,034,480	40.6
定期外	普通		4,667,454,280	15.4	16,083,222,968	64.2	3,071,188,190	59.4
	ICカード		13,135,519,850	43.5				
	回数		870,530	0.0				
	1日		1,002,149,788	3.3				
	特別企画		160,302,700	0.5				
	団体		10,775,390	0.0				
	敬老・福祉割引		177,232,990	0.6				
	その他		105,630	0.0				
計			19,154,411,158	63.3				
合計			30,238,069,128	100.0	25,067,846,458	100.0	5,170,222,670	100.0

（6） 駅別乗車人員の推移（年度別1日平均）

（単位：人、%）

年度 / 駅名	25	26	前年度比	27	前年度比	28	前年度比	29	前年度比
JR筑肥線	26,547	26,729	100.7	27,299	102.1	27,673	101.4	28,269	102.2
姪浜	19,727	19,989	101.3	20,388	102.0	20,984	102.9	21,548	102.7
室見	7,721	7,766	100.6	8,189	105.4	8,558	104.5	8,738	102.1
藤崎	11,088	11,100	100.1	12,508	112.7	12,367	98.9	12,557	101.5
西新	22,222	22,526	101.4	22,387	99.4	23,628	105.5	24,140	102.2
唐人町	10,329	10,785	104.4	11,750	108.9	11,137	94.8	11,372	102.1
大濠公園	8,740	9,286	106.2	10,216	110.0	10,766	105.4	10,940	101.6
赤坂	13,584	14,022	103.2	15,507	110.6	15,033	96.9	15,656	104.1
天神	71,190	73,296	103.0	78,347	106.9	79,578	101.6	81,602	102.5
中洲川端	12,677	13,652	107.7	14,168	103.8	14,331	101.2	14,848	103.6
祇園	5,925	6,059	102.3	6,567	108.4	6,898	105.0	7,124	103.3
博多	66,514	69,711	104.8	73,938	106.1	76,366	103.3	79,046	103.5
東比恵	9,231	9,533	103.3	9,781	102.6	10,606	108.4	11,077	104.4
福岡空港	22,640	23,748	104.9	24,901	104.9	25,839	103.8	26,728	103.4
空港線計	308,135	318,202	103.3	335,946	105.6	343,764	102.3	353,645	102.9
中洲川端	1,699	1,797	105.8	1,908	106.2	2,050	107.4	2,164	105.6
呉服町	2,904	3,147	108.4	3,358	106.7	3,587	106.8	3,754	104.7
千代県庁口	3,743	3,911	104.5	4,014	102.6	4,271	106.4	4,619	108.1
馬出九大病院前	4,958	5,299	106.9	5,694	107.5	5,926	104.1	6,148	103.7
箱崎宮前	3,580	3,920	109.5	3,807	97.1	4,111	108.0	4,262	103.7
箱崎九大前	3,820	3,664	95.9	3,653	99.7	3,513	96.2	3,601	102.5
貝塚	6,338	6,446	101.7	6,841	106.1	7,037	102.9	7,257	103.1
西鉄貝塚線	3,141	3,121	99.4	3,228	103.4	3,513	108.8	3,598	102.4
箱崎線計	30,183	31,305	103.7	32,503	103.8	34,008	104.6	35,403	104.1
空港線・箱崎線計	338,318	349,507	103.3	368,449	105.4	377,772	102.5	389,048	103.0
橋本	3,776	3,919	103.8	4,041	103.1	4,182	103.5	4,320	103.3
次郎丸	2,542	2,690	105.8	2,764	102.8	2,892	104.6	3,027	104.7
賀茂	2,541	2,665	104.9	2,698	101.2	2,808	104.1	2,954	105.2
野芥	3,301	3,566	108.0	3,509	98.4	3,647	103.9	3,787	103.8
梅林	1,251	1,384	110.6	1,425	103.0	1,508	105.8	1,567	103.9
福大前	6,095	6,313	103.6	6,360	100.7	6,534	102.7	6,769	103.6
七隈	4,099	4,339	105.9	4,601	106.0	4,914	106.8	4,926	100.2
金山	2,489	2,570	103.3	2,729	106.2	2,835	103.9	2,973	104.9
茶山	1,988	2,056	103.4	2,235	108.7	2,354	105.3	2,449	104.0
別府	4,442	4,468	100.6	4,949	110.8	5,431	109.7	5,700	105.0
六本松	3,669	4,136	112.7	4,006	96.9	4,396	109.7	5,689	129.4
桜坂	1,526	1,592	104.3	1,680	105.5	1,861	110.8	1,902	102.2
薬院大通	2,462	2,482	100.8	2,675	107.8	2,846	106.4	2,977	104.6
薬院	7,632	8,083	105.9	7,870	97.4	8,819	112.1	9,330	105.8
渡辺通	2,548	2,650	104.0	2,989	112.8	3,123	104.5	3,333	106.7
天神南	21,076	21,975	104.3	22,992	104.6	24,236	105.4	25,312	104.4
七隈線計	71,437	74,888	104.8	77,523	103.5	82,386	106.3	87,015	105.6
乗継ぎ分	17,557	18,360	104.6	19,521	106.3	20,734	106.2	21,856	105.4
合計	392,198	406,035	103.5	426,451	105.0	439,424	103.0	454,207	103.4

※合計については、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を除く。

（7） 駅別乗車人員の推移（平成29年度、月別1日平均）

（単位：人、%）

駅名＼月	H29.4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H29.1月	2月	3月
JR筑肥線	27,884	28,496	29,316	27,873	28,385	29,037	28,102	29,226	27,964	26,837	29,583	26,733
姪浜	21,817	21,692	21,629	21,259	21,697	21,776	21,393	21,689	20,885	20,968	22,029	21,815
室見	8,859	8,789	8,770	8,635	8,732	8,756	8,610	8,748	8,509	8,563	9,059	8,859
藤崎	12,821	12,584	12,827	12,649	12,596	12,575	12,483	12,542	12,143	11,936	12,972	12,598
西新	23,873	24,922	25,597	25,210	23,519	23,669	24,575	25,008	23,905	23,036	23,342	22,990
唐人町	10,619	11,439	11,887	11,786	11,313	12,413	11,476	10,780	13,284	9,083	11,271	11,104
大濠公園	12,382	11,124	10,572	10,214	10,772	10,701	10,506	10,652	10,531	10,150	11,202	12,519
赤坂	16,021	15,250	15,899	15,356	15,508	15,685	15,458	15,703	15,383	14,814	16,572	16,322
天神	80,152	82,169	80,367	81,800	82,940	80,812	80,054	81,640	84,095	78,820	83,948	82,550
中洲川端	14,192	14,646	14,183	15,194	15,639	14,740	14,983	14,593	15,006	13,974	15,754	15,311
祇園	7,096	6,818	7,128	7,314	7,127	7,199	7,162	7,160	6,932	6,752	7,622	7,237
博多	76,770	79,147	77,700	78,413	80,531	77,948	78,417	80,517	81,968	74,836	81,790	80,691
東比恵	10,918	10,626	11,495	10,860	10,624	11,116	11,034	11,043	10,914	10,888	12,092	11,432
福岡空港	25,590	26,016	25,655	26,221	27,373	27,506	27,029	27,695	26,783	24,725	27,866	28,370
空港線計	348,994	353,718	353,025	352,784	356,756	353,933	351,282	356,996	358,302	335,382	365,102	358,531
中洲川端	2,095	2,171	2,125	2,191	2,149	2,273	2,101	2,101	2,159	2,159	2,237	2,198
呉服町	3,687	3,538	3,717	3,900	3,782	3,824	3,703	3,862	3,676	3,605	4,025	3,768
千代県庁口	4,370	4,417	4,585	4,744	4,548	4,685	4,621	4,448	4,455	4,978	4,875	4,712
馬出九大病院前	6,315	6,065	6,340	6,074	5,949	6,108	6,131	6,115	5,898	5,954	6,680	6,215
箱崎宮前	3,955	3,985	4,245	4,067	3,992	6,446	3,961	3,951	3,893	4,518	4,094	4,065
箱崎九大前	3,754	3,692	3,714	3,674	3,505	3,465	3,587	3,673	3,510	3,515	3,705	3,441
貝塚	7,465	7,362	7,353	7,236	7,054	7,517	7,156	7,307	7,130	7,013	7,344	7,179
西鉄貝塚線	3,646	3,697	3,807	3,567	3,639	3,813	3,638	3,595	3,299	3,522	3,713	3,264
箱崎線計	35,287	34,927	35,886	35,453	34,618	38,131	34,898	35,052	34,020	35,264	36,673	34,842
空港線・箱崎線計	384,281	388,645	388,911	388,237	391,374	392,064	386,180	392,048	392,322	370,646	401,775	393,373
橋本	4,379	4,379	4,346	4,285	4,278	4,340	4,358	4,388	4,255	4,255	4,314	4,269
次郎丸	3,048	3,031	3,056	2,960	2,980	3,046	3,008	3,076	2,966	2,992	3,156	3,018
賀茂	3,000	2,986	2,987	2,893	2,873	2,944	2,946	2,990	2,898	2,909	3,083	2,969
野芥	3,765	3,755	3,755	3,653	3,807	3,795	3,756	3,814	3,767	3,733	3,977	3,890
梅林	1,566	1,556	1,546	1,510	1,577	1,588	1,535	1,568	1,556	1,534	1,640	1,631
福大前	8,105	7,700	7,884	7,174	5,383	6,682	7,361	7,536	6,543	6,091	5,676	5,089
七隈	5,212	5,359	5,505	5,052	4,281	4,916	5,200	5,238	5,068	4,597	4,302	4,357
金山	3,031	2,955	2,921	2,870	2,984	2,987	2,967	2,977	2,937	2,903	3,081	3,086
茶山	2,513	2,418	2,428	2,380	2,456	2,443	2,508	2,380	2,392	2,401	2,527	2,546
別府	6,014	5,972	6,176	5,944	5,035	5,612	6,004	6,017	5,752	5,409	5,305	5,169
六本松	4,899	5,016	4,995	4,866	5,139	5,554	6,643	6,280	6,083	5,895	6,496	6,433
桜坂	1,885	1,902	1,923	1,851	1,865	1,921	1,860	1,914	1,873	1,821	2,017	1,995
薬院大通	2,925	2,905	2,930	3,020	3,037	3,012	3,041	2,928	3,002	2,824	3,006	3,075
薬院	9,649	10,052	10,407	9,855	8,357	9,354	9,912	9,885	9,101	8,848	8,719	7,814
渡辺通	3,240	3,241	3,328	3,313	3,396	3,360	3,349	3,302	3,219	3,235	3,603	3,423
天神南	25,753	25,933	25,522	25,242	24,541	25,124	25,605	25,783	25,640	24,531	25,210	24,908
七隈線計	88,984	89,160	89,709	86,868	81,989	86,678	90,053	90,076	87,052	83,978	86,112	83,672
乗継ぎ分	22,997	22,973	23,093	22,284	20,089	21,932	22,675	22,682	21,415	20,873	21,090	20,210
合計	450,268	454,832	455,527	452,821	453,274	456,810	453,558	459,442	457,959	433,751	466,797	456,835

※合計については、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を除く。

（8）広告取扱額の推移

（単位：千円）

区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
列車	中吊	176,320	174,793	135,915	146,537	133,472
	窓上	81,851	73,756	58,183	64,085	80,388
	ドア上	25,099	25,816	25,816	25,766	25,816
	ドア横	108,209	111,301	111,301	111,085	111,300
	ステッカー広告	67,253	69,878	70,826	64,289	72,192
	マナー広告	20,917	21,791	16,045	16,045	16,447
	アピールライナー	24,150	14,964	12,234	12,234	12,943
	その他車内広告	25,600	25,380	25,380	26,539	25,380
小計		529,399	517,679	455,700	466,580	477,938
駅構内	ポスター貼（単体）	46,838	43,283	59,398	49,204	54,448
	ポスター貼（連続貼）	52,873	54,098	58,919	65,372	59,325
	メトロボード	8,752	9,145	10,189	8,344	8,825
	電照・パネル・デジタル広告	287,431	276,127	280,211	300,198	309,990
	フラッグ	884	1,820	910	1,365	0
	エスカレーター	28,178	28,596	49,639	46,125	48,371
	自動改集札機	2,121	2,182	2,182	3,272	3,272
	フロア	2,912	3,253	4,323	3,445	3,821
	駅柱巻	26,533	23,822	23,944	27,504	29,108
	階段	392	1,439	514	1,312	2,157
	駅アピールセット	12,529	25,043	12,196	12,605	16,081
	ホームドアステッカー	89,290	103,299	100,371	100,893	112,107
	駅構内ステッカー	26,165	28,055	28,121	32,258	28,637
	ﾗｯｸ広告	8554	9332	15,076	15,745	17,951
	その他駅構内広告	4,305	4,013	3,858	3,806	3,806
小計		597,757	613,507	649,851	671,448	697,899
合計		1,127,156	1,131,186	1,105,551	1,138,028	1,175,837

※ステッカー広告・・・ドア横ステッカー，ドア上ステッカー，連結部ステッカー，車体ステッカー
※マナー広告・・・手ばさみ注意ステッカー，マナーステッカー，事故防止注意ステッカー，携帯マナーアップステッカー，不審物注意ステッカー
※その他車内広告・・・吊革，ビジョン，車内放送
※ポスター貼（連続貼）・・・連貼，ネット２１，集中貼
※電照・ﾊﾟﾈﾙ・デジタル広告・・・電照・ﾊﾟﾈﾙ，中柱，駅案内，救命ボックス，ビジュアルボード，AED，デジタルサイネージ
※エスカレーター・・・ｴｽｶﾚｰﾀｰ横，ｴｽｶﾚｰﾀｰ横壁面ｽﾃｯｶｰ，ｴｽｶﾚｰﾀｰ手すり間
※駅構内ステッカー・・・ベンチ，構内ステッカー，乗車位置
※ラック広告・・・ﾌﾘｰﾍﾟｰﾊﾟｰﾗｯｸ，えふボックス
※その他駅構内広告・・・広報板，バナー

（9）構内営業にかかる土地建物使用料（収入）の推移

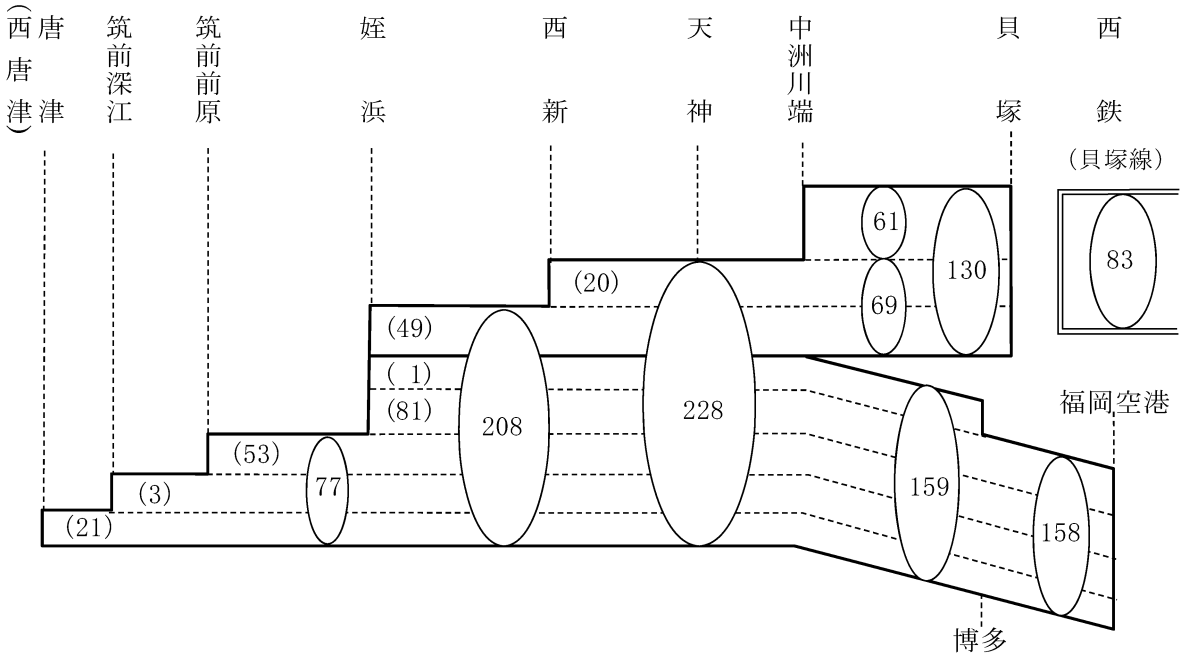
（単位：千円）

区分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
駅構内	空港線・箱崎線	388,294	400,487	411,386	440,345	467,096
	七隈線	91,013	94,657	99,248	103,121	104,937
	小計	479,307	495,144	510,634	543,466	572,033
隧道	空港線・箱崎線	103,338	106,576	108,003	103,506	103,506
	七隈線	39,699	41,219	41,755	41,755	41,755
	小計	143,037	147,795	149,758	145,261	145,261
合計		622,344	642,939	660,392	688,727	717,294

第６　運　　転

１．運転本数（平日：片道）

（１）　空港線・箱崎線（平成 29 年３月４日改正）



（２）　七隈線（平成 28 年３月 18 日改正）

２．運転時隔（平日）

（分．秒）

区間 / 区分	筑肥線			空港線			箱崎線	七隈線
	唐津～筑前深江	筑前深江～筑前前原	筑前前原～姪浜	姪浜～西新	西新～中洲川端	中洲川端～福岡空港	中洲川端～貝塚	橋本～天神南
朝混（８時～９時）	20.00	15.00	7.30	3.00	3.00	3.45	6.40	4.00
昼間	30.00	15.00～30.00	15.00	7.30	5.00	7.30	7.30	7.30
夕混（17 時～19 時）	24.00	20.00	15.00	4.10	4.10	5.45	7.30	6.00

（注）　平均時分

３．始終発時刻（平日）

行先系統別（東行き）	始発	終発
姪浜 → 福岡空港	5:30	23:49
姪浜 → 博多	－	0:00
姪浜 → 貝塚	5:36	23:43
橋本 → 天神南	5:30	23:30

行先系統別（西行き）	始発	終発
福岡空港 → 姪浜	5:45	0:00
博多 → 姪浜	5:30	－
貝塚 → 姪浜	5:30	23:53
天神南 → 橋本	6:00	0:00

4．標準運転時分

（単位:分. 秒）

（1） 空港線・箱崎線

空港線東行 →　　箱崎線北行 →

停車時分	姪浜	2.00	3.35	5.35	7.45	9.20	11.15	13.05	15.05	17.15	19.00	21.40	24.55	16.35	18.05	19.50	21.45	23.25	25.40
0.20	2.10	室見	1.15	3.15	5.25	7.00	8.55	10.45	12.45	14.55	16.40	19.20	22.35	14.15	15.45	17.30	19.25	21.05	23.20
0.20	3.45	1.15	藤崎	1.40	3.50	5.25	7.20	9.10	11.10	13.20	15.05	17.45	21.00	12.40	14.10	15.55	17.50	19.30	21.45
0.30	5.40	3.10	1.35	西新	1.40	3.15	5.10	7.00	9.00	11.10	12.55	15.35	18.50	10.30	12.00	13.45	15.40	17.20	19.35
0.20	7.55	5.25	3.50	1.45	唐人町	1.15	3.10	5.00	7.00	9.10	10.55	13.35	16.50	8.30	10.00	11.45	13.40	15.20	17.35
0.20	9.35	7.05	5.30	3.25	1.20	大濠公園	1.35	3.25	5.25	7.35	9.20	12.00	15.15	6.55	8.25	10.10	12.05	13.45	16.00
0.20	11.25	8.55	7.20	5.15	3.10	1.30	赤坂	1.30	3.30	5.40	7.25	10.05	13.20	5.00	6.30	8.15	10.10	11.50	14.05
0.40	13.15	10.45	9.10	7.05	5.00	3.20	1.30	天神	1.20	3.30	5.15	7.55	11.10	2.50	4.20	6.05	8.00	9.40	11.55
0.30	15.20	12.50	11.15	9.10	7.05	5.25	3.35	1.25	中洲川端	1.40	3.25	6.05	9.20	1.00	2.30	4.15	6.10	7.50	10.05
0.20	17.20	14.50	13.15	11.10	9.05	7.25	5.35	3.25	1.30	祇園	1.25	4.05	7.20	—	—	—	—	—	—
0.40	19.00	16.30	14.55	12.50	10.45	9.05	7.15	5.05	3.10	1.20	博多	2.00	5.15	—	—	—	—	—	—
0.20	21.45	19.15	17.40	15.35	13.30	11.50	10.00	7.50	5.55	4.05	2.05	東比恵	2.55	—	—	—	—	—	—
—	24.40	22.10	20.35	18.30	16.25	14.45	12.55	10.45	8.50	7.00	5.00	2.35	福岡空港	—	—	—	—	—	—
0.20	16.55	14.25	12.50	10.45	8.40	7.00	5.10	3.00	1.05	—	—	—	—	呉服町	1.10	2.55	4.50	6.30	8.45
0.20	18.30	16.00	14.25	12.20	10.15	8.35	6.45	4.35	2.40	—	—	—	—	1.15	千代県庁口	1.25	3.20	5.00	7.15
0.20	20.15	17.45	16.10	14.05	12.00	10.20	8.30	6.20	4.25	—	—	—	—	3.00	1.25	馬出九大病院前	1.35	3.15	5.30
0.20	22.05	19.35	18.00	15.55	13.50	12.10	10.20	8.10	6.15	—	—	—	—	4.50	3.15	1.30	箱崎宮前	1.20	3.35
0.20	23.45	21.15	19.40	17.35	15.30	13.50	12.00	9.50	7.55	—	—	—	—	6.30	4.55	3.10	1.20	箱崎九大前	1.55
—	25.40	23.10	21.35	19.30	17.25	15.45	13.55	11.45	9.50	—	—	—	—	8.25	6.50	5.05	3.15	1.35	貝塚

← 空港線西行　　← 箱崎線南行

（2） 七隈線

七隈線東行 →

停車時分	橋本	1.28	2.59	4.32	6.05	7.53	9.13	10.42	12.20	14.18	15.49	17.35	19.26	20.45	22.13	24.00
0.20	1.38	次郎丸	1.11	2.44	4.17	6.05	7.25	8.54	10.32	12.30	14.01	15.47	17.38	18.57	20.25	22.12
0.20	3.09	1.11	賀茂	1.13	2.46	4.34	5.54	7.23	9.01	10.59	12.30	14.16	16.07	17.26	18.54	20.41
0.20	4.43	2.45	1.14	野芥	1.13	3.01	4.21	5.50	7.28	9.26	10.57	12.43	14.34	15.53	17.21	19.08
0.20	6.16	4.18	2.47	1.13	梅林	1.28	2.48	4.17	5.55	7.53	9.24	11.10	13.01	14.20	15.48	17.35
0.20	8.02	6.04	4.33	2.59	1.26	福大前	1.00	2.29	4.07	6.05	7.36	9.22	11.13	12.32	14.00	15.47
0.20	9.25	7.27	5.56	4.22	2.49	1.03	七隈	1.09	2.47	4.45	6.16	8.02	9.53	11.12	12.40	14.27
0.20	10.53	8.55	7.24	5.50	4.17	2.31	1.08	金山	1.18	3.16	4.47	6.33	8.24	9.43	11.11	12.58
0.20	12.26	10.28	8.57	7.23	5.50	4.04	2.41	1.13	茶山	1.38	3.09	4.55	6.46	8.05	9.33	11.20
0.20	14.16	12.18	10.47	9.13	7.40	5.54	4.31	3.03	1.30	別府	1.11	2.57	4.48	6.07	7.35	9.22
0.20	15.48	13.50	12.19	10.45	9.12	7.26	6.03	4.35	3.02	1.12	六本松	1.26	3.17	4.36	6.04	7.51
0.20	17.39	15.41	14.10	12.36	11.03	9.17	7.54	6.26	4.53	3.03	1.31	桜坂	1.31	2.50	4.18	6.05
0.20	19.30	17.32	16.01	14.27	12.54	11.08	9.45	8.17	6.44	4.54	3.22	1.31	薬院大通	0.59	2.27	4.14
0.20	20.49	18.51	17.20	15.46	14.13	12.27	11.04	9.36	8.03	6.13	4.41	2.50	0.59	薬院	1.08	2.55
0.20	22.20	20.22	18.51	17.17	15.44	13.58	12.35	11.07	9.34	7.44	6.12	4.21	2.30	1.11	渡辺通	1.27
—	24.05	22.07	20.36	19.02	17.29	15.43	14.20	12.52	11.19	9.29	7.57	6.06	4.15	2.56	1.25	天神南

← 七隈線西行

５．主要駅までの平均所要時分

（1）天神から

駅	筑前前原(筑前深江)	唐　津	西 鉄 香 椎
所要時分	32 分 （44 分）	72 分	24 分

筑前深江　　ＪＲ筑肥線と相互直通運転

唐　　津　　ＪＲ筑肥線と直通運転

西鉄香椎　　西鉄貝塚線と連絡（貝塚乗換え３分）

（2）福岡空港から

駅	筑前前原(筑前深江)	唐　津	香　椎
所要時分	44 分　（56 分）	83 分	22 分

筑前深江　　ＪＲ筑肥線と相互直通運転

唐　　津　　ＪＲ筑肥線と直通運転

香　　椎　　ＪＲ鹿児島本線と連絡（博多乗換え６分）

※　唐津～筑前前原間快速運行（平日ダイヤ）

※　唐津～姪浜間快速運行（土曜・休日ダイヤ）

６．乗車効率、混雑率等

（1）乗車効率及びラッシュ時集中率　　（平成 29 年度）

	空港線･箱崎線	七隈線	全線
乗車効率(終日)	37.4%	38.0%	37.5%
ﾗｯｼｭ時集中率 (8:00～8:59)	16.8%	16.4%	16.7%

（2）混雑率及び集中率(最混雑区間)　　（平成 29 年 10 月現在）

	空港線･箱崎線	七隈線
最混雑区間	大濠公園→赤坂	桜坂→薬院大通
最混雑時間	8:00～8:59	8:00～8:59
最混雑率	140.4%	114.9%
集中率	28.4%	21.5%

※　混雑率算定の車両定員は、標準旅客定員（空港線･箱崎線:810 人、七隈線:382 人（1編成））で算定している。

第７　駅　設　備　等

１．駅設備

（1）空港線・箱崎線

項目			空港							
			○姪浜	室見	藤崎	○西新	唐人町	大濠公園	赤坂	○天神
所在地			西区 姪の浜四丁目 8番1号	早良区 室見一丁目	早良区 百道二丁目	早良区 西新三丁目	中央区 唐人町一丁目	中央区 大手門一丁目	中央区 赤坂一丁目	中央区 天神二丁目
建物構造			高架式	地下３層	地下３層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層
延面積		(㎡)	5,174	7,837	8,142	8,268	6,076	6,448	7,309	10,926
ホーム	形式	(m)	島式	相対式	相対式	島式	島式	相対式	島式	島式
	有効長	(m)	140	135	135	134	134	135	135	134
	最大幅員	(m)	7.98	7.67	6.49	9.77	9.15	6.58	9.80	10.00
深さ		(m)	－	21.8	22.2	14.9	14.6	14.7	15.6	15.1
出入口		(箇所)	3	6	5	8	7	6	6	12
エスカレーター		(箇所)	2	9	7	2	2	4	2	6
エレベーター		(基)	2	3	3	2	2	3	2	1
駅冷房設備			局所	局所	局所	全館	局所	局所	局所	全館
出改札設備	改札口	(箇所)	2(1)	1	1	1	1	1	1	3
	改札機	(台)	11(3)	4	5	9	7	5	9	29
	券売機	マルチ (台)	5(1)	3	3	4	3	3	3	17
		その他 (台)	2(1)	1	1	2	6	1	1	－
	精算機	(台)	2(0)	2	2	2	2	2	2	6
	定期券発行機	(台)	2(0)	－	－	2	－	－	－	2
換気塔		(箇所)	－	2	2	2	2	2	2	3
列車非常停止押しボタン		(箇所)	12	9	9	6	6	9	6	9

（注１）　中洲川端は、Ｂ１がコンコース、Ｂ２が箱崎線ホーム、Ｂ３が空港線ホームとなっている。

（注２）　「延面積」には、出入り口を含まない。

（注３）　「深さ」は、駅中心部の地表からレール面までの深さ。

（注４）　「駅冷房設備」の欄の「全館」とは駅舎全体の冷房であり、「局所」とはホーム階の一部分の冷房である。

（注５）　姪浜駅内出改札設備のうち（　）内数については、ＪＲ九州が管理・運営している。
（設置場所：東側改札口（えきマチ１丁目口））

（注６）　券売機（マルチ）はＩＣカード、ＩＣ定期、普通きっぷ対応。

（注７）　券売機（その他）は普通きっぷのみ対応。

○印駅はお客様サービスセンター設置駅　　（平成 30 年3月末現在）

線					箱崎線					
中洲川端	祇園	○博多	東比恵	福岡空港	呉服町	千代県庁口	馬出九大病院前	箱崎宮前	箱崎九大前	○貝塚
博多区 上川端町	博多区 御供所町	博多区 博多駅中央街	博多区 東比恵二丁目	博多区 大字下臼井	博多区 綱場町	博多区 千代四丁目	東区 馬出二丁目	東区 馬出四丁目	東区 箱崎三丁目	東区 箱崎七丁目 1番1号
地下３層	地下２層	地下３層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層	地下２層	地上２層
13,680	6,986	19,975	5,340	5,964	6,396	6,834	6,943	10,641	6,301	3,407
島式２層	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式
1号線161 2号線143	135	166	135	135	135	135	134	135	135	131
9.00	9.00	10.00	7.10	9.00	9.00	9.00	9.00	10.75	8.96	16.35
21.6	16.2	17.0	14.8	14.8	15.2	15.2	13.7	13.9	14.2	—
7	6	13	7	5	6	8	7	4	4	4
8	2	15	4	11	2	2	2	2	2	1
1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3
全館	局所	全館	局所	全館	局所	局所	局所	局所	局所	局所
2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1
9	7	24	7	8	5	3	5	3	3	8
6	2	19	3	6	2	2	2	2	2	2
3	2	—	—	3	1	2	1	2	1	1
3	2	6	2	3	1	1	1	1	1	2
—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2
2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	—
10	6	9	6	4	4	4	4	4	4	5

（2）七隈線

項目			七隈						
			橋本	次郎丸	賀茂	野芥	梅林	福大前	七隈
所在地			西区 橋本二丁目	早良区 次郎丸一丁目	早良区 賀茂三丁目	早良区 野芥二丁目	城南区 梅林四丁目	城南区 七隈八丁目	城南区 七隈四丁目
建物構造			地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層
延面積		(㎡)	9,140	5,142	5,702	5,542	4,954	5,452	5,210
ホーム	形式	(m)	島対	島式	島式	島式	島式	島式	島式
	有効長	(m)	81	83	89	84	79	85	81
	最大幅員	(m)	8.30	6.50	6.50	6.50	8.30	8.30	8.30
深さ		(m)	12.9	12.3	12.8	12.0	15.7	13.6	14.4
出入口		(箇所)	2	2	2	2	2	2	2
エスカレーター		(箇所)	7	6	6	8	6	6	6
エレベーター		(基)	3	2	2	2	2	2	2
駅冷房設備			全館	局所	局所	局所	局所	局所	局所
出改札設備	改札口	(箇所)	1	1	1	1	1	1	1
	改札機	(台)	4	3	3	3	3	5	3
	券売機	マルチ (台)	3	3	3	3	2	3	2
		その他 (台)	—	—	—	—	—	1	1
	精算機	(台)	2	1	1	1	1	1	1
	定期券発行機	(台)	—	—	—	—	—	2	—
	自動定期券発売機	(台)	1	—	—	1	—	1	—
換気塔		(箇所)	2	3	2	3	2	2	2
列車非常停止押しボタン		(箇所)	10	6	6	6	6	6	6

（注１）　「延面積」には、出入り口を含まない。
（注２）　「深さ」は、駅中心部の地表からレール面までの深さ。
（注３）　「駅冷房設備」の欄の、「全館」とは駅舎全体の冷房であり、「局所」とはホーム階の一部分の冷房である。
（注４）　福大前駅の「定期券発行機」は、多客時のみに使用。
（注５）　券売機(マルチ)はＩＣカード、ＩＣ定期、普通きっぷ対応。
（注６）　券売機(その他)は普通きっぷのみ対応。
（注７）　自動定期券発売機はＩＣカード、ＩＣ定期対応。

○印駅はお客様サービスセンター設置駅　（平成 30 年3月末現在）

線

金山	茶山	○別府	六本松	桜坂	薬院大通	薬院	渡辺通	天神南
城南区 七隈三丁目	城南区 茶山一丁目	城南区 別府二丁目	中央区 六本松四丁目	中央区 桜坂三丁目	中央区 薬院四丁目	中央区 白金一丁目	中央区 渡辺通二丁目	中央区 渡辺通五丁目
地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層
5,748	5,499	6,733	6,527	5,037	4,795	5,422	4,826	10,667
島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式
83	81	87	81	81	83	81	81	105
8.30	8.30	7.50	8.30	7.50	8.30	8.30	8.30	10.00
14.0	13.5	13.5	13.9	13.4	13.8	13.5	13.5	14.1
2	2	3	3	2	2	2	2	6
6	6	6	6	4	6	10	4	8
2	2	2	2	2	3	2	2	2
局所	局所	全館	局所	局所	局所	全館	局所	全館
1	1	1	1	1	1	1	1	2
3	4	4	3	3	4	5	4	11
3	3	3	3	2	3	3	3	6
—	—	1	—	—	—	3	—	3
1	1	1	1	1	1	2	1	3
—	—	2	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	1	—	2
3	2	2	2	2	2	2	2	3
6	7	6	6	6	6	6	6	8

2. バリアフリー対応設備

（1）空港線・箱崎線

① 駅設備

項目			空港							
			姪浜	室見	藤崎	西新	唐人町	大濠公園	赤坂	天神
券売機	点字案内	(台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17
	車椅子用カウンタ	(箇所)	1 (0)	1	1	1	1	1	1	2
	金銭投入口が低い	(台)	7 (2)	4	4	6	11	4	4	17
	音声案内機能付	(台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17
	英語表示機能付	(台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17
改札機	点字案内	(台)	11 (3)	4	5	9	7	5	9	29
	音声案内及び英語表示機能付	(台)	11 (3)	4	5	9	7	5	9	29
音声案内機能付精算機		(台)	2 (0)	2	2	2	2	2	2	6
車椅子用通路		(箇所)	1	1	1	1	1	1	1	3
点字運賃表		(箇所)	1	1	1	1	1	1	1	3
多機能トイレ（オストメイト対応）		(箇所)	2	1	1	2	1	1	1	4
エレベーター		(基)	2	3	3	2	2	3	2	1
自動列車接近放送装置		(台)	1	1	1	1	1	1	1	1
自動列車接近・行先案内表示装置		(箇所)	20	7	7	7	7	7	8	10
ホームドア			全駅							
誘導ブロック										
手すり点字案内板										

（注１）姪浜駅出改札設備のうち（　）内数についてはＪＲ九州の管理（えきマチ１丁目口）
（注２）多機能トイレのうち（　）内数についてはオストメイト対応の多機能トイレ

② 車両設備　　（平成 30 年3月末現在）

整備項目		整備内容
案内装置設置	車内案内装置(視覚)	全編成設置
	自動放送装置(聴覚)	全編成設置
車椅子スペース・握り棒設置		全編成設置
車両間転落防止外ホロ設置		JR筑肥線との相互直通運転のため，全編成設置
車両扉点字案内		全編成設置

（平成 30 年3月末現在）

線					箱崎線					
中洲川端	祇園	博多	東比恵	福岡空港	呉服町	千代県庁口	馬出九大病院前	箱崎宮前	箱崎九大前	貝塚
9	4	19	3	9	3	4	3	4	3	3
2	1	3	1	0	1	1	1	1	1	1
9	4	19	3	9	3	4	3	4	3	3
9	4	19	3	9	3	4	3	4	3	3
9	4	19	3	9	3	4	3	4	3	3
9	7	24	7	8	5	3	5	3	3	8
9	7	24	7	8	5	3	5	3	3	8
3	2	6	2	3	1	1	1	1	1	2
2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1
2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1
3	1	6	1	2	1	1	1	2	1	2
1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
15	7	13	7	10	7	7	7	7	7	8

設置

(2) 七隈線

① 駅設備

項目		七隈						
		橋本	次郎丸	賀茂	野芥	梅林	福大前	七隈
券売機	点字案内 (台)	3	3	3	3	2	4	3
	車椅子用カウンタ (箇所)	3	3	3	3	2	4	3
	金銭投入口が低い (台)	3	3	3	3	2	4	3
	音声案内機能付 (台)	3	3	3	3	2	4	3
	英語表示機能付 (台)	3	3	3	3	2	4	3
改札機	点字案内 (台)	4	3	3	3	3	5	3
	音声案内及び英語表示機能付 (台)	4	3	3	3	3	5	3
音声案内機能付精算機 (台)		2	1	1	1	1	1	1
車椅子用通路 (箇所)		1	1	1	1	1	1	1
点字運賃表 (箇所)		1	1	1	1	1	1	1
多機能トイレ(オストメイト対応) (箇所)		2	2	2	2	2	2	2
エレベーター (基)		3	2	2	2	2	2	2
自動列車接近放送装置 (台)		1	1	1	1	1	1	1
自動列車接近・行先案内表示装置 (箇所)		5	5	5	5	5	5	5
ホームドア		全駅						
誘導ブロック								
手すり点字案内板								

※ 七隈線の券売機、改札機及び精算機は、バリアフリー対応として全駅全数設置。

② 車両設備 (平成30年3月末現在)

整備項目		整備内容
案内装置設置	車内案内装置(視覚)	全編成設置
	自動放送装置(聴覚)	全編成設置
車椅子スペース・握り棒設置		全編成設置
車両間転落防止外ホロ設置		ホームドア設置のため不要
車両扉点字案内		全編成設置

（平成 30 年3月末現在）

線

金　山	茶　山	別　府	六本松	桜　坂	薬院大通	薬　院	渡辺通	天神南
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	4	4	3	3	4	5	4	11
3	4	4	3	3	4	5	4	11
1	1	1	1	1	1	2	1	3
1	1	1	1	1	1	1	1	2
1	1	1	1	1	1	1	1	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	3	2	2	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	5	5	5	5	5	5	5	6

設　　置

３．駐輪場及び駐車場設備

（1）空港線･箱崎線

①　駐輪場（自転車･原動機付自転車）

（平成30年4月1日現在）

	駅	名称	収容台数		使用料金の有無	管理者
駐輪場（設置駅数 十九駅）	姪浜	姪浜駅高架下東	653	3,246	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		姪浜駅高架下西	2,593		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
	室見	室見駅前	719	1,445	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		室見駅南	726		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
	藤崎	藤崎駅第1	150	604	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		藤崎駅第2	454		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
	西新	西新路上	290	2,340	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		西新駅西	200		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
		西新駅南	290		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
		西新駅東	60		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
		西新駅北	484		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
		西新駅中央	1,016		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
	唐人町	唐人町駅	262	466	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		唐人町路上	204		〃	福岡市シルハ゛ー人材センター
	大濠公園	大濠公園駅路上	－	320	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
	赤坂	赤坂駅路上	－	556	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
	天神	天神	1,502	4,416	有料	タウンモービルネットワーク北九州
		天神路上	1,847		〃	タウンモービルネットワーク北九州
		きらめき通り	589		〃	（株）サン・ライフ
		天神中央公園	406		〃	タウンモービルネットワーク北九州
		長浜公園	72		〃	タウンモービルネットワーク北九州
	中洲川端	川端	454	1,839	有料	博多リバレイン管理（株）
		清流公園	619		〃	博多リバレイン管理（株）
		中島公園	352		〃	博多リバレイン管理（株）
		冷泉公園	134		〃	博多リバレイン管理（株）
		中洲川端駅路上	280		〃	博多リバレイン管理（株）
	呉服町	呉服町駅路上	－	191	有料	博多リバレイン管理（株）
	祇園	出来町公園	231	299	有料	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		祇園駅路上	68		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
	博多	博多駅路上	934	3,750	有料	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		音羽公園	310		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		博多駅高架下南	260		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		博多口地下	897		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		明治公園	711		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		中比恵公園	437		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
		人参公園	201		〃	ＪＲ九州レンタカー＆パーキング（株）
	東比恵	東比恵	380	500	無料	博多区自転車対策・生活環境課
		東比恵駅北	120		〃	博多区自転車対策・生活環境課
	福岡空港	福岡空港駅	500	815	有料	福岡市シルハ゛ー人材センター
		福岡空港南	315		無料	博多区自転車対策・生活環境課
	千代県庁口	千代県庁口駅	－	64	無料	東区維持管理課
	馬出九大病院前	馬出九大病院前	－	150	無料	東区維持管理課
	箱崎宮前	箱崎宮前駅北	130	230	無料	東区維持管理課
		箱崎宮前駅南	100		〃	東区維持管理課
	箱崎九大前	箱崎九大前駅	－	470	無料	東区維持管理課
	貝塚	貝塚駅東	400	800	無料	東区維持管理課
		貝塚駅西	350		〃	東区維持管理課
		貝塚駅前	50		〃	東区維持管理課
	空港線，箱崎線　計（48ヶ所）		22,501		－	

※　市の管理によるもの以外は、指定管理者による管理。

② 駐車場

（平成30年4月1日現在）

	駅	名称	収容台数	敷地面積㎡	使用料金の有無	管理者
駐車場	姪浜	姪浜駅乗継駐車場	108	2,802	有料	九州旅客鉄道（株）
		姪浜第1パーキング	7	136	〃	日本パーキング（株）
		姪浜第2パーキング	22	630	〃	日本パーキング（株）
		姪浜第3パーキング	55	986	〃	JR九州ﾚﾝﾀｶｰ&ﾊﾟｰｷﾝｸﾞ㈱
		計	192	4,554	－	－
	箱崎九大前	箱崎九大前駅乗継駐車場	139	3,200	有料	福岡市交通事業振興会
		東区箱崎2丁目パーキング	13	273	〃	日本パーキング（株）
		計	152	3,473	－	－
	空港線，箱崎線 計（6ヶ所）		344	8,027	－	

（2）七隈線

① 駐輪場（自転車・原動機付自転車）

（平成30年4月1日現在）

	駅	名称	収容台数		使用料金の有無	管理者
駐輪場（設置駅数 十六駅）	橋本	橋本駅	771	881	無料	西区管理調整課
		橋本駅南	110		無料	西区管理調整課
	次郎丸	次郎丸駅	188	218	有料	福岡市シルバー人材センター
		次郎丸駅路上	30		〃	福岡市シルバー人材センター
	賀茂	賀茂駅南	241	403	有料	福岡市シルバー人材センター
		賀茂駅北	162		〃	福岡市シルバー人材センター
	野芥	野芥駅	128	490	有料	福岡市シルバー人材センター
		野芥駅路上	362		〃	福岡市シルバー人材センター
	梅林	梅林駅	－	131	有料	福岡市シルバー人材センター
	福大前	福大前駅	－	222	有料	福岡市シルバー人材センター
	七隈	七隈駅	116	199	有料	福岡市シルバー人材センター
		七隈駅路上	83		〃	福岡市シルバー人材センター
	金山	金山駅	－	385	有料	福岡市シルバー人材センター
	茶山	茶山駅東	134	305	有料	福岡市シルバー人材センター
		茶山駅西	171		〃	福岡市シルバー人材センター
	別府	別府駅	－	440	有料	福岡市シルバー人材センター
	六本松	六本松駅	108	175	有料	福岡市シルバー人材センター
		六本松駅路上	67		〃	福岡市シルバー人材センター
	桜坂	桜坂駅	－	114	有料	福岡市シルバー人材センター
	薬院大通	薬院大通駅	－	204	有料	福岡市シルバー人材センター
	薬院	薬院駅南	246	446	有料	福岡市シルバー人材センター
		薬院駅北	200		〃	福岡市シルバー人材センター
	渡辺通	渡辺通駅路上	－	450	有料	福岡市シルバー人材センター
	天神南	天神南駅	－	68	有料	タウンモービルネットワーク北九州
	七隈線 計（24ヶ所）		5,131		－	－

※ 市の管理によるもの以外は、指定管理者による管理。

② 駐車場

（平成30年4月1日現在）

	駅	名称	収容台数	敷地面積㎡	使用料金の有無	管理者
駐車場	橋本	橋本駅第1パーキング	112	2,651	有料	日本パーキング（株）
	薬院大通	エフ・パーク薬院大通り	8	275	有料	㈱エフ・パーキング・システムズ
	七隈線 計（2ヶ所）		120	2,926	－	

（3）全線

（平成30年4月1日現在）

区分	収容台数
駐輪場（72ヶ所）	27,632
駐車場（8ヶ所）	464

第８　線路設備及び土木構造物

１．線路設備

項目＼線路名	空港線	箱崎線	七隈線	合　計
営業キロ	13.1キロ	4.7キロ	12.0キロ	29.8キロ
起　終　点	姪浜～福岡空港	中洲川端～貝塚	橋本～天神南	
駅　　数	13駅	7駅（中洲川端含む）	16駅	35駅
軌道保守延長（単線m）	27K829M うち交差渡り線 870m	11K538M うち交差渡り線 287m	25K375M うち交差渡り線 377m	64K742M うち交差渡り線 1,534m
軌　　間	1,067mm	1,067mm	1,435mm	
カント（最大）	105mm	100mm	150mm	
スラック（最大）	20mm	20mm	10mm	
最小曲線半径	177.349m	176.848m	100.000m	
曲線比率	R<250 9.3% 250≦R<600 18.8% R＞600 24.7% 全曲線 52.8%	R<250 7.7% 250≦R<600 9.3% R＞600 35.8% 全曲線 52.8%	R<250 11.6% 250≦R<600 13.2% R＞600 22.8% 全曲線 47.6%	R<250m 9.9% 250≦R<600 14.9% R＞600 25.9% 全曲線 50.7%
最急勾配	30‰	30‰	40‰	
勾配比率	i=0 6.9% 0<i≦10 51.4% 10<i≦25 26.6% i>25 15.1%	i=0 3.3% 0<i≦10 63.4% 10<i≦25 25.6% i>25 7.7%	i=0 0.0% 0<i≦10 62.0% 10<i≦25 22.2% i>25 15.8%	i=0 3.6% 0≦i<10 57.7% 10≦i<25 24.7% i>25 14.0%
最長のﾛﾝｸﾞﾚｰﾙ	2,582m	970m	6,337m	－
ﾛﾝｸﾞﾚｰﾙの比率（200m以上／本）	81.2%	80.8%	96.4%	87.1%
レ　ー　ル	50kgN	50kgN	50kgN	50kgN

	項目＼線路名	空港線					箱崎線					七隈線					合　計				
マクラギ	種　別	PC	RC	合成	木	ｽﾗﾌﾞ	PC	RC	合成	木	ｽﾗﾌﾞ	PC	RC	合成	木	ｽﾗﾌﾞ	PC	RC	合成	木	ｽﾗﾌﾞ
	延　長（ｍ）	2,542	21,889	0	1,371	2,077	3,989	6,270	78	1,251		24,855	0	520	0		31,328	28,159	598	2,680	2,077
	本　数（丁）	4,642	39,799	0	1,747		7,254	11,399	112	1,519		40,049	0	850	0		51,819	51,198	962	3,392	
	比　率	9.1%	78.5%	0.0%	4.9%	7.5%	34.4%	54.1%	0.1%	11.4%		98.0%	0.0%	2.0%	0.0%		48.3%	43.4%	0.9%	4.2%	3.2%
道床	種別	ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｽﾗﾌﾞ含む）		砕　石			ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｽﾗﾌﾞ含む）		砕　石			ｺﾝｸﾘｰﾄ		砕　石			ｺﾝｸﾘｰﾄ（ｽﾗﾌﾞ含む）		砕　石		
	延　長（ｍ）	27,472m		407m			10,366m		1,222m			25,365m		10m			63,203m		1,639m		
	比　率	98.5%		1.5%			89.5%		10.5%			99.96%		0.04%			97.5%		2.5%		

２．土木構造物

項目＼線路名		空港線		箱崎線		七隈線		合　計	
建設キロ		14.9キロ		5.2キロ		12.7キロ		32.8キロ	
土木構造種別 複線m	函　型（複線型）	8,325m	(55.9%)	4,652m	(88.9%)	7,029m	(55.2%)	20,006m	(60.9%)
	山　岳トンネル	1,788m	(12.0%)			2,804m	(22.0%)	4,592m	(14.0%)
	シールド	2,461m	(16.5%)			2,898m	(22.8%)	5,359m	(16.3%)
	U　型	120m	(0.8%)	240m	(4.6%)			360m	(1.1%)
	橋梁・高架	1,661m	(11.2%)					1,661m	(5.1%)
	地　上	533m	(3.6%)	339m	(6.5%)			872m	(2.6%)
	合　計	14,888m	(100.0%)	5,231m	(100.0%)	12,731m	(100.0%)	32,850m	(100.0%)

第９　車両及び車両基地

１．車両

（1）車両諸元

①　1000N系（第01編成～第18編成）

形式	1500N	1000N	1100N	1000N	1100N	1500N
車種	Tc	M1	M'1	M2	M'2	T'c
定員(座席定員)（人）	135 (45)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	135 (45)
自重（ｔ）	34	※37.5／36.7	40.5	※37.5／36.7	40.5	34
最大長さ（mm）	20,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
車体長さ（mm）	20,000	19,500	19,500	19,500	19,500	20,000
最大幅（mm）	2,860					
車体幅（mm）	2,840					
最大高さ（mm）	4,090	4,090	4,135	4,090	4,135	4,090
屋根高さ（mm）	3,650					
床面高さ（mm）	1,150					
１両当り片側ドア数	4					
車体構造	ステンレス、溶接組立構造					
台車構造	空気ばね車体直結式　　円筒案内式軸箱支持					
駆動方式	中実軸平行カルダン方式、歯車継手、歯車比　15:84＝5.6					
軌間（mm）	1,067					
電気方式	直流　1,500V　架空単線式					
最高速度（km／h）	90					
加速度（km/h/ｓ）	3.3（最大）					
減速度（km/h/ｓ）	3.5（常用）　4.0（非常）					
主電動機容量	－	150kW×4	150kW×4	150kW×4	150kW×4	－
主電動機	自己通風式三相かご形誘導電動機					
制御装置	－	VVVFインバータ制御（1C4M×2群×2ユニット）				－
ブレーキ方式	回生ブレーキ併用電気演算形電気指令式直通ブレーキ（遅れ込め制御）、保安ブレーキ					
基礎ブレーキ装置	ディスクブレーキ	車輪踏面片押ブレーキ				ディスクブレーキ
空気圧縮機	－	－	2,230ℓ/min	－	2,230ℓ/min	－
	三相誘導電動機駆動水平対向単動往復式二段圧縮					
補助電源装置容量	－	－	210kVA	－	210kVA	－
	ブラシレス三相同期機、負荷転流形三相ブリッジインバータ					
保安装置	ATC, ATO, IR, ATS－SK, EB					
通信装置	誘導無線式同時送受話方式発報信号付					
冷房装置	低騒音分散自動温調扇風機付　　12.8kW(11,000kcal/h)×4/両					
運転方式	自動運転（ATO）					
保有車両数	108両					
１次車の営業開始年	1981年（昭和56年）					

※　M1、M2の自重は第01～08編成が37.5t、第09～18編成が36.7t。

※　定員は、表記旅客定員で 854人。

② 2000系（第19編成～第24編成）

形式	2500	2000	2100	2000	2100	2500
車種	Tc	M1	M'1	M2	M'2	T'c
定員(座席定員)（人）	135 (45)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	135 (45)
自重（t）	29.0	34.5	35.0	34.5	35.0	29.0
最大長さ（mm）	20,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
車体長さ（mm）	20,000	19,500	19,500	19,500	19,500	20,000
最大幅（mm）	2,860					
車体幅（mm）	2,840					
最大高さ（mm）	4,090	4,090	4,135	4,090	4,135	4,090
屋根高さ（mm）	3,650					
床面高さ（mm）	1,130					
1両当り片側ドア数	4					
車体構造	オールステンレス					
台車構造	ボルスタレス空気ばね車体支持、片板ばね式軸箱支持					
駆動方式	中実軸平行カルダン方式、歯車継手、歯車比 15:98＝6.53					
軌間（mm）	1,067					
電気方式	直流 1,500V 架空単線式					
最高速度（km／h）	110					
加速度（km/h/s）	3.5（最大）					
減速度（km/h/s）	3.5（常用） 4.0（非常）					
主電動機容量	－	150kW×4	150kW×4	150kW×4	150kW×4	－
主電動機	自己通風式三相かご形誘導電動機					
制御装置	－	VVVFインバータ制御（1C8M×2ユニット）※				－
ブレーキ方式	回生ブレーキ併用電気演算形電気指令式直通ブレーキ（遅れ込め制御）、保安ブレーキ					
基礎ブレーキ装置	片押式ユニットブレーキ（自動すきま調節機能、増粘着機能付）					
空気圧縮機	－	－	2,463ℓ/min	－	2,463ℓ/min	－
	三相誘導電動機駆動直列3気筒単動往復式二段圧縮					
補助電源装置容量	－	－	140kVA	－	140kVA	－
方式・形式	静止形インバータ、昇降圧チョッパー方式（DC-DCコンバータ 3相GTOインバータ）					
保安装置	ATC, ATO, IR, ATS－SK, EB, ﾃﾞｯﾄﾞﾏﾝ					
通信装置	誘導無線式同時送受話方式発報信号付					
冷房装置	除湿機能付マイコン制御インバータ方式 16.3kW(14,000kcal/h)×3/両					
車両監視情報装置	伝送速度：2.5Mbps(車両間), 9.6～38.4kbps(車両内) 伝送制御方式：ポーリング・セレクティング方式 表示方式：カラーLCD(タッチパネル式) 記録装置：非接触ICカード(故障表示・運転台操作履歴・試運転記録) CFカード(運転状況記録)					
運転方式	自動運転（ATO）					
保有車両数	36両					
1次車の営業開始年	1992年（平成4年）					

※ 第24編成は1C4M×2群×2ユニット。
※ 定員は、表記旅客定員で 854人。

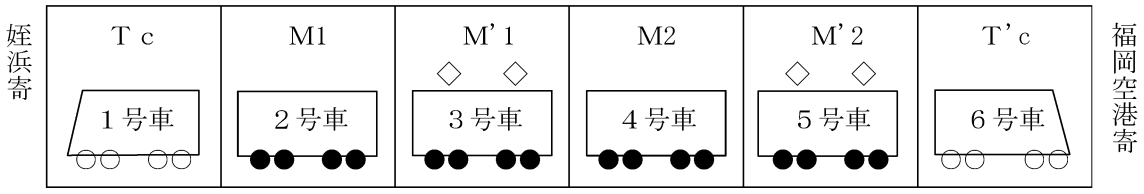
③ 3000系（第01編成～第17編成）

形式	3100	3200	3500	3600
車種	M1c	M1	M3	M3c
定員(座席定員)（人）	89 (34)	100 (39)	100 (38)	89 (34)
自重（t）	26.9	25.5	25.5	26.9
最大長さ（mm）	16,750	16,500	16,500	16,750
車体長さ（mm）	16,250	16,000	16,000	16,250
車体幅（mm）	2,490			
最大高さ（mm）	3,145	3,145	3,145	3,145
屋根高さ（mm）	3,145			
床面高さ（mm）	830			
1両当り片側ドア数	3			
車体構造	アルミダブルスキン			
台車構造	リニアモータ駆動自己操舵空気ばね式			
軌間（mm）	1,435			
電気方式	直流　1,500V　架空単線式			
最高速度（km／h）	70			
加速度（km/h/s）	3.2（平均）			
減速度（km/h/s）	4.0（常用）　4.5（非常）			
主電動機容量	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2
主電動機	車上1次片側式リニアインダクションモータ			
制御装置	VVVFインバータ制御（1C2M×2群×2ユニット）			
ブレーキ方式	電空併用電気指令式電磁直通空気ブレーキ（応荷重付）			
基礎ブレーキ装置	ディスクブレーキ			
空気圧縮機	2,442ℓ/min	－	－	2,442ℓ/min
	三相誘導電動機駆動直列3気筒単動往復式二段圧縮			
補助電源装置容量	120kVA	－	－	120kVA
方式・形式	静止形インバータ、各相個別瞬時波形制御方式			
保安装置	ATC, ATO, SR, ﾃﾞｯﾄﾞﾏﾝ			
通信装置	空間波無線方式			
冷房装置	天井セミ集中式　14.5kW(12,500kcal/h)×2/両			
車両情報制御装置	伝送速度：3.2Mbps(車両間), 9.6～38.4kbps(車両内) 伝送制御方式：サイクリック(車両間), ポーリング・セレクティング方式(車両内) 表示方式：カラーLCD(タッチパネル式) 記録装置：非接触ICカード(故障表示・運転台操作履歴・試運転記録)			
運転方式	自動運転（ATO:自動閉扉・自動出発）			
保有車両数	68両			
1次車の営業開始年	2005年（平成17年）			

※　定員は、表記旅客定員で 378人。

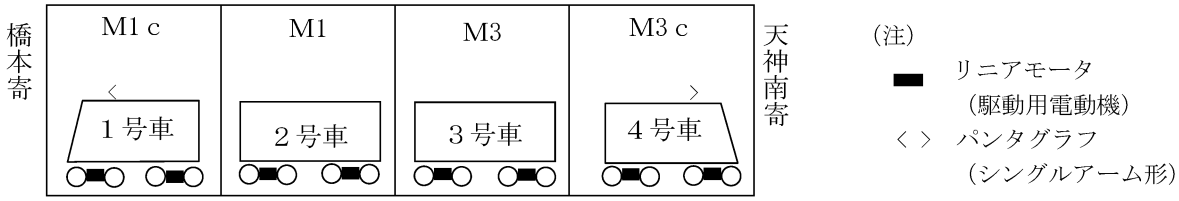
（２） 列車編成図

① 1000N系及び2000系



（注） ● 動軸（駆動用電動機（MM）付き）○ 従軸（MMなし） ◇ パンタグラフ（下枠交叉形）

② 3000系



２．車両基地

名　　称	福岡市交通局姪浜車両基地	福岡市交通局橋本車両基地
所　在　地	福岡市西区下山門四丁目1番1号	福岡市西区橋本二丁目34番1号
全敷地面積	71,500㎡	79,000㎡
建築延床面積	27,200㎡	25,800㎡
	管理棟 4,500㎡ 工場棟 11,500㎡ 検車庫 6,100㎡ 教材室 400㎡ その他 4,700㎡	管理棟 5,900㎡ 工場棟 17,700㎡ その他 2,200㎡

３．検修作業の概要

種　　別	車両検査編成数		説　　明
	姪浜車両工場	橋本車両工場	
列車検査	4～5編成/日 (24～30両/日)	3～4編成/日 (12～16両/日)	10日を超えない期間ごとに車両の主要部分について行う検査。
３月検査	7～8編成/月 (42～48両/月)	6～7編成/月 (24～28両/月)	3月を超えない期間ごとに、車両の状態及び機能について行う検査。
重要部検査及び全般検査	6編成/年 (36両/年)	4～5編成/年 (16～20両/年)	(重要部検査) 4年を超えない期間ごとに、車両の動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置、その他の重要な装置の主要部分について行う検査。
			(全般検査) 8年を超えない期間ごとに、車両の主要部分を取りはずして、全般について行う検査。
臨時検査	－	－	車両を製作又は購入したとき、使用を休止した後使用を開始するとき、衝突脱線、その他の重大な事故が生じたとき、重要な改造又は修繕をしたとき、その他必要があるときに行う検査。

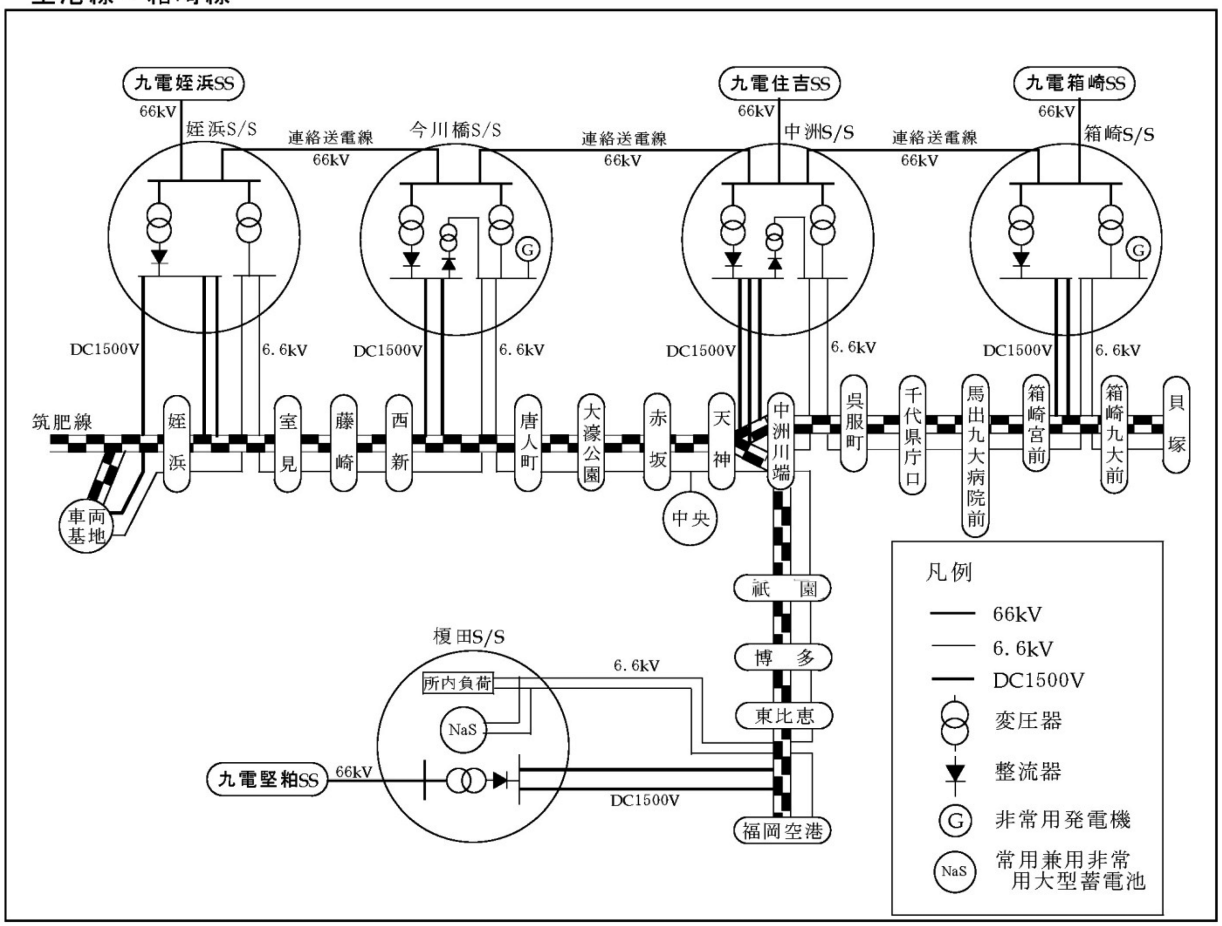
第10　電　気　設　備

1．電力設備一覧表

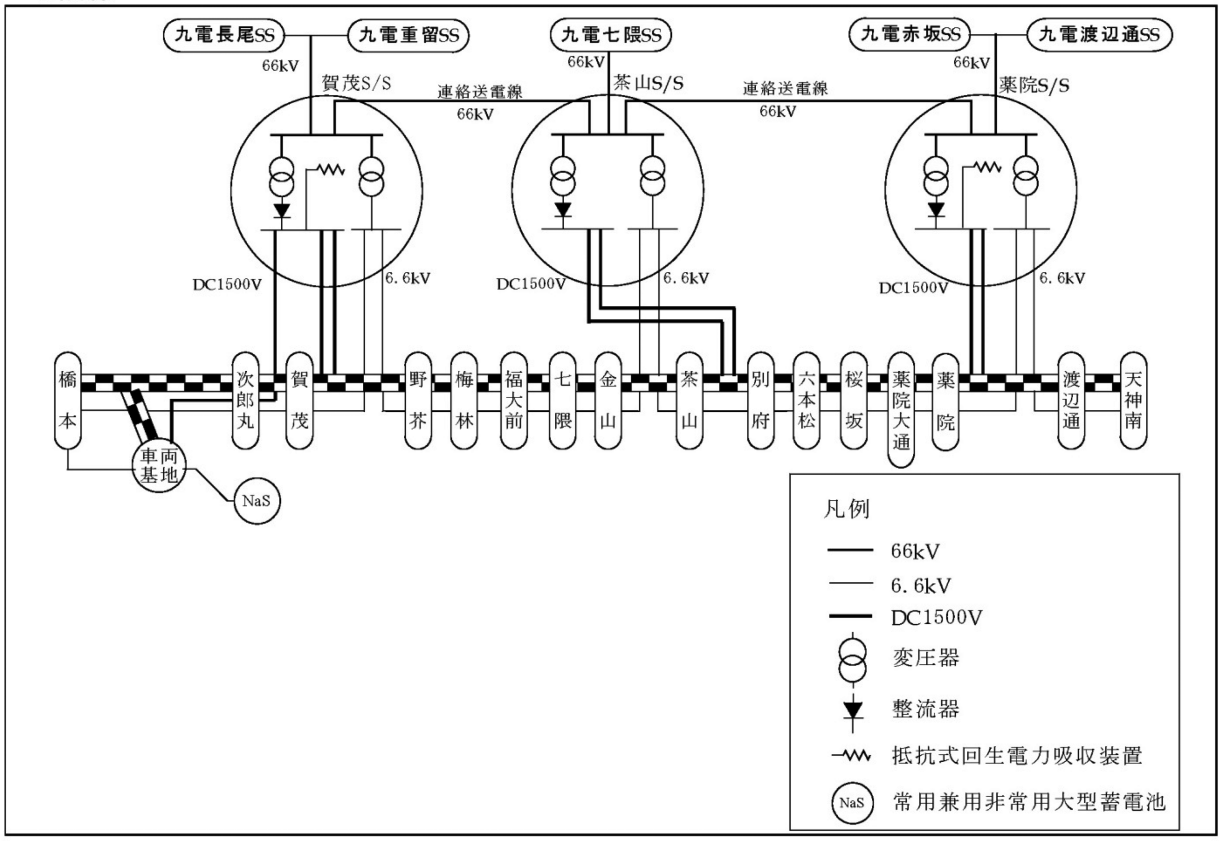
設備項目			単位	数量 空港線 箱崎線	数量 七隈線
送電	連絡送電線及び受電線	送電線	km	10.8 (66kV CV-T150㎟)	9.4 (66kV EM-CET150㎟)
		受電線		1.6 (66kV CV-T150㎟)	－
変電	電力指令室		箇所	1	
	変電所		箇所	5	3
	シリコン整流器	4,000 kW	台	10	－
		3,000 kW	台	2	6
	回生電力吸収装置	2,000 kW (サイリスタインバータ方式)	台	1	－
		500 kW (サイリスタインバータ方式)		1	－
		250 kW (抵抗方式)		－	2
	付帯用変圧器	5,000 kVA	台	－	1
		4,500 kVA	台	8	－
		4,000 kVA	台	－	2
	非常用電源装置	非常用発電機	台 kVA	2 2,250	－
		常用兼用非常用大型蓄電池	台 kW	1 1,200	2 2,400
電路	電気室	室数 変圧器	室 台	27 128	18 76
	高圧配電線		km	21.5×2 (6.6kV CV-T200㎟・150㎟・60㎟)	14.0×2 (6.6kV EM-CET200㎟)
	電車線	剛体式	km	36.9	27.0
		シンプルカテナリ式	km	17.0	8.6

受配電系統図

空港線・箱崎線



七隈線



２．信号設備一覧表

（平成30年３月末現在）

設備項目	線別	設備内容	単位	数量	記事
継電連動機	空港線・箱崎線	第１種電気継電	組	10	
	七隈線			3	
電子連動機	七隈線	第１種電子	組	1	橋本車両基地
電気転てつ機	空港線・箱崎線	ＮＳ型（ロック狂付）	台	69	本線及び姪浜車両基地
		耐水型（ロック狂付）		3	博多駅の一部
		うす型（ロック狂無）		4	福岡空港駅
	七隈線	ＮＳ型（ロック狂無）		34	橋本車両基地
		耐水型（ロック狂無）		19	橋本，茶山，天神南
自動列車制御装置（ＡＴＣ）	空港線・箱崎線	搬送波 17, 18 20, 21 kHz 制御情報 75, 65, 55, 45, 25 15, 01, S, X, D	式	8	無絶縁軌道回路 108 有絶縁軌道回路 155
	七隈線	搬送波 主 11.3kHz（予告時10.6kHz）副 9.2kHz 制御情報 70, 65, 60, 55, 50 45, 40, 35, 30, 25, 20, 15, 01, S35, S25 SP35, SP25, X		4	無絶縁軌道回路 131 有絶縁軌道回路 103
列車集中制御装置（ＣＴＣ）	空港線・箱崎線	1:N	駅	7	
	七隈線			3	
自動列車運転装置（ＡＴＯ）	空港線・箱崎線	地上子	個	332	
	七隈線			164	
ホームドア制御用情報伝送装置（ＤＣＵ）	空港線・箱崎線	有電源地上子	ホーム	42	
	七隈線	ＡＴＯ Ｐ0地上子による		33	

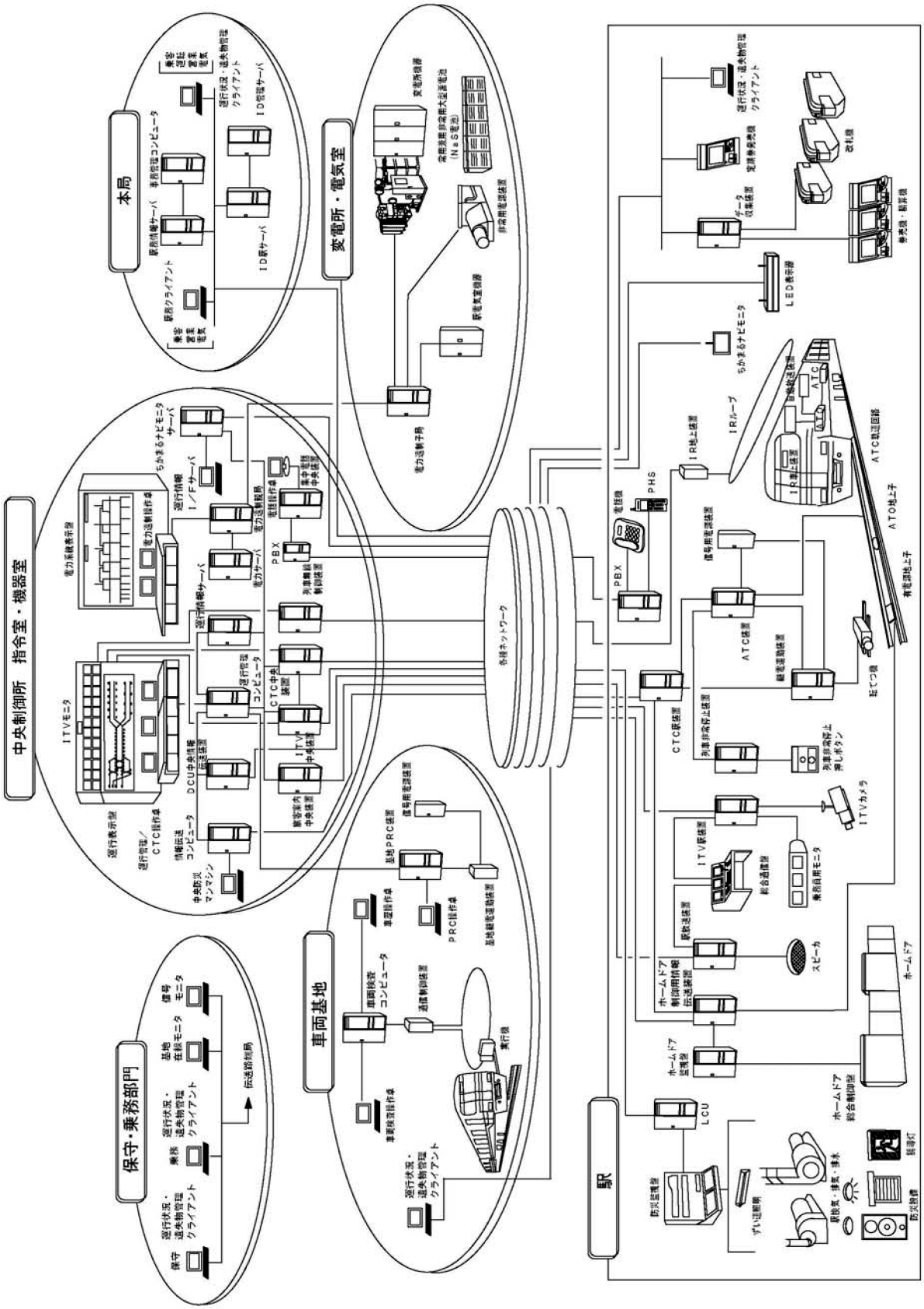
３．通信設備一覧表

（平成30年３月末現在）

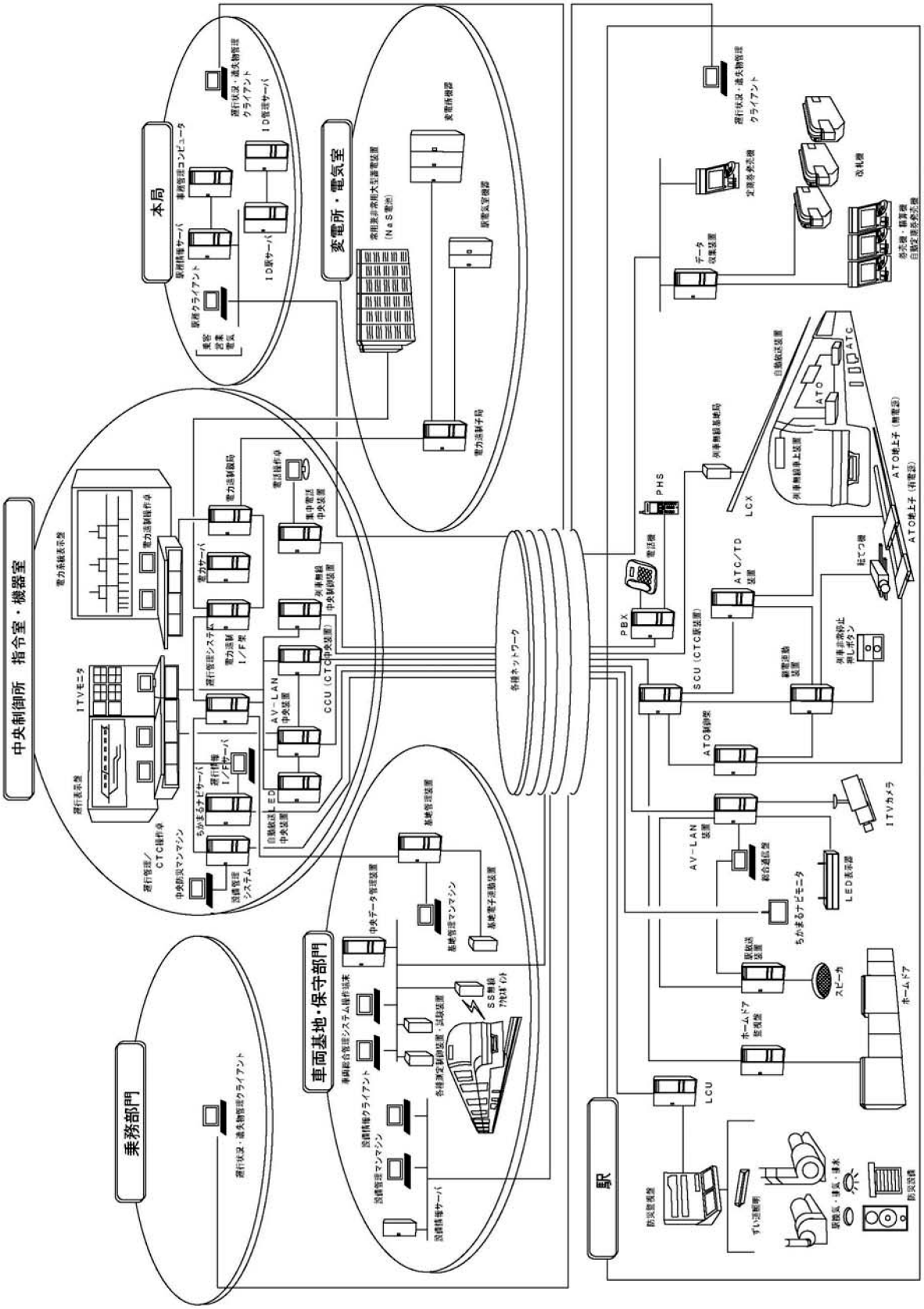
設備項目	線別	設備内容	単位	数量	記事
電話機	空港線・箱崎線	指令	台	57	
		業務用・沿線		584	
	七隈線	指令		48	
		業務用・沿線		524	
列車無線	誘導無線式（空港・箱崎線）	音声 2ch 発報 1ch	局	8	
		データ 2ch		22	
	空間波無線式（七隈線）	通話 2ch 非常 1ch データ 2ch 保守 1ch		6	
ＩＴＶ	空港線・箱崎線	モニタ	台	237	
		カメラ		639	
	七隈線	モニタ		26	
		カメラ		342	

４．トータルシステム図

（1）空港線･箱崎線



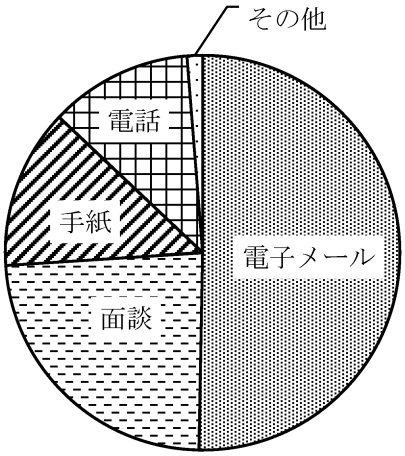
（2）七隈線


中央制御所　指令室・機器室
本局
変電所・電気室
乗務部門
車両基地・保守部門
駅
各種ネットワーク
運行管理システム
ITVモニタ
運行表示盤
電力表示盤
電力サーバ
電力遠制局
電力遠制子局
変電所遠制装置
変電所機器
変電室機器
ID駅サーバ
ID管理サーバ
駅務情報サーバ
事務管理コンピュータ
駅務クライアント
運行状況・遅延物管理クライアント
AV-LAN中央装置
CCU（CTC中央装置）
自動放送中央装置
ちかまるナビサーバ
運行情報I/Fサーバ
運行管理システム
中央防災マンマシン
運行管理/CTC操作卓
電力遠制操作卓
電話操作卓
車中電話中央装置
列車無線中央制御装置
基地管理装置
基地管理マンマシン
基地電子連動装置
中央データ管理装置
車両総合管理システム操作端末
車両総合管理クライアント
設備管理マンマシン
設備情報サーバ
設備情報クライアント
各種測定制御装置・試験装置
SS無線
PBX
電話機
PHS
列車無線基地局
LCX
ATC/TD装置
SCU（CTC駅装置）
ATO制御装置
AV-LAN装置
総合通信盤
ちかまるナビモニタ
LED表示器
ITVカメラ
駅放送装置
スピーカ
ホームドア整備盤
ホームドア
LCU
防災整備盤
防災設備
駅員・来客・来訪
すい没断層
データ収集装置
定期券発売機
改札機
券売機・精算機
自動定期券発売機
自動放送装置
ATC
ATO
列車無線車上装置
ATO地上子（物電設）
ATO地上子（有電設）
転てつ機
列車非常停止押しボタン
緊急連動装置

第11　お客様の声

１．収受方法別実績　（平成 29 年度）

受付方法	件数	割合
電子メール	516	50.3%
面談	243	23.7%
文書・手紙	134	13.1%
電話	120	11.7%
その他	13	1.3%
計	1026	100.0%



２．内容別実績　（平成 29 年度）　※１回のご意見で複数の内容の場合あり

内容	件数	割合	主な内容
乗客案内	224	19.3%	駅名標等の案内表示、案内放送、ホームページなど
駅施設等	203	17.5%	駅務機器、エレベーター・エスカレーター、トイレなど
車両	141	12.1%	車両の設備、空調など
乗車マナー	134	11.5%	携帯電話の使用、優先席占有など
運賃・乗車券等	133	11.5%	IC乗車券、販売制度、運賃など
職員等の応対	130	11.2%	職員・委託職員の応対など
運転・ダイヤ	86	7.4%	ダイヤの改善、安全対策、運転技術など
将来計画	34	2.9%	延伸計画・将来構想など
乗換え・駅周辺整備	4	0.3%	地下鉄乗換え、他交通との結節、駅周辺設備など
乗車人員	1	0.1%	乗車人員について
その他	71	6.2%	―
計	1161	100.0%	

３．お客様の声を反映した乗客サービス向上のための主な取組（過去５年間）

平成 25．7 月　車内床面に「車いす、ﾍﾞﾋﾞｰｶｰ等の優先スペース」を表示
平成 26．7 月　車内優先席数の拡大・優先席ステッカーの表示、低い吊り革の導入
平成 26．9 月　平成 24 年度からエスカレーターの安全利用を呼びかける床面等表示を開始、平成 26 年度に空港線・箱崎線の全駅への設置を完了
平成 26．9 月　駅構内や電車内に「歩きスマホ禁止」のポスターを掲示し、マナーの向上を呼びかけ
平成 27．10 月　「混雑時の手荷物の持ち方」についてポスターやチラシで、マナーの向上を呼びかけ
平成 27．12 月　７人掛け促進のため、2000 系車両の座席を一人ひとりに凹凸を付けたバケット型に改良
平成 28．10 月　アクティブシニア支援のため、65 才以上を対象とした全線定期券「ちかパス 65」を発売
平成 29．3 月　「リュックサックの持ち方」について車内放送で、マナーの向上を呼びかけ
平成 29．11 月　ホームドアに優先席や弱冷房車の位置案内ステッカーを設置
平成 30．2 月　外国人向けマナーポスターを掲示し、マナーの向上を呼びかけ
平成 30．4 月　「ちかパス 65」の 3 か月・6 か月定期を発売

第12　経　　緯

年 月 日	概　　要
昭和44(1969)	
2. 3	運輸大臣が、「都市交通審議会」に諮問(第8号)
2. 6	「都市交通審議会」内に、北部九州部会を設置
昭和46(1971)	
3.11	「都市交通審議会」は、運輸大臣に答申(第12号)
7.11	福岡市議会に、「都市交通対策特別委員会」を設置
10.28	「福岡都市圏交通対策協議会」を設置
昭和47(1972)	
2.22	「都市交通対策特別委員会」の中間報告
	(1. 計画路線　2. 機種　3. 開業時期等)
昭和48(1973)	
2.21	「都市交通対策特別委員会」で決定
	(1. 経営建設主体　2. 緊急に建設すべき路線)
12.22	福岡市議会において、福岡市が高速鉄道を建設し、経営する決議を得る
	(1号線　姪浜～博多間　9.8km、2号線　中洲川端～貝塚間　4.7km)
昭和49(1974)	
2. 1	運輸大臣に地方鉄道事業免許を申請(昭和49. 8.22　免許)
	(1号線　姪浜～博多間　9.8km、2号線　中洲川端～貝塚間　4.7km)
2.20	「福岡都市圏交通対策協議会」で決定
	(1.路線　2.緊急整備区間　3.方式　4.経営(建設)主体　5.交通対策)
昭和50(1975)	
1.14	建設大臣に道路への敷設許可申請(50. 6.25　許可)
	(1号線　室見～博多間、2号線　中洲川端～箱崎九大前間)
3.28	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請(50.10.23　認可)
	(土木関係　1号線　室見～祇園間、2号線　中洲川端～呉服町間)
4. 3	1号線(姪浜～博多間)、2号線(中洲川端～貝塚間)都市計画決定
7. 2	建設大臣に工事施行認可申請(50.10. 8　認可)
	(1号線　室見～祇園間、2号線　中洲川端～呉服町間)
8.11	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請(51. 4.19　認可)
	(電気関係)
11. 2	西鉄路面電車福岡市内線(貫線、呉服町線、城南線)廃止
11.12	高速鉄道起工式
昭和51(1976)	
3.31	筑肥線と1号線との「列車の相互直通運転に関する基本協定」を国鉄と締結
昭和52(1977)	
2.21	運輸大臣に工事施行認可申請(53. 5.26　認可)
	(1号線　姪浜～室見間、祇園～博多間、2号線　呉服町～貝塚間)

年 月 日	概　　要
昭和52(1977)	
6.21	建設大臣に工事施行認可申請(53. 2. 9　認可)
	(1号線　祇園～博多間、2号線　呉服町～箱崎九大前間)
昭和53(1978)	
2.20	都市交通対策特別委員会に事業費変更(2,717億円に)を報告
5.17	建設大臣に道路への敷設許可申請(53.11.22　許可)
	(2号線　千代県庁口～馬出九大病院前間、当初許可後に道路区域決定のため)
7.26	中央区役所・高速鉄道建設局合同庁舎起工式
12.27	建設大臣に工事施行認可申請(54. 6.29　認可)
	(2号線　千代県庁口～馬出九大病院前間)
昭和54(1979)	
1.20	都市交通対策特別委員会に事業費変更(2,935億円に)報告
2.11	西鉄路面電車福岡市内線(循環線、貝塚線)廃止
2.20	藤崎トンネル(飛石工区・室見～藤崎間　611m)貫通式
4.23	室見トンネル(愛宕下工区・愛宕下～室見間　537m)貫通式
10. 1	1号線(姪浜～博多)駅名決定
10.29	那珂川工区隧道貫通式
昭和55(1980)	
2.26	
～2.28	車両第1編成(6両)を車両基地に搬入
3.29	姪浜変電所通電開始式
4.26	トンネル銘板「地下鉄隧道」除幕式、室見～天神間軌道締結式
6. 3	中央区役所・高速鉄道建設局合同庁舎竣工式
7. 7	中央制御所火入式
7.15	第1編成車両トンネル内に入線
7.19	室見～天神間試運転開始式
昭和56(1981)	
5.19	建設大臣に室見～天神間運輸開始承認申請(56. 6.26　承認)
5.26	運輸大臣及び福岡陸運局長に地方鉄道業の旅客運賃及び運輸に関する料金制定認可申請(56. 7. 3　認可)
6. 9	陸運局長に室見～天神間運輸開始認可申請(56. 7.16　認可)
6.22	西大橋復元開通式
7.26	1号線(室見～天神)開業
10.27	試運転開始(室見～呉服町間)
12. 2	1人乗務(ワンマン)運転の試行(～12.25)
	(1日4往復、空車列車)
昭和57(1982)	
2.13	都市交通対策特別委員会に事業費の変更(3,428億円に)を報告
3. 2	2号線(呉服町)駅名決定

年 月 日	概　　要
昭和57(1982)	
3.15	1人乗務(ワンマン)運転の試行(～4.14) (1日4往復、営業列車)
4.20	1号線(天神～中洲川端)、2号線(中洲川端～呉服町)開業
5.15	1人乗務(ワンマン)運転の試行(～6.14) (全営業列車)
8. 1	1000系車両「ローレル賞」受賞
8.31	中洲川端～博多(仮)間試運転開始
10.20	車両基地～室見間試運転開始
昭和58(1983)	
3.22	1号線(姪浜～室見、中洲川端～博多(仮))開業、国鉄筑肥線と相互直通 運転開始(相互直通区間　筑前前原～博多)
4.15	1人乗務(ワンマン)運転の試行(～6.14) (国鉄列車を除く全営業列車)
9.12	2号線(呉服町を除く)駅名決定
12.22	呉服町～馬出九大病院前間試運転開始
昭和59(1984)	
1.20	1人乗務(ワンマン)運転の実施 (国鉄列車を除く全営業列車)
2.20	第3委員会に建設工程の変更(貝塚までの開業時期の延長)及び事業費変更 (3,604億円)を報告
4.27	2号線(呉服町～馬出九大病院前)開業
5.15	建設大臣に道路への敷設許可申請(60. 1.24　許可) (1号線　姪浜～室見間、当初許可後に道路区域決定のため)
8.23	トンネル銘板「十方無礙(ジッポウムゲ)」除幕式
昭和60(1985)	
2.28	「都市交通対策特別委員会」は1号線博多～福岡空港間のルートは百年橋通りルート とすることで意見の集約をみた旨を報告
3. 3	1号線(博多(仮)～博多)開業
6. 1	第一回運賃改定(初乗　140円)
昭和61(1986)	
1.31	2号線(馬出九大病院前～箱崎九大前)開業
5.23	福岡市議会において、福岡市が高速鉄道を建設し、経営する議決を得る。 (1号線　博多～福岡空港間　建設キロ　3.1km、営業キロ　3.3km)
8. 4	1号線　博多～福岡空港間建設について、福岡都市圏交通対策協議会において決定
8. 5	運輸大臣に地方鉄道事業免許を申請(61.10.13　免許) (1号線　博多～福岡空港間　3.3km)

年 月 日	概　　要
昭和61(1986)	
10.29	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請(62. 3.11　認可)
	(土木関係　1号線　博多～福岡空港間)
11.12	2号線(箱崎九大前～貝塚)開業、西鉄宮地岳線と接続
	(昭和49. 8.22　免許取得区間について全線開業)
〃	西鉄宮地岳線との連絡定期券導入
昭和62(1987)	
3.31	1号線(博多～福岡空港間)都市計画決定
4.24	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請(62.11.18　認可)
	(電気関係　1号線　博多～福岡空港間)
5.20	建設大臣に道路への敷設許可申請(62. 8.31　許可)
	(1号線　博多～福岡空港間)
9.13	1号線(博多～福岡空港間)建設着工
9.14	建設大臣に工事施行認可申請(62.12.18　認可)
	(1号線　博多～福岡空港間)
昭和63(1988)	
3.17	1号線(博多～福岡空港間)都市計画事業認可
5.11	1号線(博多～福岡空港間)建設全面着工
平成元(1989)	
6. 1	第二回運賃改定(初乗　160円)
〃	西鉄宮地岳線との乗継割引開始
10.16	九州地方交通審議会答申(第4号)
平成3(1991)	
2.12	「都市交通対策特別委員会」の調査報告
	(1. 3号線放射型ルート　2. 車両基地)
6.12	榎田東工区・空港工区トンネル貫通式
6.18	1号線(東比恵～福岡空港)駅名決定
11.27	路線愛称決定(空港線(1号線)、箱崎線(2号線)・・・平成5年3月より使用)
平成4(1992)	
2.28	「都市交通対策特別委員会」の中間報告
	(1. 3号線都心部ルート　2. 構造形式　3. 優先整備区間)
4.30	「福岡都市圏交通対策協議会」
	(3号線ルート及び構造形式について了承)
8.25	2000系車両第1編成車両基地搬入
12. 1	第三回運賃改定(初乗　180円)
平成5(1993)	
2.26	「都市交通対策特別委員会」の中間報告
	(3号線の建設・経営主体)
3. 1	市長が福岡市議会に対し、都市高速鉄道3号線については、市営地下鉄としての早期事業化をめざし、さらに具体的な取り組みを進めていくことを表明
3. 3	空港線(博多～福岡空港)開業

年 月 日	概　　要
平成5(1993)	
7. 1	「福岡市高速鉄道3号線計画推進本部」設置
平成6(1994)	
2.25	「都市交通対策特別委員会」の中間報告 (3号線のシステムについて)
7.22	「福岡市地下鉄3号線整備促進期成会」設立
平成7(1995)	
2.14	「都市交通対策特別委員会」の調査報告 (3号線の橋本～天神の駅及び車両基地の位置)
3.10	「福岡都市圏交通対策協議会」 (3号線のシステム、建設・経営主体、建設計画等について了承)
〃	ダイヤ改正実施
3.28	運輸大臣に鉄道事業免許を申請(7. 6. 7　免許) (3号線　橋本～天神間　12.0km)
5. 8	カードシステムの導入(えふカード)
平成8(1996)	
1.16	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請(8. 3. 4　認可) (土木関係　3号線　橋本～天神間)
〃	運輸大臣に特別の構造許可申請(8. 3. 4　許可) (電車線高さ　3号線　橋本～天神間)
3.25	建設大臣に道路への敷設許可申請(8. 7.15　許可) (3号線　橋本～天神間)
4.23	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請(8. 9.10　認可) (電気関係　3号線　橋本～天神間)
7.18	建設大臣に工事施行承認申請(8. 9.26　承認)
7.26	地下鉄マスコット「ちかまる」誕生
10.30	3号線(橋本～天神間)都市計画決定
12. 3	JR九州において、筑肥線複線化着工
12.11	3号線工事契約・着工
12.17	博多駅中央口供用開始
平成9(1997)	
1.22	3号線起工式
2.14	福岡都市交通問題協議会において、箱崎線と宮地岳線の相互直通運転に関して 実現化に向けた検討を行うことで西鉄と合意
6. 1	第四回運賃改定(初乗　200円)
8. 1	1日乗車券発売開始

年 月 日	概　　要
平成10(1998)	
3.20	ダイヤ改正実施
3.31	1000N系更新車両　第01編成竣工(主回路のみ先行改造)
5. 1	JR九州において、姪浜駅東口供用開始
5. 8	3号線(橋本～天神間)都市計画事業認可
12.16	箱崎九大前駅エレベーター供用開始
平成11(1999)	
3.13	中洲川端駅改造工事完了(川端口改札改良、博多リバレイン接続等)
3.15	天神駅改造工事完了(エスカレーター増設、エレベーター移設等)
3.23	1000N系更新車両　第01編成竣工
4. 1	地下鉄と西鉄大牟田線・バスとの共通カードシステム導入(よかネットカード)
11. 1	地下鉄ホームページ開設
平成12(2000)	
1.22	ダイヤ改正実施
3.27	赤坂駅、祇園駅、箱崎宮前駅エレベーター供用開始 (全駅エレベーター設置完了)
4. 1	JR九州との連絡運輸区域拡大(定期券)
7.24	弱冷房車両運行開始
11. 1	西新駅エレベーター供用開始(エレベーター移設)
12.11	姪浜駅エレベーター供用開始(エレベーター移設)
平成13(2001)	
3. 3	ダイヤ改正実施
4. 1	地下鉄とJR九州との共通カードシステムの導入(ワイワイカード)
〃	JR九州との連絡運輸区域拡大(定期券)
〃	1日乗車券の料金値下げ(850円→600円)
4.24	姪浜駅前南側広場供用開始
6.28	サブフェアシステム(乗車券入出場確認システム)導入
10. 1	えふカードプレミアムの増加
〃	西鉄宮地岳線との乗継割引の拡大
12. 1	共通定期乗車券(地下鉄・自転車駐車場)の発売(乗っチャリパス)
平成14(2002)	
2.28	特定認定事業者として国土交通大臣による認定
3.23	ダイヤ改正実施(営業時間の延長)
〃	空港線相互直通区間を筑前深江まで延長(相互直通区間　筑前深江～福岡空港)
4. 1	西鉄天神大牟田線との連絡定期券導入
〃	共通定期乗車券(地下鉄・自転車駐車場)の適用拡大
〃	JR九州との連絡運輸区域拡大(定期券)
7.15	プリントカード発売機の導入(マイショットカード)
9.28	地下鉄3号線貫通式
11.28	3号線(橋本～天神南)駅名決定

年 月 日	概　　要
平成15(2003)	
3.15	ダイヤ改正実施
4. 1	テレホンセンターの営業時間を延長
6.20	3号線路線愛称決定(七隈線)
7. 1	全駅の全面禁煙実施
7. 2	七隈線シンボルマーク及び3000系車両デザイン決定
10.22	七隈線レール締結式
平成16(2004)	
1. 9	3000系車両第一編成搬入
2.13	天神駅西側にオストメイト対応の多機能トイレ新設
3.15	空港線(姪浜～福岡空港)全駅にホームドア設置完了
4. 6	福岡ダイエーホークス和田毅投手を地下鉄イメージモデルに起用
6. 5	ノーマイカーデー1日乗車券(年2回)発売開始
6.16	第01編成車両七隈線トンネル内に入線
6.22	試運転開始式(橋本～天神南)
7. 1	箱崎線(呉服町～貝塚)駅業務の一部を委託開始
7.15	モバイル版地下鉄ホームページの公開開始
7.28	鉄道事業の旅客運賃設定認可申請(16.9.15認可　(5区、6区料金設定))
11.28	天神南駅見学会(福岡ダイエーホークス和田毅投手の1日駅長)
平成17(2005)	
1.22	七隈線試乗会
1.27	トンネル銘板「夢　七隈線」除幕式
2. 2	七隈線記念モニュメント「夢　七隈線」除幕式
2. 3	七隈線(橋本～天神南)開業
〃	七隈線(橋本～天神南)駅業務の一部を委託開始
〃	ダイヤ改正実施
2.23	1000N系更新車両第18編成竣工(1000系車両更新工事完了)
4.14	ノーマイカーデー1日乗車券(月1回)発売拡大
7. 1	JR九州との連絡運輸区域拡大(定期券)
7.21	ちかまるきっぷ発売開始
7.27	3000系車両　機械工業デザイン賞「経済産業大臣賞」受賞
12. 6	七隈線トータルデザイン　SDA賞「経済産業大臣賞」受賞
12.10	伊都・キャンパス回数券発売開始
12.15	箱崎線(中洲川端～貝塚)全駅にホームドア設置完了(全線完了)
平成18(2006)	
1.17	七隈線のバリアフリー化に関しての施設整備及び車両バリアフリー化推進功労者表彰「内閣府特命担当大臣賞」受賞
1.25	地下鉄全線乗り放題定期券(ちかパス)の発売(2.1運用開始)
4. 1	おとなりきっぷ発売開始
7.26	福岡市地下鉄開業25周年記念えふカードの発売　(全国地下鉄初の懸賞付き乗車券)

年 月 日	概　　要
平成18(2006)	
9. 1	空港線8駅(冷房設備の未設置駅)のホーム階に局所冷房(クールルーム)設置完了
9.24	3000系車両「ローレル賞」受賞
11. 1	伊都・シーサイド回数券発売開始
12. 4	動力車操縦者養成所(教習所)として国土交通大臣による指定
平成19(2007)	
3.18	ダイヤ改正実施
3.26	天神駅東口の多機能トイレの改装にあわせて、授乳室を設置
4. 6	ノーマイカーデー1日乗車券(毎週金曜日)発売拡大
6. 4	天神駅、博多駅、福岡空港駅等主要駅で、公衆無線LANサービス開始
6. 7	箱崎線6駅のホーム階に局所冷房(クールルーム)設置完了(全線完了)
平成20(2008)	
1.28	定期券購入の際のクレジットカード決済サービス開始
4. 1	七隈線で車内放送広告開始
4.11	平成21年春導入予定のICカードの名称を「はやかけん」に決定
4.12	エコちかきっぷ(毎月第2土曜日・翌日曜日)発売開始
5.21	七隈線「環境デザイン賞」受賞(社団法人　日本騒音制御工学会)
7. 1	地下鉄モニター制度開始
7. 1	天神駅と天神南駅間に「のりかえベビーカー」を導入
7. 1	天神駅と天神南駅に乗換時刻表示器を設置
9.25	SUBWAY　DIET(サブウェイ　ダイエット)プロジェクト開始
10. 1	空港線・箱崎線で車内放送広告開始
平成21(2009)	
3. 7	ICカード「はやかけん」サービス開始
3.14	エコちかきっぷ(毎週土・日曜日・祝日)発売拡大
3.20	ノーマイカーデー1日乗車券の枚数制限を撤廃
4. 1	全駅及びテレホンセンターで英語・韓国語・中国語の電話利用による通訳サービス「外国語サポートサービス」を開始
4. 1	中洲川端駅業務の一部を委託開始
4.10	「はやかけん」を利用したメール配信サービス「みまもりタッチ」モニター開始
10. 4	地下鉄環境キャラクターの名称を「メコロ」に決定
12.16	ANAとの提携による「ANAはやかけん」発売開始
平成22(2010)	
1.29	「はやかけん」を利用した民間事業者との「パーク&ライド優待」サービス開始
3.13	ICカード「はやかけん」相互利用開始(「nimoca」・「SUGOCA」・「Suica」との4者間)
〃	同時に「はやかけん」電子マネーサービス開始
3.18	博多口コンコース改良第1期工事完了(博多口エレベーター供用開始)
3.31	地下鉄と西鉄天神大牟田線・バスとの共通カード(よかネットカード)発売終了
4. 1	「定期券うりば」と「テレホンセンター」を再編して「お客様サービスセンター」を設置
5.25	福岡市施設(区役所・博物館等)における「はやかけん電子マネー決済」の開始
7.27	地下鉄全改札口、各区市民プール、総合図書館等で「みまもりタッチ」サービス開始

年 月 日	概　　要
平成23(2011)	
1. 4	福大前駅と福大病院新診療棟をつなぐ地下通路供用開始
3. 2	地下鉄全駅（空港線・箱崎線・七隈線）において、駅ナンバリング（駅番号制）表示
〃	博多駅博多口出入口のデザイン統一化及び駅案内サインの統一化
〃	博多駅博多口コンコース改良第2期工事完了
3.12	ダイヤ改正実施
3.31	ノーマイカーデー1日乗車券発売終了
〃	地下鉄とJR九州との共通カード（ワイワイカード）発売終了
4. 1	「はやかけん」を利用したJR筑肥線～地下鉄線を対象としたポイントサービスを開始
〃	「外国語サポートサービス」を全駅窓口に加え、全てのお客様サービスセンターへ拡大
〃	「みまもりタッチ」サービス有料化開始
5.10	福岡市証明サービスコーナーを博多駅に設置
8.12	橋本駅の歩行者連絡橋（駅EVを含む）が供用開始
8.16	橋本駅に隣接する商業施設の駐車場を利用したパーク＆ライドを開始
12.26	地下鉄利用者数30億人達成
平成24(2012)	
3.17	ダイヤ改正実施
3.31	マイショットカードの発売終了
4. 9	国土交通大臣に道路への敷設許可を申請（24.5.29　許可） （七隈線　天神南～博多間）
〃	国土交通大臣に鉄道事業許可を申請（24.6.11　許可） （七隈線　天神南～博多間　1.6km）
4.30	公衆無線LAN整備全線完了
5.29	ソフトバンクホークス　本多雄一選手を地下鉄イメージモデルに起用
9. 6	券売機の4カ国語対応（日・英・中・韓）
12. 7	国土交通大臣に第1次分割工事施行認可申請（25.4.11　認可） （土木関係　七隈線　天神南～博多間）
12.31	えふカード発売終了
平成25(2013)	
1. 1	「はやかけん」ボーナスポイント改定
3.23	ICカード「はやかけん」交通系ICカード全国相互利用開始（Kitaca・PASMO・Suica・manaca・TOICA・PiTaPa（電子マネーを除く）・ICOCA・nimoca・SUGOCAとの10者間）
3.28	馬出九大病院前駅と九大病院をつなぐ地下通路（7番出入口[EV2基含む]）が供用開始
4.11	七隈線（天神南～博多間）都市計画決定
〃	七隈線（天神南～博多間）環境影響評価書公告
4.30	磁気定期券発売終了及び定期券の一括発売制度の廃止
5.10	ICカード「はやかけん」の発行枚数50万枚達成
〃	国土交通大臣に第2次分割工事施行認可申請（26.1.24　認可） （電気関係　七隈線　天神南～博多間）
12. 4	七隈線（天神南～博多間）工事契約・着工

年 月 日	概　　要
平成26(2014)	
2.12	七隈線（天神南～博多間）起工式
3.15	ダイヤ改正実施
4. 1	第五回運賃改定（初乗　200円）
	空港線（大濠公園、赤坂）駅業務の一部を委託開始
平成27(2015)	
2.14	旅客案内システムリニューアル
3.12	地下鉄ホームページリニューアル
3.16	ちかまるナビ（運行情報提供システム）運用開始
4. 1	空港線（唐人町）駅業務の一部を委託開始
〃	「外国語サポートサービス」にタイ語を追加し、地下鉄営業時間中対応へ変更
5.29	ICカード「はやかけん」を使ってカーシェア料金を割引く「レール＆カーシェアサービス」を開始
平成28(2016)	
3.18	ダイヤ改正実施
3.23	野芥駅、六本松駅コンコースにバスナビジョンを設置
4. 1	「外国語サポートサービス」の対応言語が全10ヵ国語へ拡大
6.15	福岡空港駅5出入口エレベーター供用開始
7.26	開業35周年を記念して、車内外に装飾を施したフルラッピング列車「ちかまる号」を運行
9.28	65才以上を対象とした地下鉄全線乗り放題定期券「ちかパス65」発売開始(10. 1運用開始)
9.30	西新駅8出入口エレベーター供用開始
10. 1	「ちかまるきっぷ」「エコちかきっぷ」を再編し、家族を対象とした1日乗車券「ファミちかきっぷ」を発売開始
〃	「おとなりきっぷ」を終了し、「はやかけんひと駅ポイント」サービスへ移行
10. 5	福岡空港駅新1出入口（エスカレーター4基）供用開始
11. 1	2000系車両（全6編成）の7人掛け座席バケット化改良及び縦手摺設置完了
11. 2	エスカレーター安全利用シンポジウム実施
11. 8	地下鉄七隈線博多駅（仮称）工区における道路陥没事故発生
平成29(2017)	
2. 9	第1回駅接客選手権開催
3. 4	ダイヤ改正実施
3.24	天神駅、博多駅ホームに整列乗車ラインを設置
4. 1	「外国語サポートサービス」の対応言語が全14ヵ国語へ拡大
〃	空港線（祇園、東比恵）駅業務の一部を委託開始
5. 3	運転免許を返納後、「ちかパス65」を購入した方を対象とした「運転免許返納割」サービスを開始
〃	対象駐車場に駐車し、「ファミちかきっぷ」を購入した方を対象とした「パーク＆ライド家族割」サービスを開始（土日祝日、姪浜・橋本のみ）
9.25	訪日外国人専用2日乗車券「2Day Pass」発売開始
9.26	六本松駅3出入口エレベーター供用開始
11.28	第2回駅接客選手権開催
平成30(2018)	
3.29	第1回お仕事体験開催
4. 1	空港線（福岡空港）駅業務の一部を委託開始

第13　交通対策特別委員会調査報告の概要

１．七隈線（橋本～天神南）免許申請までの経緯の一部抜粋

年 月 日	概　　要
平成 3.2.12 調査報告	高速鉄道３号線と西南部の交通体系について ・放射型のルートは「野芥周辺地区」から「七隈」「別府」「六本松」「渡辺通」を経由し、都心部の「天神」・「博多駅」に至る路線が適当であり、車両基地についても室見川左岸の「橋本、戸切及びその周辺地区」が適当である。また、都心部における天神からウォーターフロント方面への延伸、構造、事業主体等についても研究する必要がある。 ・環状型は、南部地域の将来的なまちづくりとあわせて、一層の調査、検討を進める必要がある。
平成 4.2.28 中間報告	高速鉄道３号線と西南部の交通体系について ・３号線の放射型ルートにおける天神からウォーターフロント方面に至る都心部ルートとしては、渡辺通りから国体道路、土居通りを経由して博多ふ頭に至る博多部経由ルートが適当である。構造形式は、全線地下構造形式が望ましい。 ・今後の事業化に向けた取り組みの中では、西南部と都心間の整備が優先されるべきである。また、機種、事業主体等について検討していく必要がある。 ・南部方面の対応として、環状型についても博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせて早急に具体的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成 5.2.26 中間報告	高速鉄道３号線と西南部の交通体系について 高速鉄道３号線沿線のまちづくりについて ・３号線の建設・経営主体については市がなるべきである。 ・都市整備局と交通局が一体となって３号線の早期事業化に取り組むべきであり、３号線沿線のまちづくりの調査・検討を踏まえ、国など関係機関等の協力、支援を得て３号線の早期実現に向け、特段の努力をするとともに機種、駅位置等について検討する必要がある。 ・ 環状型についても、博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせて早急に具体的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成 6.2.25 中間報告	高速鉄道３号線と西南部の交通体系について 高速鉄道３号線沿線のまちづくりについて ・３号線のシステムは鉄輪式リニアモーターシステムが望ましい。 ・整備優先区間、駅位置等については、３号線導入計画調査、沿線まちづくり調査等を踏まえ今後検討するとともに、国など関係機関等の協力、支援を得るよう議会としても国への要望等を積極的に行う必要がある。

※平成 15.7.4 に都市交通対策特別委員会が交通対策特別委員会へ名称変更

年 月 日	概　　要
平成 7.2.14 調査報告	高速鉄道３号線と西南部の交通体系について 高速鉄道３号線のまちづくりについて ・天神～橋本間の駅及び車両基地については、別図の位置が適当である。 ・３号線の沿線のまちづくりについては、３号線計画の事業化と並行して利便性、災害に強いまちづくり、住民参加等を考慮し、今後さらに調査する必要がある。 ・ 環状型についても、博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせ調査・検討を進めていく必要がある。

※平成 15.7.4 に都市交通対策特別委員会が交通対策特別委員会へ名称変更

２．七隈線延伸（天神南～博多）の許可申請までの経緯の一部抜粋

年 月 日	概　　要
平成 20.2.13 中間報告	高速鉄道３号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・延伸計画については、今後パーソントリップ調査での将来予測などを踏まえつつ、地下鉄全体の経営状況、本市の財政状況などを勘案した上で、幅広く、総合的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成 21.2.12 中間報告	高速鉄道３号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・延伸計画については、パーソントリップなどのデータが揃い需要予測を行う環境が整ったことなどから、現ルート（天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅）に加え、参考ルート（天神南～博多駅）について報告を受けた。 ・今後、参考ルートを含め、早急に事業採算性などの検討を行い、厳しい本市の財政状況、地下鉄全体の経営状況、都心交通のあり方も十分に勘案し、実現可能な都心部区間の整備のあり方について、引き続き、総合的な調査・検討を積極的に進めていく必要がある。
平成 22.2.12 中間報告	高速鉄道３号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・都心部区間の検討ルートの中で優先して実現していくべきルートとしては、最も建設費の負担が少なく、利用者数が多く見込まれることなどから事業採算性に優れ、費用対効果が大きい天神南～博多駅ルートが妥当であるとの報告を受けた。 ・今後、この報告に基づき、示された市民の意向や効率的で利便性の高い公共交通体系の確立、厳しい本市の財政状況、地下鉄の経営状況などに十分留意しながら、調査・検討を進めていく必要がある。 ・なお、天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅の２ルートについては、将来のまちづくりの進展などを見据えて、長期的視点に立った検討を進めていくべきである。

年 月 日	概　　要
平成 23. 2. 9 調査報告	高速鉄道３号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・都心部区間については、天神南～博多駅ルートについて、国などの関係機関との協議に早急に着手するなど、早期実現に向けた取り組みを進めていく必要があるとの報告を受けた。厳しい本市の財政状況、都心交通のあり方などを十分勘案しつつ、今後の取り組みを進めていく必要がある。 ・なお、天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅の２ルートについては、将来のまちづくりの進展などを見据えて、長期的視点に立った検討を進める必要がある。
平成 24. 2.10 中間報告	高速鉄道３号線と沿線のまちづくりに関する調査 ・延伸区間については、シンポジウムの開催など市民への情報発信や国予算の確保に向けた要望活動等を行うとともに、環境アセスメントの手続に着手しており、24年度予算政府案に延伸関係予算が計上され、国の補助金の確保に一定のめどが立ったことを踏まえ、必要な手続を進め、早期着工を目指して取り組んでいくとの報告を受けた。 ・今後とも、３号線と沿線のまちづくりについては、事業の進捗状況を注視しながら、延伸後の交通需要の変化を踏まえた総合交通体系の確立に向け、総合的な調査・検討を進めていく必要がある。

参考資料１

福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画について

（昭和46年３月11日　都市交通審議会　答申第12号）

１．ま え が き

(1)　福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏は、わが国屈指の都市圏であり、全国的な交通・通信ネットワークの枢要な拠点である。福岡市は中枢管理機能の集積地として、また、北九州市は工業・交通の拠点として今後さらに発展を期待されている。

本審議会は、北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画を策定するに当たり、通勤通学圏と目される両市を中心としたそれぞれ30km圏を対象とし、目標年次を昭和60年として、通勤通学時における輸送力の確保と業務交通の円滑化を実現するための方策の検討を行なった。

(2)　北部九州都市圏の今後の発展状況を概観すると、福岡市を中心とする地域においては、業務地区は、現在天神附近を中心として形成されているが、最近博多駅附近の発展が著しく、今後博多駅附近が天神附近と並んで業務地区を形成するものとみられ、住宅地区は、主に西南部、南部、東北部に発展するものと思われる。また、輸送需要に密接に関連する福岡市の人口関係指標の動向からみると、昭和40年に対し、昭和60年には、夜間人口では1.7倍程度、昼間就業就学人口では1.8倍程度、業務地区への流入人口では２倍程度となるものと予測される。

つぎに北九州市を中心とする地域においては、現在小倉駅附近及び黒崎駅附近の２地区に形成されている業務地区は、将来とも発展し、住宅地区は、主に小倉南部、小倉東南部、八幡西南部に発展するものと思われる。また、輸送需要に密接に関連する北九州市の人口関係指標の動向からみると、昭和40年に対し、昭和60年には、夜間人口では1.3倍程度、昼間就業就学人口では1.6倍程度、業務地区への流入人口では２倍程度となるものと予測される。

２．旅客輸送力の整備増強に関する基本方針

上記の昼間就業就学人口の増加に伴う輸送需要の増大に対処するため、各交通機関の輸送サービス水準（安全性、定時性、快適性、適正な通勤時間）及び利用者の利便の確保に十分留意するとともに北部九州都市圏の地域開発計画、都市計画、住宅計画等との整合性に十分な配慮を行い、目標年次においては、高速鉄道を中心とし、これを補完する大量路面交通機関を効率的に活用することにより、総合的交通体系の確立を図ることとする。

なお、当面の措置として、既設交通機関の再編、整備を行い、その積極的活用を図ることとし、このため、必要な諸施設の整備、優先通行の確保、バス・アンド・ライドの促進等を行なうものとする。

３．交通体系の整備計画

(1)　既設交通機関の再編、整備

既設交通機関については、つぎの措置を講ずるものとする。

① 路面交通機関

（i） 路面電車

当面の措置としては、路面電車の有効活用を図るため、路面電車の優先通行、連結運転、バスとの調整等を実施するが、高速鉄道の整備、バス輸送力の整備等を勘案して、代替可能区間から遂次廃止する。

(ii) バ　　ス

バス輸送力の整備を図るため、次の措置を講ずるものとする。

(ｱ) バス路線の再編成

バス路線は、高速鉄道、路面電車との関連、都市部停留所の処理能力等を考慮しながら、利用者の利便に資するよう輸送需要に応じて積極的に再編、整備する必要がある。

(ｲ) バスターミナル及び駅前広場の整備

都心部停留所の処理能力の向上及びバス・アンド・ライドの積極的採用を図るため、都心部及び周辺の主要高速鉄道駅附近には、バスターミナル及び駅前広場の整備を促進する必要がある。

とくに、下記の地区におけるバスターミナルの整備について、具体的検討を行なうものとする。

（福岡市）

天神・渡辺通附近　　博多駅附近

（北九州市）

小倉駅附近　　黒崎駅附近

(ｳ) 通勤高速バスの運行

都市高速道路における通勤高速バスの運行を検討する。

② 交通規制による路面交通の円滑化

自動車交通量の急激な増加に伴い、道路混雑が慢性化している現状においては、限られた道路スペースを効率的に利用する必要があるため、駐車禁止区域の拡大、幹線道路における一方通行の実施等市内における広域的な交通規制を強化するとともに、路面電車、バスなど公共性の高い大量交通機関の優先通行を確保するため、軌道敷内通行の制限、バスレーンの設定等に十分な配慮をするものとする。

③ 既設高速鉄道

（i） 輸送力を増強すべき路線

国鉄鹿児島本線、日豊本線、筑肥線、西鉄大牟田線、筑豊電鉄線については、列車編成の長大化、運転時隔の短縮、列車速度の向上等により積極的に輸送力の増強を図る。

（ii） 改良すべき路線

(ｱ) 西鉄宮地岳線

当面の措置として、改軌その他の改良を実施し、都心部への乗り入れを行なう。

(ｲ) 筑豊電鉄線

熊西停車場附近から黒崎駅附近までの路線を建設する。

(iii) そ の 他

既設高速鉄道について、旅客の利便を確保するとともに、高速鉄道の積極的利用を促進するため、輸送需要の動向を勘案して旅客駅の新設及び連絡施設の整備を図る。

また、市街地における既設高速道路の高架又は地下化、踏切道の立体化等積極的に推進する。

(2) 高速鉄道路線の新設

以上の諸措置を講じても、なお目標年次には輸送力の不足が生じると予測されるので、つぎの路線の新設が必要と思われる。

(福 岡 市)

(i) 都心部から西南部方面に至る路線

(ii) 都心部から箱崎方面に至る路線

(iii) 都心部から福岡空港方面に至る路線

(北九州市)

(iv) 小倉駅附近から徳力・曽根方面に至る路線

(v) 黒崎駅附近から小嶺方面に至る路線

(vi) 小倉駅附近と黒崎駅附近とを結ぶ路線

上記路線のうち、輸送力の不足が著しい路線については、昭和50年代の半ばまでに建設を必要とすると予測されるが、地域開発計画、住宅計画等の進渉状況との関連、高速道路の路線との調整等を十分考慮しつつ、具体的な建設時期、建設主体、採用すべき高速鉄道の方式、資金の調達方策等について、今後さらに検討を必要とする。

なお、これに関連して、新設高速鉄道路線相互間、(i)の路線と国鉄筑肥線、(ii)の路線と西鉄宮地岳線、(vi)の路線と筑豊電鉄線との直通運転についても検討する必要がある。

(3) 道路の整備

自動車交通量の急激な増加に対処して道路容量の増大を図るため、都市高速道路の建設及び主要街路の整備を積極的に推進する必要がある。

なお、この場合、空港、港湾、バスターミナル、駅前広場等の交通施設との接続には十分配慮するとともに、バスベイ及びタクシーベイの整理を積極的に行うものとする。

4. む す び

本審議会は、以上のような北部九州都市圏における旅客運送力の整備増強に関する基本的計画を策定したが、交通体系の整備が北部九州都市圏の今後の発展にとって必要欠くべからざるものであることにかんがみ、本計画を遂行するため、県・市をはじめとする関係者が、協議会を早急に設置する等協力体制をさらに強化し、積極的に努力することを強く望むものである。

参考資料２

福岡県における公共交通機関の維持整備に関する計画について（抜粋）

（平成元年10月16日　九州地方交通審議会答申第４号）

（福岡都市圏関係抜粋）

第５章　公共交通機関の維持整備に関する計画

第３節　交通圏内交通についての施策

３．福岡交通圏内の施策

(1)　福岡交通圏内の交通問題と課題

福岡交通圏は、福岡市を中心にした人口が 194 万人（昭和 60 年）の交通圏であり、日常の交通状況は福岡都心へ求心的な交通が放射状に集中し、主要交差点等では恒常的な交通渋滞にみまわれ、その解決のための有効な施策が迫られているところである。

福岡交通圏の人口は、概ね 10 年後には昭和 60 年の 194 万人の 1.23 倍、46 万人増の 240 万人に達するものと見込まれる。この将来人口増のほとんどが福岡市の郊外部、市外周辺市町村部で増えることになり、周辺から都心へ流入してくる将来の交通量は昭和 60 年の 1.31 倍にも増加して推移するものと予測されており、上述した交通問題が益々逼迫化してくることが想定されるところである。このような交通問題の改善・解決のためには自動車利用から公共交通への利用転換を誘導できるよう公共輸送のサービス改善を推進し、既存の鉄道、バスの活用、再生を図る必要がある。一方、交通圏内においてもウォーターフロント開発計画、天神地区の再開発計画、主要駅周辺の再開発・区画整理事業、大規模公園整備等数多くの開発計画、都市整備計画構想が持ち上がっており、これらの開発・整備計画構想の進行に伴う交通需要増に対応し、更に、今までとは違った新たな交流の発生に伴う交通需要にも対応できる公共交通機関の整備のあり方を検討しなければならない。

(2)　既設鉄軌道の有効利用と活用

①　鹿児島本線の快速運行の増発　（略）

②　筑肥線と地下鉄との相互直通運転の強化、複線化等

将来交通の動向と現行の運行状況を踏まえ、運行の増発、市営地下鉄１号線との相互直通運転の強化を図るとともに、快速運行等の整備によりスピードアップを図り、西九州方面及び前原と福岡都心部との間の連絡時間の短縮を図っていくものとする。

なお、福岡市営地下鉄は平成５年に空港までの延伸を予定しており、これらの施策と合わせ、福岡都市圏西部、西九州からの空港連絡鉄道として一体的に活用する。また、利便性の向上と新規需要を喚起するために、時刻表がなくとも利用し易いよう運行時刻のラウンド化を推進するとともに、始終発の延長を検討する。

更に、中・長期的には前原までの沿線開発計画、需要の動向等を勘案して、沿線自治体も含

め筑肥線の県内区間の一部複線化について検討することとする。また、福岡空港周辺の需要動向等を踏まえ、地下鉄１号線の延伸の可能性についても検討することとする。

③　篠栗線の博多駅直通運転の強化と電化・複線化　（略）

④　香椎線の活用　（略）

⑤　西鉄宮地岳線・地下鉄２号線

両線は、福岡交通圏の北東部臨海部地域を、貝塚駅での水平乗換えにより都心と結んでいる。沿線は人口増勢地域で、今後、玄海レク・リゾート開発構想等の沿線開発も進展し、利用客増が見込まれるところであるので、接続ダイヤの円滑化を進めつつ旅客需要に合わせた高頻度運行を推進するものとする。

また、中・長期的には、都市と港湾周辺の調和のとれた活力ある街づくりの一環として福岡市において進められている東部埋立て計画や需要の動向等を見極めながら、地下鉄２号線と西鉄宮地岳線等の既存鉄道との相互直通運転化について検討することとする。

⑥　西鉄大牟田線　（略）

⑦　甘木鉄道　（略）

⑧　駅整備　（略）

(3)　旅客線以外の既設鉄道線の活用

①　新幹線回送列車の旅客線化　（略）

②　博多臨港貨物線（香椎～箱崎～長浜）の旅客線化　（略）

(4)　福岡市西南部における鉄軌道系輸送機関の整備

西南部の抱える交通問題に適切に対処するための施策として、また、西南部の交通利便性を高めることにより、都市機能の内陸部分散化を誘導し、望ましい都市づくりを図るための交通基盤づくりとして、まず、道路整備を進めバス輸送力の確保を図るとともに、西南部中央部と都心部を結ぶ都心放射状の鉄軌道系輸送機関の導入について、採算性等に十分留意して、地元自治体を含め検討を図ることとする。

(5)　バスの改善施策

①　運行面における施策

1)　都市新バスシステムの導入（専用レーンと高頻度運行）　（略）

2)　都市高速バスの整備　（略）

3)　バス路線網の再編

都心部におけるバス路線のあり方としては、鉄軌道系輸送のフィーダー輸送サービス及び鉄軌道系輸送で対応し難い輸送を担うという考え方を基本にして、都市高速道路経由のバス運行も含めたバス路線網の再編整備、バスと鉄道の結節機能の強化を図り、バスと鉄軌道相互の有機的な連携を通じて両者の共存共栄を図るものとする。

4)　交通実態に即したバスの運行の工夫

イ）フリー乗降の活用　（略）

ロ）昼間時バス運行の特定時間帯集中化　（略）

② サービス面における施策

1) 情報案内の充実

交通圏内外から福岡市に入ってくる場合の玄関口ともいえる福岡空港、博多港旅客船ターミナル、ＪＲ博多駅、西鉄福岡駅、福岡都心において多数の交通線が結節し、多数の利用者が乗降する地下鉄博多駅、地下鉄天神駅、多数のバス路線系統が集中発着する博多駅の福岡交通センター（博多）、福岡バスターミナル（天神）等においては、地域事情に不案内な県外等の乗降者が各方面のバス等に乗継ぐところであるので、バス路線網をはじめ乗継ぎ交通機関の種類、運賃、経路、ダイヤ、待時間等の関係情報のいきとどいた案内サービスを充実させていく必要がある。

2) バスロケーションシステムの整備拡充　（略）

③ 走行環境改善のための施策　（略）

④ 移動の連続性の確保のための施策

1) バスターミナル等の整備

地下鉄１号線の空港延伸を踏まえ、空港における乗継ぎバスターミナルのあり方を検討し、その機能も兼ねて福岡市南東方面からのバス系統の発着を総合的に処理する拠点ターミナルづくりについても検討していくものとする。

2) バスアンドライドの推進　（略）

(6) 海上交通　（略）

(7) ツインドーム交通施策

シーサイドももち地区に、平成４年完成を目途にツインドーム建設計画が推進されており、これが完成すれば、年間７００万人の利用が見込まれる。このツインドームへの利用客の輸送は、公共交通機関の利用促進が図られるよう交通対策を講じていく必要がある。具体的には、都市高速道路や荒津豊浜線などの幹線道路を活用したバス網の拡充や、最寄りの地下鉄１号線唐人町駅や西新駅などからの連絡バスの運行を計画するとともに、バスターミナル的機能等を有する交通施設の整備に努める。

参考資料３

福岡都市高速鉄道路線等について

（昭和47年2月22日　都市交通対策特別委員会決定）

本委員会は、過去数回にわたり、福岡市における高速鉄道の路線等について検討した結果、おおむね次のような中間的結論を得たが、今後さらに財政的、技術的検討を加えて最終的結論を得ることとした。

第１　計画路線について

１．計画路線として次の３つが考えられる。

(1)　東南部から西部方面に至る路線として、空港から博多駅、呉服町、天神を経由して西新、姪浜方面にて筑肥線と直通運転を行なう路線（以下「１号線」という。）

(2)　東北部方向に至る路線として、天神から呉服町、千代町、馬出及び箱崎網屋立筋を経由して宮地岳線と直通運転を行なう路線（以下「２号線」という。）

(3)　西南部住宅地区と博多駅地区及び西区の区民センターを結ぶと共に、渡辺通り１丁目地区の再開発をはかり、また六本松の交通緩和対策を考慮した路線として、早良口、野芥、片江、屋形原、高宮、博多駅、渡辺通り１丁目、天神、六本松等を経由する路線（以下「３号線」という。）

２．１号線及び２号線については、いずれも本市の現在までの集積を考慮して、おおむね国道202号線を通ることが適当であると考えられる。

第２　機種について

１．１号線及び２号線については、他の鉄道との直通運転との関係からいずれも地下鉄とする。

２．３号線については、モノレールや札幌方式についても今後なお検討することが必要である。

第３　開通時期等について

１．１号線及び２号線については、現下の交通情勢に対応するとともに国際的諸行事との関係もあり、昭和53年春の開通を目途に建設を進めるべきである。

２．３号線についても、１号線及び２号線に引き続き早期に開通すべきである。

参考資料４

福岡都市高速鉄道の建設に伴う経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき路線等について

（昭和48年2月21日　都市交通対策特別委員会決定）

本特別委員会は、昭和47年２月22日「福岡都市高速鉄道路線等について」の中間的結論を得たところであるが、さらに昭和47年４月以降今日まで、計６回の委員会を重ね、高速鉄道建設の実現について残された種々の問題について、財政的・技術的検討を加え調査研究を続けてきた結果、経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき路線等について、次のような結論に達した。

なお、これが建設にはまだ多くの研究課題が残されており、今後も積極的に調査研究を進める必要があり、而して現下の都市内交通の打開策をはかるものである。

Ⅰ　経営（建設）主体について

高速鉄道建設に伴う経営（建設）主体については都市交通機関がになう公共性・社会性から、また高速鉄道建設に関する現行の国の補助制度等を勘案すると、福岡市が経営（建設）主体となることが適当である。

Ⅱ　緊急に建設すべき路線について

緊急に建設すべき路線としては、交通需要と輸送効率、建設資金の確保などの観点から、第１次建設分としては、特に緊急を要する次の区間が適当である。

(1)　１号線のうち、博多駅から呉服町、天神、西新を経由して姪浜に至る9.5キロメートルの区間。

(2)　２号線のうち、中洲附近から千代、馬出を経由して箱崎松原に至る3.7キロメートルの区間。

Ⅲ　路線建設に当たっての附帯事項について

(1)　車両基地について

車両基地は、初期投資を要するも将来を展望した場合、自線内に設けることが有利であり、現市域内では西部方面が適当である。

(2)　他の路線との直通運転について

乗客の利便、運転効率等の観点から１号線と２号線は中洲附近において直通運転することが望ましい。また、１号線の姪浜で国鉄筑肥線との直通運転及び２号線の箱崎松原で西鉄宮地岳線との直通運転の問題に関しては早期に関係者と協議を行い、結論を得るべきである。

(3)　建設年次について

１号線及び２号線のうち、緊急に建設すべき区間については昭和49年度には建設に着手し、遅くとも、昭和53年春には開業すべきが望ましい。

Ⅳ　今後の研究課題について

(1)　１号線のうち、博多駅から空港間及び３号線については緊急建設区間につづいて緊急性の高い区間から順次建設に着手すべきである。

また、３号線の機種については、今後なお慎重な検討を行ない早期に結論をだすべきである。

(2)　補完交通機関については早急に対策を講ずるべきである。

参考資料５

高速鉄道の整備計画

（昭和49年2月20日　福岡都市圏交通対策協議会決定）

１．高速鉄道路線

昭和46年３月11日付け都市交通審議会答申第12号「福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画について」において新設が必要とされた路線のうち、福岡市にかかるものについては、次のとおり整備することが適当である。

(1)　都心部から西南部方面に至る路線及び都市部から福岡空港方面に至る路線

福岡空港から博多駅、呉服町、中洲、天神及び西新を経て姪浜に至る路線（以下「１号線」という。）とする。

(2)　都心部から箱崎方面に至る路線

中洲附近から千代町及び馬出を経て貝塚に至る路線（以下「２号線」という。）とする。本路線は、西鉄宮地岳線と直通運転を行なうことが望ましいが、当面の措置としては、貝塚において西鉄宮地岳線と連絡する。

１号線と２号線は、直通運転を行なうことが望ましい。

〔付　記〕

上記路線のほか、福岡市南部及び西南部地域の今後の発展に対応して、将来これらの地域と都心部を連絡する路線の建設について検討する必要がある。

２．緊急整備区間

次の区間は、増大する交通需要にかんがみ、近い将来既設路面交通機関の輸送限界を超え、また道路混雑によって道路機能が麻痺状態に陥ることが予想されるので、これを救済するために早急な整備が必要である。

(1)　１号線のうち、博多駅から呉服町、中洲、天神及び西新を経て姪浜に至る区間9.7㎞

(2)　２号線　5.0㎞

上記路線は、おおむね別表上欄に掲げる整備計画によって建設を行うことが適当であり、これにはおおむね別表下欄に掲げる資金を必要とする。

３．高速鉄道の方式

１号線、２号線とも地下高速鉄道とする。

４．経営（建設）主体

都市交通機関がになう公共性、高速鉄道建設に関する現行の国の補助制度等からみて、福岡市が経営（建設）主体となることが適当である。

５．工事期間中の交通対策

地下高速鉄道の建設にあたっては、建設工法との関係から建設工事前に路面電車貫線及び呉服町線を撤去する必要があり、また、建設工事のため国道202号線が相当に狭隘となることから、工事区間及びその周辺においては、大幅な輸送力の低下、交通渋滞、道路交通安全の悪化等が予想される。そのため関係機関による協議会を設置する等により、路面電車城南線のバス代替、道路の整備、交通規制、歩行者安全施設の整備、自家用自動車の都心乗入れ抑制等抜本的な交通対策を工事着工前半年頃までに樹立し、その実施を推進する必要がある。

地下鉄
シンボルマーク

発行　平成 ３０ 年 ７ 月
福岡市交通局総務課
TEL　０９２（７３２）４１０６
印刷　株式会社ハザマ印刷
この印刷物は再生紙を使用
しています。